

山梨県子育て環境に関する県民アンケート調査報告書

平成 27 年 12 月



公益財団法人 山梨総合研究所

もくじ

調査概要	1
問 1：市町村（FA）	2
問 2：居住年数（SA）	4
問 3：父母の年齢（SA）	5
問 4：結婚してからの年数（SA）	6
問 5-1：子どもの人数（SA）	7
問 5-2：子どもの年齢（双子も三つ子も含む）（MA）	8
問 6：居住状態（SA）	9
問 7：父母の年収（SA）	10
問 8(1)：父母の就労状況（SA）	12
問 8(2)：父母の職種（SA）	14
問 9：子どもの母親は就労しているか（SA）	16
問 10：子どもの母親が就労している理由（MA）	17
問 11：育児休業を取得したことがあるか（SA）	19
問 11-1：職場復帰は年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせたか（SA）	21
問 11-2：育児休業取得期間_実際と希望（NA）	22
問 11-3(1)：育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由<希望より短い人>（MA）	23
問 11-3(2)：育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由<希望より長い人>（MA）	26
問 12：保育料の負担が軽減される場合の育児休業取得期間や就労希望（SA）	28
問 12-1：保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、子どもが何歳の時に就労するか（SA）	30
問 12-2：保育料の負担が軽減され、育児休業取得期間を短縮する場合の期間（SA）	32
問 12-3：保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む動機付けになるか（SA）	34
問 13：母親が就労していない理由（MA）	36
問 14：どんな子育てに関する情報がほしいか（MA）	38
問 14-1：子育て支援に関する情報は、普段どこから入手するか（MA）	42
問 14-2(1)：入手している情報<満足度>（SA）	44
問 14-2(2)：満足もしくは不満の理由（SA）	45
問 15：価値観について（SA）	48
問 16,問 16-1：家での子どもの世話と家事の分担（SA）	51
問 17：妻・夫の両親からの子育て支援の状況（SA）	52
問 17-1：祖父母からの子育て支援の具体的内容（MA）	54
問 18：現在利用している、または利用したことがある施設等（MA）	56

問 19 : 利用している (利用していた) 保育所 (園) 等は、希望どおりの施設か (SA)	58
問 19-1 : 希望どおりの施設でない理由 (SA)	60
問 19-2(1) : 希望していた保育所 (園) の所在地_県 (都) (FA)	62
問 19-2(2) : 希望していた保育所 (園) の所在地_市区町村等 (FA)	63
問 19-3(1) : 実際と希望の利用開始時間_朝 (NA)	65
問 19-3(2) : 実際と希望の利用終了時間_夕 (NA)	67
問 20(1) : 子育て支援サービスの内容と利用頻度 (SA)	71
問 20(2) : 子育て支援サービスの満足度 (SA)	73
問 20(3) : 子育て支援サービス_利用度が希望する頻度でない理由 (MA)	75
問 21 : 子育て支援事業に対する不満や要望 (MA)	77
問 21-1 : 地域子育て支援拠点に希望する機能 (MA)	84
問 22 : 子育て費用の中で負担に感じている出費 (MA)	86
問 23 : 子育て中の負担・不安 (MA)	88
問 24 : 居住地地域の将来の経済的展望 (SA)	91
問 25 : 子育ての相談相手 (MA)	93
問 26 : 子どもの世話をしてくれる人 (MA)	95
問 27 : 第 1 子出産のきっかけ (SA)	97
問 28 : 第 2 子以降の出産のきっかけ (SA)	99
問 29 : 希望する子どもの数 (SA)	100
問 29-1 : 実際の子どもの数は、希望どおりになっているか (SA)	102
問 29-2 : 希望どおりになっていない人の今後の出産予定 (SA)	103
問 29-3 : 希望する子どもの数になっていない理由 (MA)	104
問 29-4 : 子育てや教育にお金がかかりすぎる具体的な内容 (MA)	111
問 29-5 : 保育サービスが整っていない具体的な内容 (SA)	113
調査結果の総括	114
付属資料	124

調査概要

① 調査の目的

安心して子どもを産み育てることのできる社会の実現に向けて、今後山梨県で取り組む子育て支援施策の基礎資料とするため、山梨県内の子育て家庭を対象として意識や実態を調査する。

② 調査時期

アンケート期間：平成 27 年 8 月 17 日（月）～9 月 4 日（金）

③ 調査対象

山梨県内に在住する小学生以下の子どもをもつ夫婦：3,000 世帯

④ 調査方法

郵送調査法

⑤ 回収結果

・1,623 件（有効回収率 54.1%）

⑥ 本報告書中の記号、調査結果の数値について

（S A）…… 単一回答（Single Answer）の略。選択回答は 1 項目のみ。

（M A）…… 複数回答（Multi Answer）の略（一部回答を限定しているものもある）。

複数回答における回答率は 100%を超える場合がある。

（N A）…… 数値回答（Numeric Answer）の略。該当する数値を記入するもの。

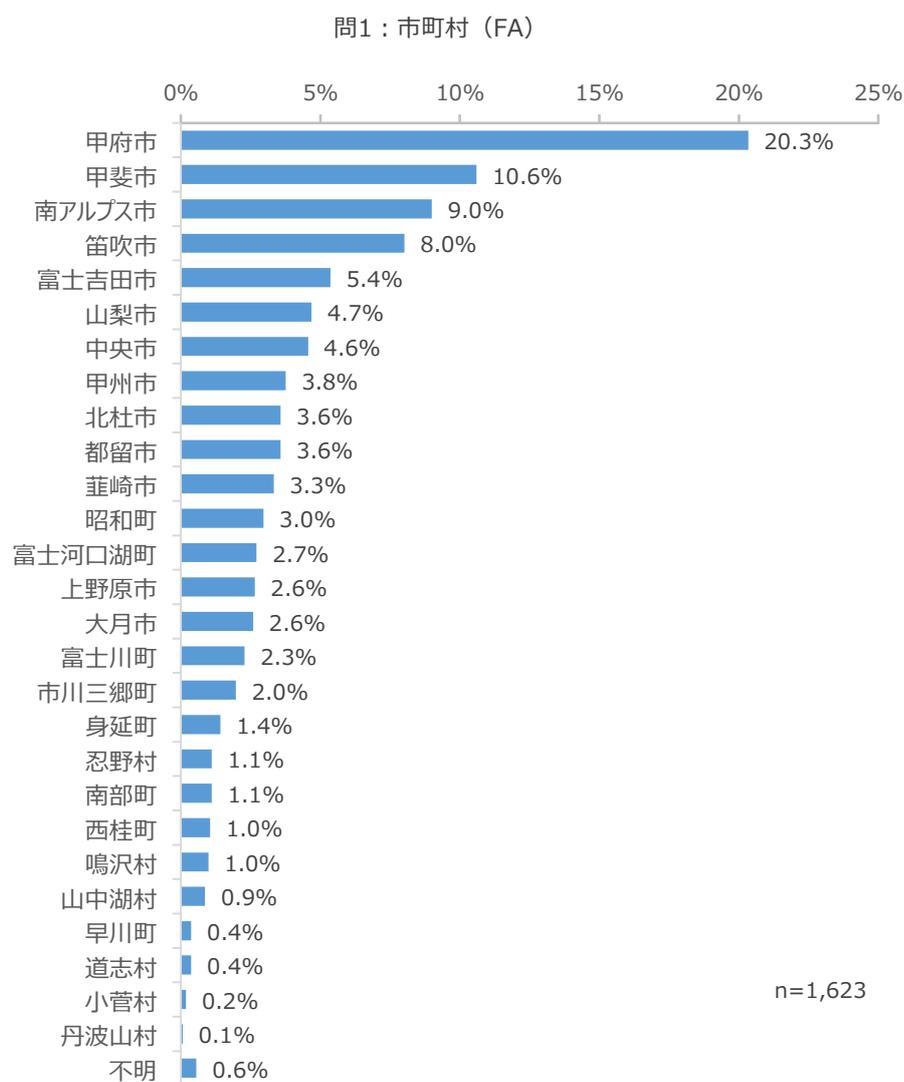
（F A）…… 自由回答（Free Answer）の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

n …………… 回答者数（number）をあらわす。「n = 100」は、回答者数が 100 人ということ。

各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合もある。

問1：市町村（FA）

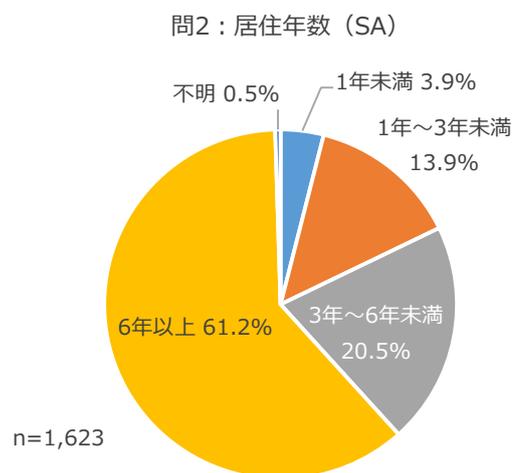
回答者の居住地では、甲府市と回答した割合が最も高く20.3%、次いで甲斐市が10.6%、南アルプス市が9.0%となっている。



	N	%
甲府市	330	20.3%
甲斐市	172	10.6%
南アルプス市	146	9.0%
笛吹市	130	8.0%
富士吉田市	87	5.4%
山梨市	76	4.7%
中央市	74	4.6%
甲州市	61	3.8%
北杜市	58	3.6%
都留市	58	3.6%
韮崎市	54	3.3%
昭和町	48	3.0%
富士河口湖町	44	2.7%
上野原市	43	2.6%
大月市	42	2.6%
富士川町	37	2.3%
市川三郷町	32	2.0%
身延町	23	1.4%
忍野村	18	1.1%
南部町	18	1.1%
西桂町	17	1.0%
鳴沢村	16	1.0%
山中湖村	14	0.9%
早川町	6	0.4%
道志村	6	0.4%
小菅村	3	0.2%
丹波山村	1	0.1%
不明	9	0.6%
サンプル数	1,623	100.0%

問2：居住年数（SA）

現在の市町村における居住年数では、「6年以上」と回答した人が最も多く61.2%、次いで「3年～6年未満」が20.5%、「1年～3年未満」が13.9%となっている。

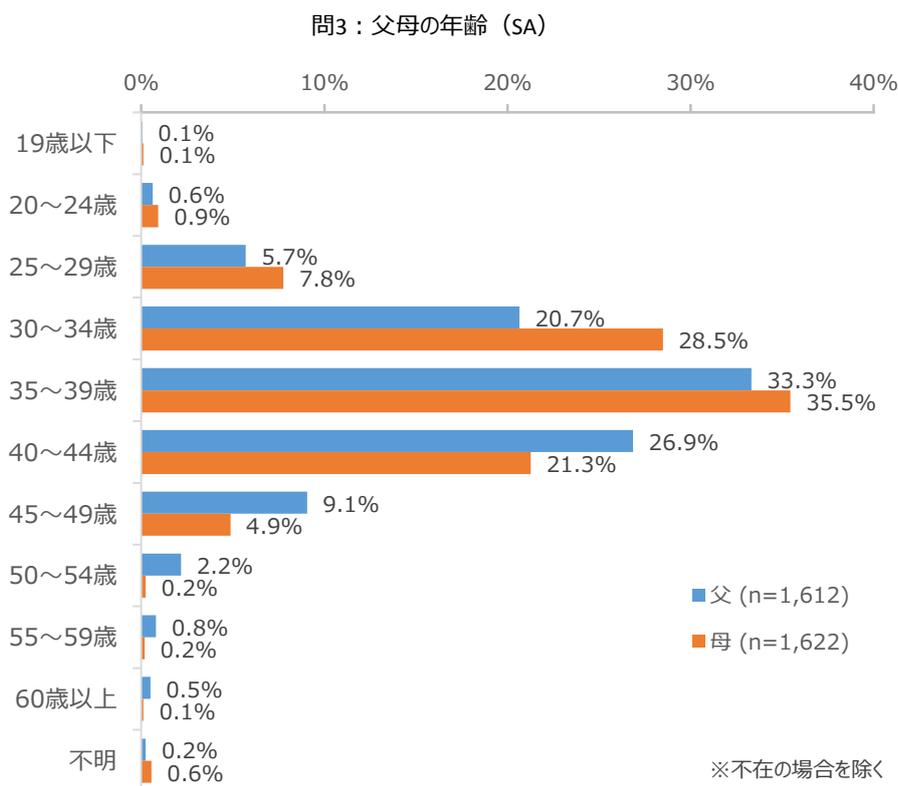


	N	%
1年未満	64	3.9%
1年～3年未満	225	13.9%
3年～6年未満	333	20.5%
6年以上	993	61.2%
不明	8	0.5%
サンプル数	1,623	100.0%

問3：父母の年齢（SA）

父の年齢では、「35～39 歳」と回答した人の割合が最も高く 33.3%、次いで「40～44 歳」が 26.9%、「30～34 歳」が 20.7%となっている。

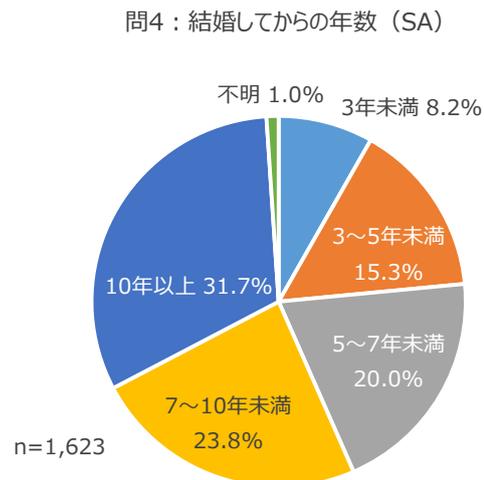
また、母の年齢では、「35～39 歳」と回答した人の割合が最も高く 35.5%、次いで「30～34 歳」が 28.5%、「40～44 歳」が 21.3%となっている。



	父	母
19 歳以下	1	2
20～24 歳	10	15
25～29 歳	92	126
30～34 歳	333	462
35～39 歳	537	575
40～44 歳	433	345
45～49 歳	146	79
50～54 歳	35	4
55～59 歳	13	3
60 歳以上	8	2
不明	4	9
サンプル数	1,612	1,622

問 4：結婚してからの年数（SA）

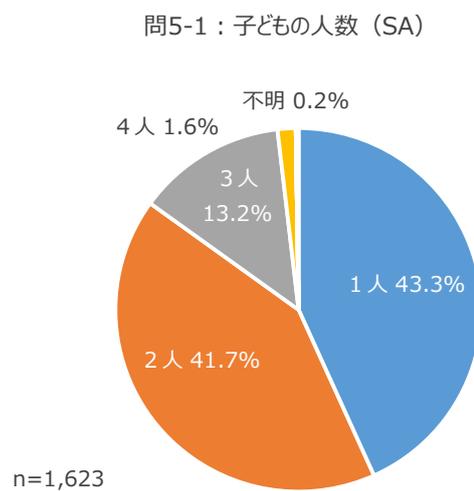
結婚してからの年数では、「10 年以上」と回答した人が最も多く 31.7%、次いで「7～10 年未満」が 23.8%、「5～7 年未満」が 20.0%となっている。



	N	%
3年未満	133	8.2%
3～5年未満	248	15.3%
5～7年未満	324	20.0%
7～10年未満	387	23.8%
10年以上	514	31.7%
不明	17	1.0%
サンプル数	1,623	100.0%

問 5-1 : 子どもの人数 (SA)

子どもの人数では、最も多い回答が「1人」で43.3%、次いで「2人」が41.7%、「3人」が13.2%と続いており、「1人」と「2人」が拮抗している。

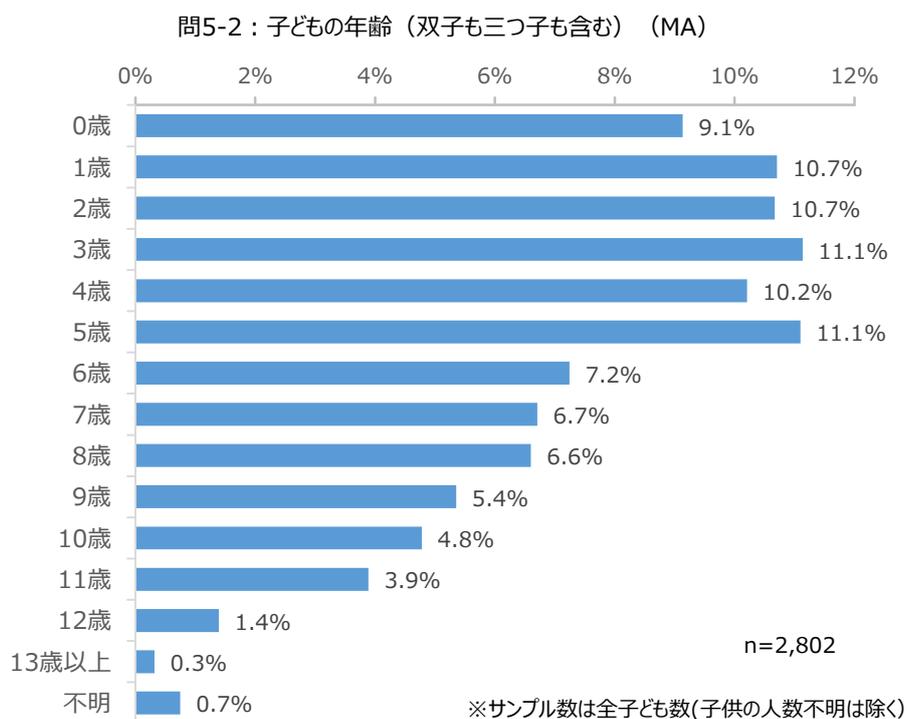


	N	%
1人	702	43.3%
2人	677	41.7%
3人	214	13.2%
4人	26	1.6%
5人	0	0.0%
6人以上	0	0.0%
不明	4	0.2%
サンプル数	1,623	100.0%

子どもがいる世帯を対象とした調査であるが、結婚することで子どもが2人以上いる世帯が過半数を超えていることが分かる。

問 5-2 : 子どもの年齢（双子も三つ子も含む）（MA）

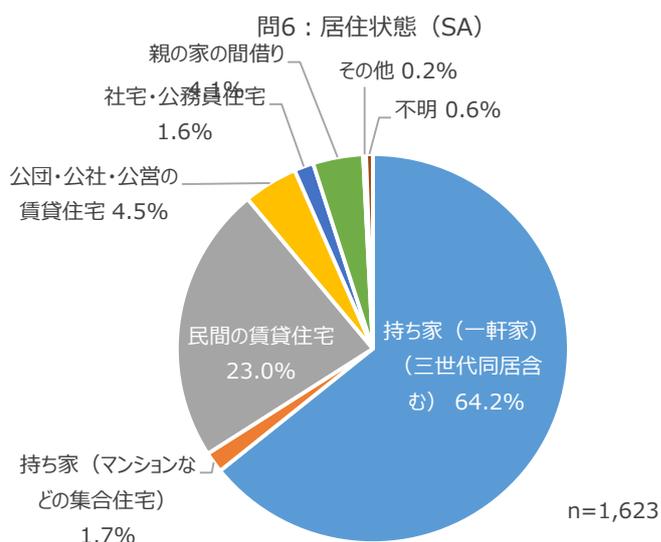
子どもの年齢では、「3歳」及び「5歳」と回答した人の割合がほぼ同数で11.1%を占め、次いで「1歳」及び「2歳」の10.7%となっている。



	N	%
0歳	256	9.1%
1歳	300	10.7%
2歳	299	10.7%
3歳	312	11.1%
4歳	286	10.2%
5歳	311	11.1%
6歳	203	7.2%
7歳	188	6.7%
8歳	185	6.6%
9歳	150	5.4%
10歳	134	4.8%
11歳	109	3.9%
12歳	39	1.4%
13歳以上	9	0.3%
不明	21	0.7%
サンプル数	2,802	100.0%

問6：居住状態（SA）

居住状態では、「持ち家（一軒家）（三世代同居を含む）」を挙げた人が最も多く 64.2%、次いで「民間の賃貸住宅」の 23.0%、「公団・公社・公営の賃貸住宅」の 4.5%となっている。



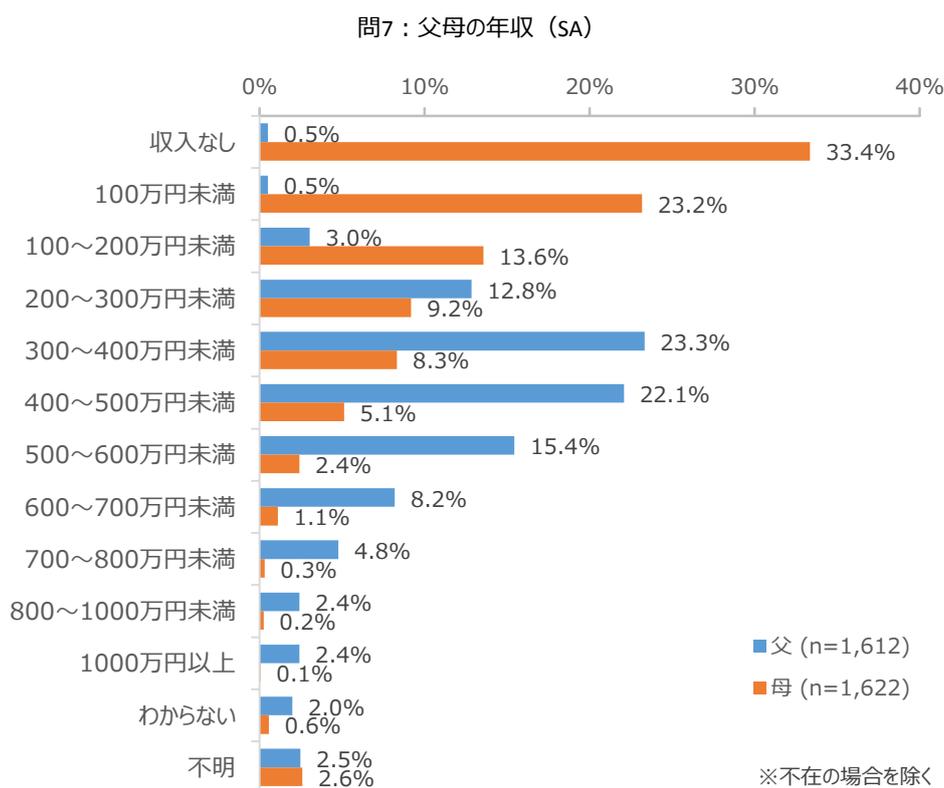
	N	%
持ち家（一軒家）（三世代同居含む）	1,042	64.2%
持ち家（マンションなどの集合住宅）	28	1.7%
民間の賃貸住宅	374	23.0%
公団・公社・公営の賃貸住宅	73	4.5%
社宅・公務員住宅	26	1.6%
親の家の間借り	67	4.1%
その他	4	0.2%
不明	9	0.6%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
借家	3
無回答	1
計	4

問7：父母の年収（SA）

父の年収では、「300～400万円未満」と回答した人が最も多く23.3%、次いで「400～500万円未満」の22.1%、「500～600万円未満」の15.4%となっている。

母の年収では、「収入なし」と回答した人が最も多く33.4%、次いで「100万円未満」の23.2%、「100～200万円未満」の13.6%となっている。



	父	母
収入なし	8	541
100万円未満	8	376
100～200万円未満	49	220
200～300万円未満	207	149
300～400万円未満	376	135
400～500万円未満	356	83
500～600万円未満	249	39
600～700万円未満	132	18
700～800万円未満	77	5
800～1000万円未満	39	4
1000万円以上	39	1
わからない	32	9
不明	40	42
サンプル数	1,612	1,622

問7父の年収 × 問5-1 実際の子どもの数（平均：人）

	峡中	峡東	峡南	峡北	富士 ・東部	不明	全体
収入なし	1.50	4.00	-	2.00	-	-	1.88
100万円未満	1.00	2.00	-	3.00	2.25	-	2.00
100～200万円未満	1.59	1.78	3.00	1.50	1.73	-	1.67
200～300万円未満	1.47	2.02	1.83	1.75	1.94	1.00	1.73
300～400万円未満	1.51	1.87	2.06	1.85	1.84	2.00	1.73
400～500万円未満	1.41	1.98	2.12	1.64	1.89	2.00	1.68
500～600万円未満	1.48	1.89	2.24	1.67	1.98	-	1.71
600～700万円未満	1.51	2.08	2.33	2.20	2.17	-	1.80
700～800万円未満	1.57	2.11	1.75	-	1.94	2.00	1.73
800～1000万円未満	1.70	2.60	-	2.00	2.20	-	1.90
1000万円以上	2.11	1.25	2.00	-	2.29	-	2.05
わからない	1.46	2.25	1.00	1.50	1.83	-	1.69
不明	1.36	2.00	-	2.00	1.73	1.00	1.70

父の年収と子どもの数との関係を見ると、年収が高い人の方が「実際の子どもの数」が多い傾向にある。

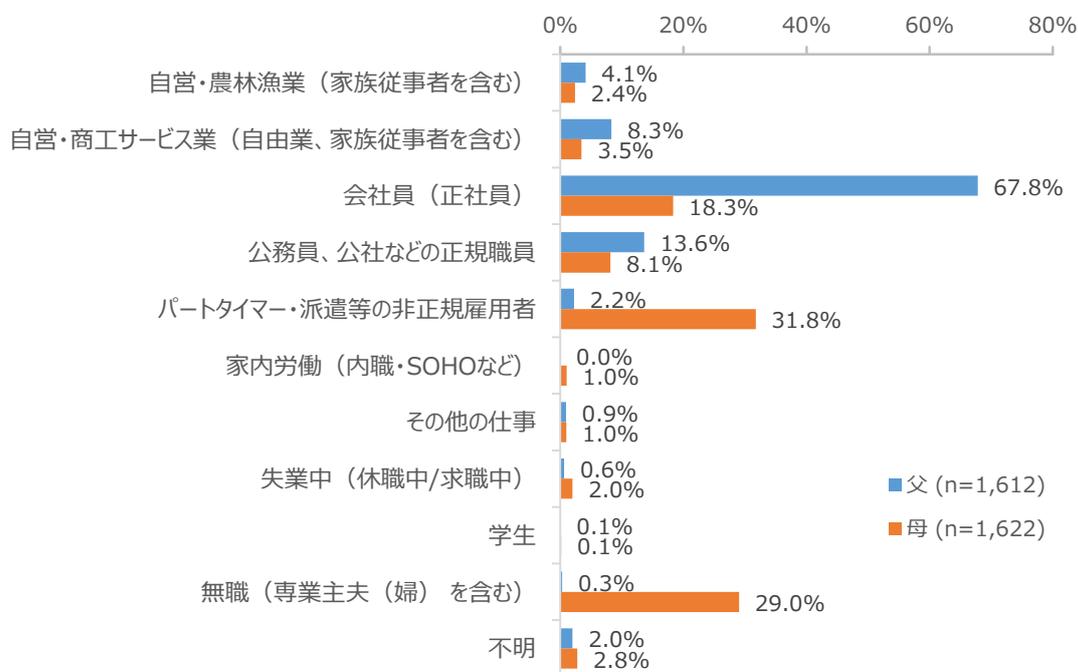
問 8(1) : 父母の就労状況 (SA)

父の就労状況では、回答した人の割合が最も高かったのは「会社員（正社員）」で、67.8%と 7 割近くを占め、その次に「公務員、公社など正規職員」の 13.6%が続いている。

一方、母の就労状況では、「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」の回答割合が最も高く 31.8%、次いで「無職（専業主夫（婦）を含む）」が 29.0%となっている。

父の就労状況と子どもの数との関係を見ると、非正規職員に比べ、正規職員の方が「欲しい子どもの数」は多い。そして、圏域別では、峡中圏域、峡北圏域、富士・東部圏域は非正規職員に比べ、正規職員の方が「欲しい子どもの数」及び「実際の子どもの数」共に多い。

問8(1) : 父母の就労状況 (SA)



	父	母
自営・農林漁業（家族従事者を含む）	66	39
自営・商工サービス業（自由業、家族従事者を含む）	134	56
会社員（正社員）	1,093	297
公務員、公社などの正規職員	220	132
パートタイマー・派遣等の非正規雇用者	36	515
家内労働（内職・SOHO など）	0	17
その他の仕事	15	16
失業中（休職中/求職中）	10	32
学生	1	2
無職（専業主夫（婦）を含む）	5	471
不明	32	45
サンプル数	1,612	1,622

父_就労状況_その他	N
団体職員	3
賃金職員	1
僧侶	1
宗教	1
自営、建設業	1
飲食業	1
製造業	1
無回答	6
計	15

母_就労状況_その他	N
臨時職員	2
団体職員	1
委託業務	1
ピアノ教室	1
ネットワークビジネス	1
無回答	10
計	16

圏域別の父の就労状況と欲しい子どもの数及び実際の子どもの数（平均：人）

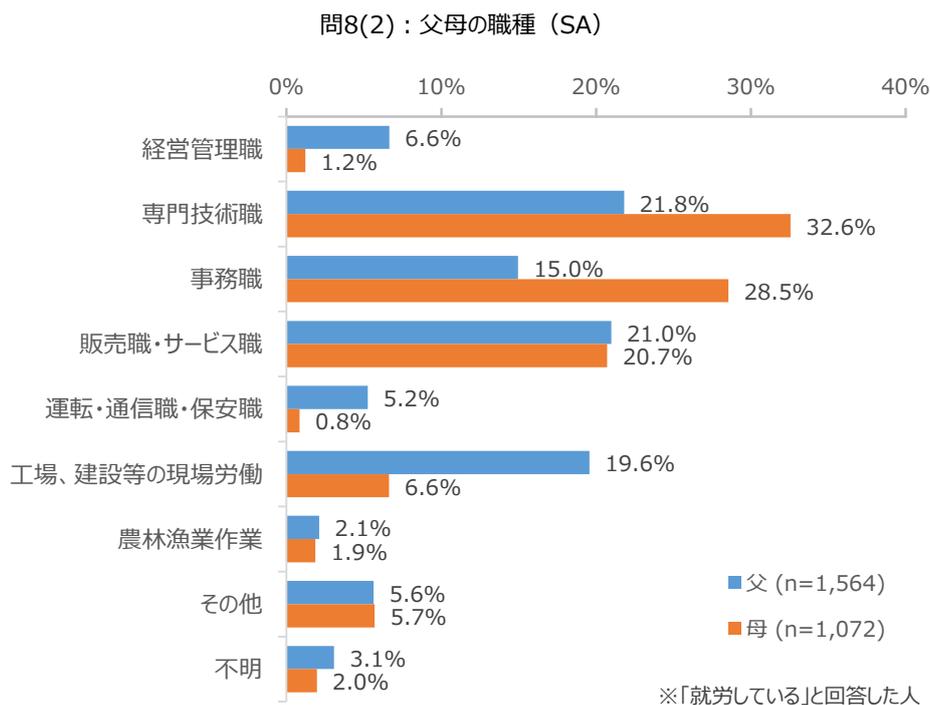
		峡中	峡東	峡南	峡北	富士 ・東部	不明	全体
N=		739	262	112	107	336	8	1,564
欲しい子どもの数	正規職員	2.52	2.70	2.82	2.53	2.65	2.50	2.60
	非正規職員	2.31	2.80	3.00	2.00	2.50	2.50	2.50
実際の子どもの数	正規職員	1.50	1.96	2.06	1.78	1.93	1.75	1.73
	非正規職員	1.44	2.40	2.50	1.00	1.88	1.00	1.77

圏域ごとには若干の差はあるものの、おおむね非正規職員よりも正規職員の方が「欲しい子どもの数」及び「実際の子どもの数」共に多い結果となり、就労形態が子どもの数に影響を与える要因の一つであると推察される。

問 8(2) : 父母の職種 (SA)

父の職種では、最も多い回答は「専門技術職」で 21.8%、次いで「販売職・サービス職」の 21.0%、「工場、建設等の現場労働」の 19.6%と続いている。

母の職種では、「専門技術職」が 32.6%、次いで「事務職」の 28.5%、「販売職・サービス職」の 20.7%と続いている。



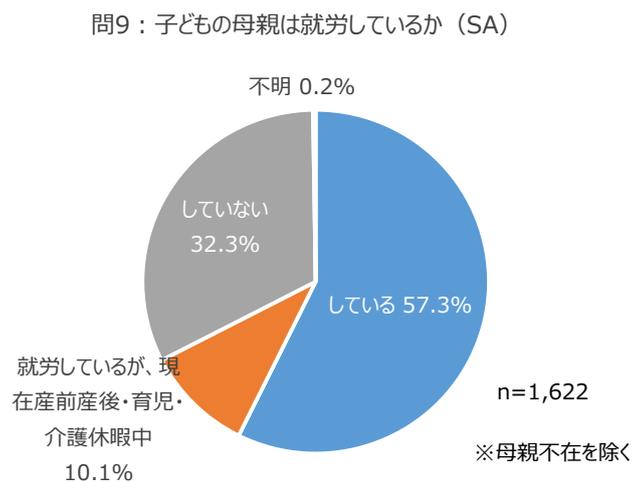
	父	母
経営管理職	104	13
専門技術職	341	349
事務職	234	306
販売職・サービス職	328	222
運転・通信職・保安職	82	9
工場、建設等の現場労働	306	71
農林漁業作業	33	20
その他	88	61
不明	48	21
サンプル数	1,564	1,072

父_職種_その他	N
製造業	30
公務員	3
自動車板金塗装	3
設計	2
配達員	2
リサイクル業	1
機械関係	1
市関係	1
自動車学校	1
自動車関係	1
自動車修理士	1
生産管理職	1
石材業	1
彫刻家	1
無回答	39
計	88

母_職種_その他	N
製造業	8
製造	4
医療	1
育休中	1
菓子製造業	1
公務、非常勤職員	1
雑務	1
職人	1
食品関係	1
食品製造業	1
製造員	1
地方公務員	1
無回答	39
計	61

問9：子どもの母親は就労しているか（SA）

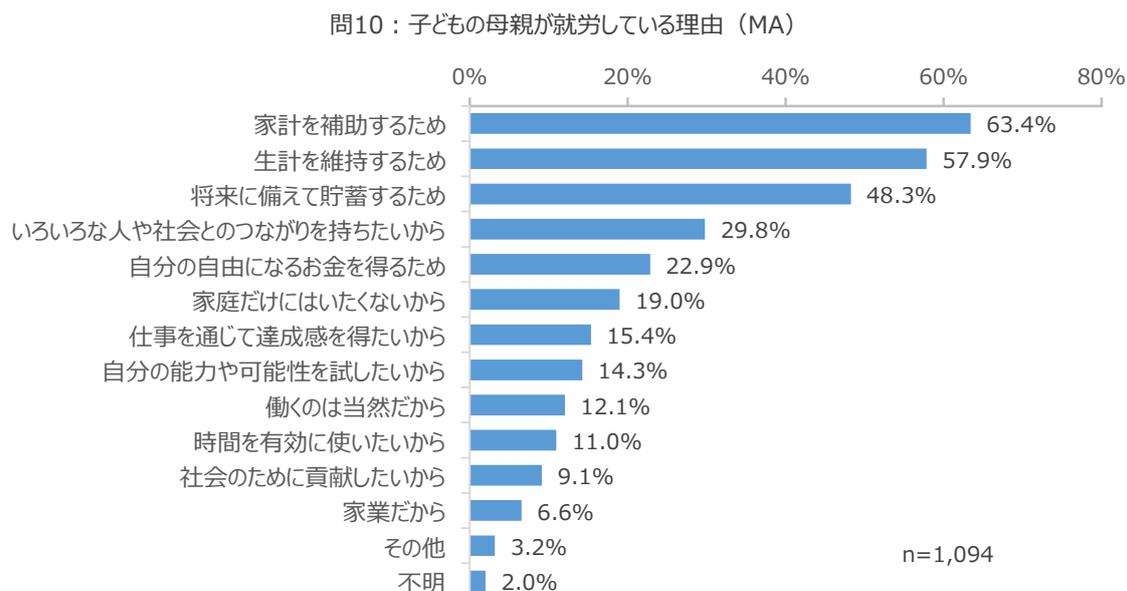
母親が就労している人の割合は 57.3%、就労していない人の割合は 32.3%である。また、「就労しているが、現在産前産後・育児・介護休暇中」の人は、10.1%であった。



	N	%
している	930	57.3%
就労しているが、現在産前産後・育児・介護休暇中	164	10.1%
していない	524	32.3%
不明	4	0.2%
サンプル数	1,622	100.0%

問 10 : 子どもの母親が就労している理由 (MA)

母親が就労している理由について当てはまる選択肢をいくつでも選んでもらったところ、「家計を補助するため」を挙げた人が最も多く 63.4%、次いで「生計を維持するため」の 57.9%、「将来に備えて貯蓄するため」の 48.3%となっており、経済的理由が上位を占めている。



※「就労している」、「就労しているが、現在産前産後・育児・介護休暇中」と回答した人

	N	%
家計を補助するため	694	63.4%
生計を維持するため	633	57.9%
将来に備えて貯蓄するため	528	48.3%
いろいろな人や社会とのつながりを持ちたいから	326	29.8%
自分の自由になるお金を得るため	250	22.9%
家庭だけにはいたくないから	208	19.0%
仕事を通じて達成感を得たいから	168	15.4%
自分の能力や可能性を試したいから	156	14.3%
働くのは当然だから	132	12.1%
時間を有効に使いたいから	120	11.0%
社会のために貢献したいから	100	9.1%
家業だから	72	6.6%
その他	35	3.2%
不明	22	2.0%
サンプル数	1,094	100.0%

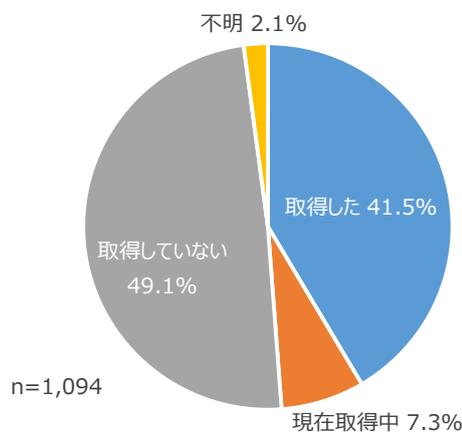
その他	N
子供が保育園に通園するため	7
頼まれて	4
会社の要請	2
元々働いているから	2
今の仕事が楽しい・好きだから	2
10年以上勤務しているため	1
いざという時の実家の家計を助けるため	1
お客様が待っているので	1
育児、家事の切り替え。リフレッシュ出来る。社会を学べる。食事が美味しく食べられる気がする	1
簡単に辞められないから	1
義母が家事をしてくれているので、主婦は一家に2人はいらなと思うので	1
今の職場が時間に融通がきくため	1
自分と夫の楽しみのため、子どもの楽しみのため	1
同居の為、家のいる事がストレス	1
夫が経営する会社が人材不足のため	1
母子家庭のため	1
無回答	7
計	35

問 11：育児休業を取得したことがあるか（SA）

育児休業を取得したことがあるか尋ねたところ、育児休業を取得していない人が 49.1%、取得した人と現在取得中の人を合わせた“育児休暇取得者”は 48.8%となり、拮抗している。

子どもの年齢別では、「0～2 歳」の子どもがいる人の“育児休暇取得者”の割合は 67.1%となっている。一方、3 歳以上の子どもがいる人は、育児休業を取得していない人が 5 割超となっている。

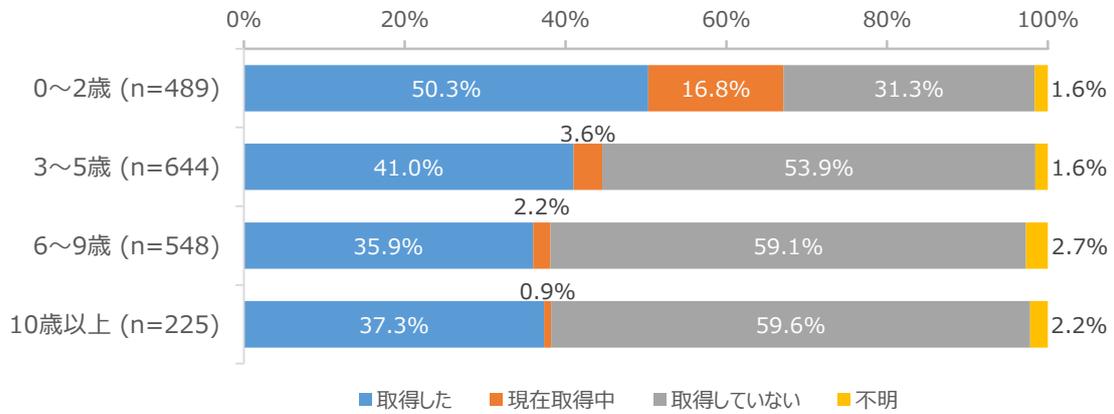
問11：育児休業を取得したことがあるか（SA）



※「就労している」、「就労しているが、現在産前産後・育児・介護休暇中」と回答した人

	N	%
取得した	454	41.5%
現在取得中	80	7.3%
取得していない	537	49.1%
不明	23	2.1%
サンプル数	1,094	100.0%

問5-2：子どもの年齢 × 問11：育児休業を取得したことがあるか



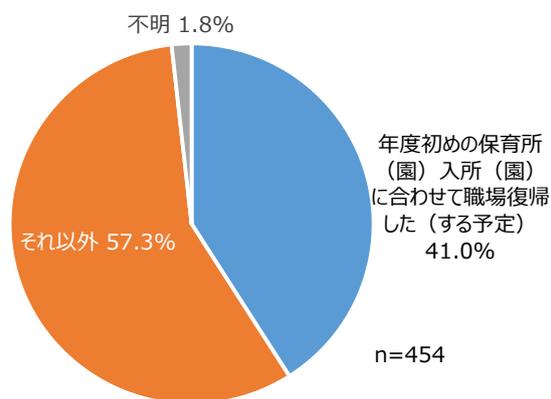
断定はできないが、子どもの年齢層が低いほど育児休業取得者の割合が高いことから、状況は依然として厳しいものの、従前に比べ、育児休業を取得できる環境が整ってきている可能性もある。

問 11-1：職場復帰は年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせたか（SA）

育児休業を取得したことがある人に、職場復帰の時期について尋ねたところ、「年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせて職場復帰した（する予定）」と回答した人は、41.0%と約 4 割を占めている。

子どもの年齢別では、10 歳未満の子どもがいる場合、おおむね 4 割の人が「年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせて職場復帰した（する予定）」と答えている。

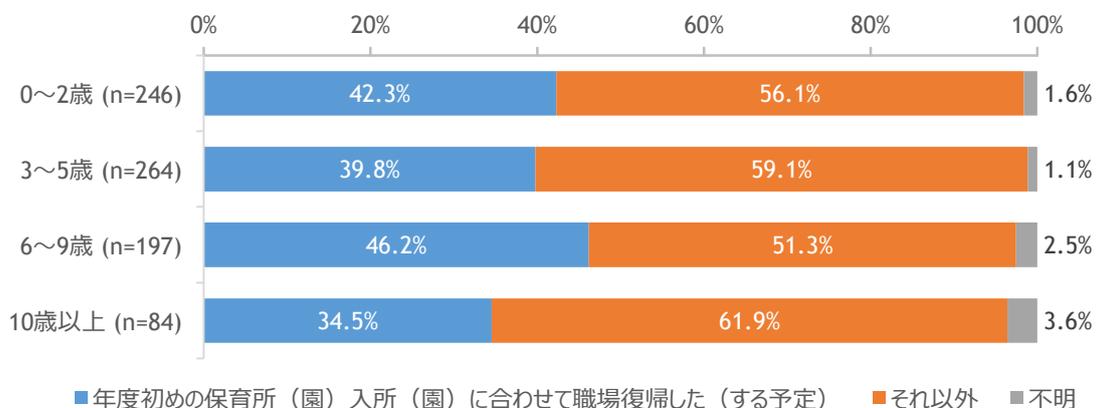
問11-1：復帰時期は年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせたか（SA）



※「育児休業を取得したことがある」と回答した人

	N	%
年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせて職場復帰した（する予定）	186	41.0%
それ以外	260	57.3%
不明	8	1.8%
サンプル数	454	100.0%

問5-2：子どもの年齢 × 問11-1：職場復帰時期は年度初めの保育所（園）入所（園）に合わせたか

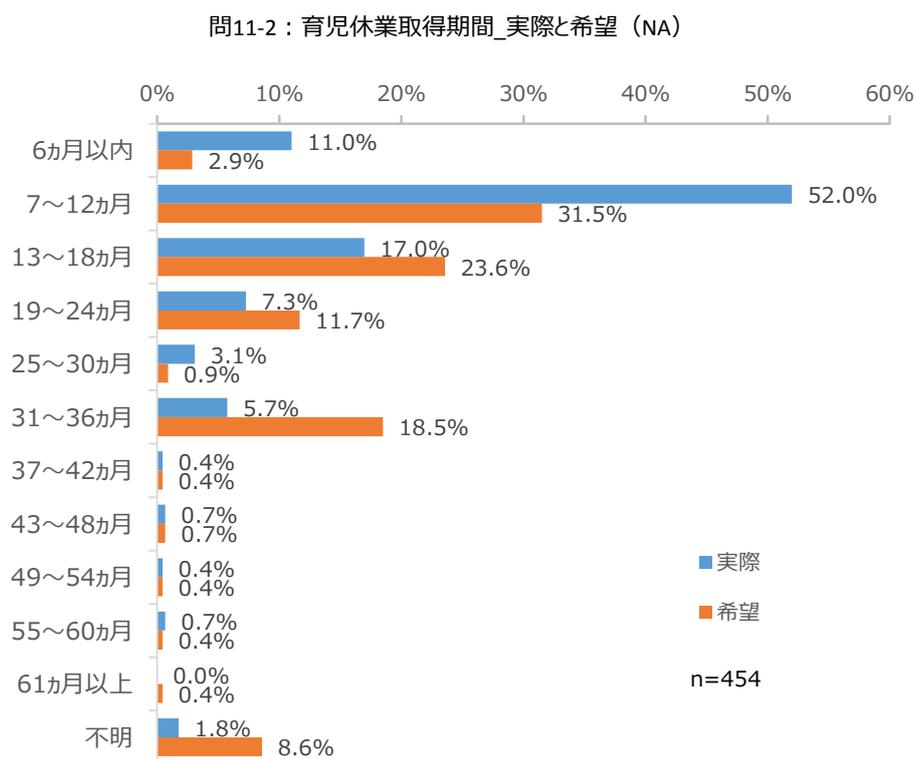


年度途中での職場復帰希望者が、希望どおりの時期に復帰できるよう、柔軟な対応が可能になるとことが望まれる。

問 11-2 : 育児休業取得期間_実際と希望 (NA)

育児休業を取得した人に実際の取得期間を聞いたところ、「7～12ヵ月」と答えた人が最も多く52.0%、次いで「13～18ヵ月」の17.0%、「6ヵ月以内」の11.0%と続いている。

一方、希望の取得期間（本当はこれだけ休みたかったと思う期間）については、回答者が多い順に「7～12ヵ月」（31.5%）、「13～18ヵ月」（23.6%）、「31～36ヵ月」（18.5%）となっている。



※「育児休業を取得したことがある」と回答した人

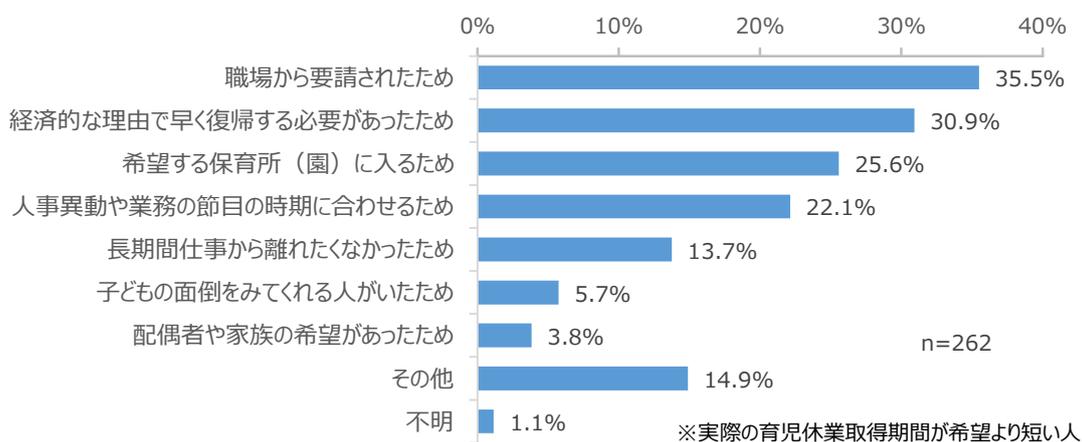
	実際	希望
6ヵ月以内	50	13
7～12ヵ月	236	143
13～18ヵ月	77	107
19～24ヵ月	33	53
25～30ヵ月	14	4
31～36ヵ月	26	84
37～42ヵ月	2	2
43～48ヵ月	3	3
49～54ヵ月	2	2
55～60ヵ月	3	2
61ヵ月以上	0	2
不明	8	39
サンプル数	454	454

問 11-3(1) : 育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由 <希望より短い人> (MA)

実際の育児休業の取得期間が希望よりも短い人に、その理由として当てはまる選択肢をいくつでも選んでもらったところ、「職場から要請されたため」と回答した人が最も多く 35.5%、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 30.9%、「希望する保育所（園）に入るため」が 25.6%となっている。

子どもの年齢別では、「0～2 歳」の場合、「職場から要請されたため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が共に 35.1%で最も高く、次いで「希望する保育所（園）に入るため」の 29.8%となっている。「3～5 歳」の場合は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 30.0%で最も高く、次いで「職場から要請されたため」の 29.3%、「希望する保育所（園）に入るため」の 24.0%などとなっている。

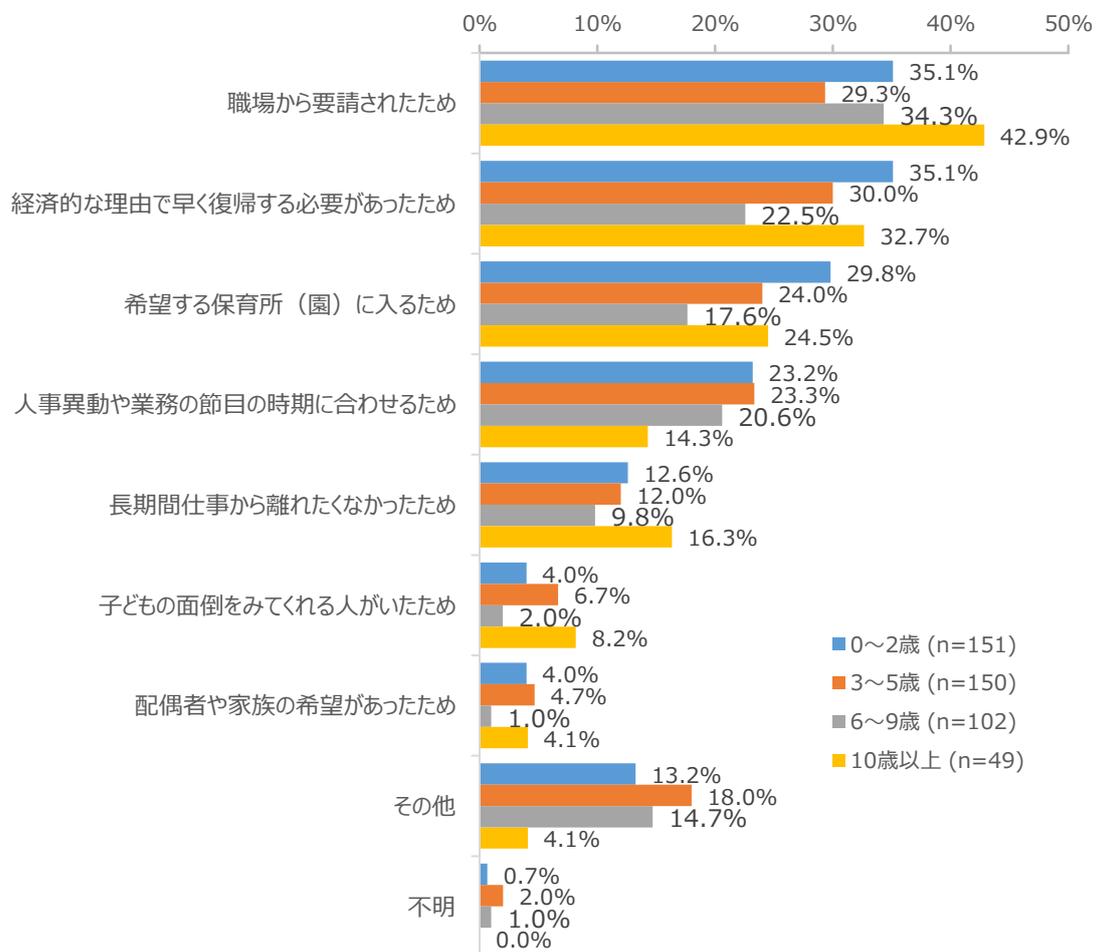
問11-3(1) : 育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由 <希望より短い人> (MA)



	N	%
職場から要請されたため	93	35.5%
経済的な理由で早く復帰する必要があったため	81	30.9%
希望する保育所（園）に入るため	67	25.6%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	58	22.1%
長期間仕事から離れたいなかったため	36	13.7%
子どもの面倒をみてくれる人がいたため	15	5.7%
配偶者や家族の希望があったため	10	3.8%
その他	39	14.9%
不明	3	1.1%
サンプル数	262	100.0%

その他	N
職場の就業規則	16
会社が倒産・廃業したため	2
育児へのストレス	2
4月入園で区切りが良かった	2
12ヵ月以上の育休を取得する人がいなかった	1
18ヵ月までしか取れなかった	1
1年取得したため	1
3才まで面倒を見たかった	1
4月以降は入りにくい	1
育休期間の延長が出来ず、退職せざるを得なかったため	1
育休中でもお給料が出ないので	1
育児休業は1年だと思っていたため、当然のように復帰した	1
園より言われたため（4月入所でないダメですと）	1
長期は取得しにくい（会社に対して）	1
途中で退職を要請されたため	1
同居のため、家にいたくなかった	1
戻る場所がなかったらと不安だったから	1
子どもを連れて行ける環境だったため	1
無回答	3
計	39

問5-2：子どもの年齢 × 問11-3(1)：育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由<希望より短い人>



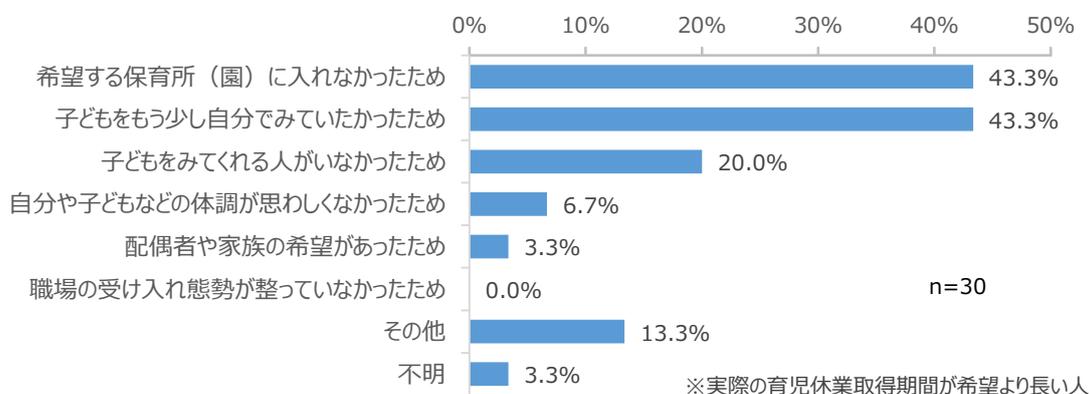
「職場から要請されたため」や「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」といった“就労・経済的な理由”が上位を占めており、仕事と子育ての両立が必要である様子が見えてくる。また、「希望する保育所（園）に入るため」という回答から、希望する保育所（園）に入所（園）しにくい現状があることも否定できない。

問 11-3(2) : 育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由 <希望より長い人> (MA)

実際の育児休業の取得期間が希望より長い人に、その理由として当てはまる選択肢をいくつでも選んでもらったところ、「希望する保育所（園）に入れなかったため」及び「子どもをもう少し自分でみていたかったため」を挙げた人が最も多くそれぞれ 43.3%、次いで、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 20.0%と続いている。

子どもの年齢別では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」は、「0～2 歳」が 41.2%、「3～5 歳」が 42.9%、「6～9 歳」が 50.0%と 4～5 割程度を占めている。また、「子どもをもう少し自分でみていたかったため」においては、「0～2 歳」が 41.2%、「3～5 歳」が 50.0%となっている。

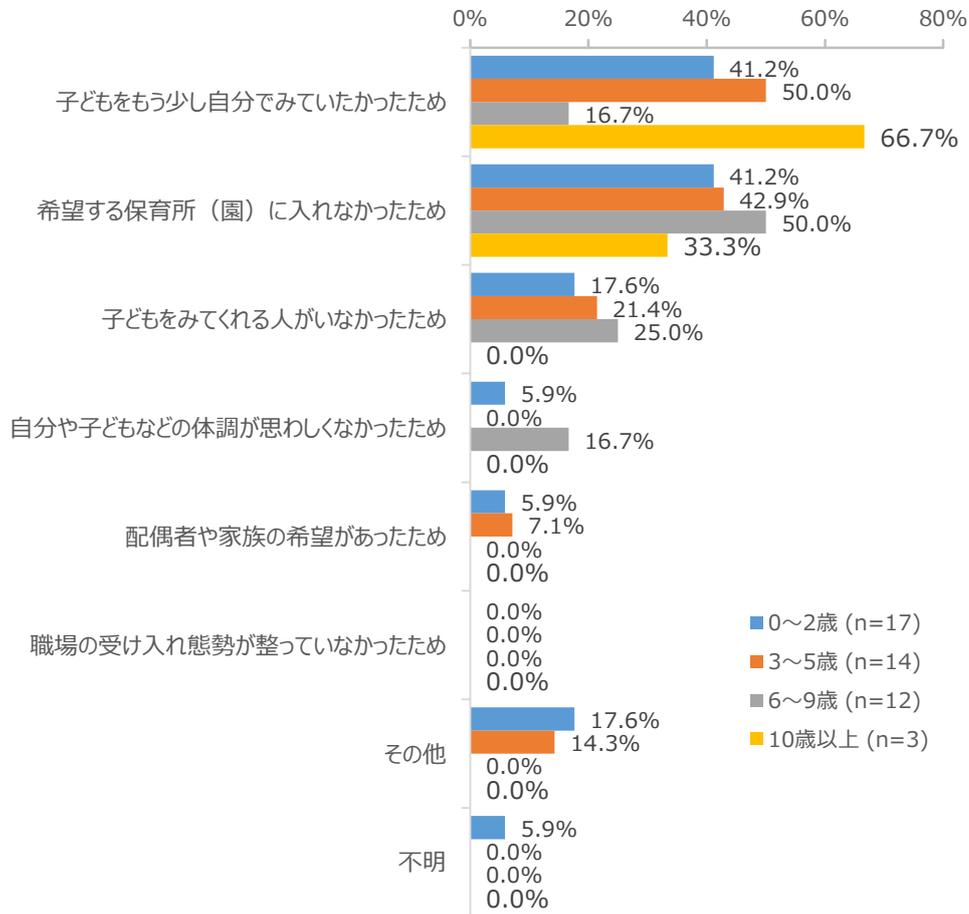
問11-3(2) : 育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由 <希望より長い人> (MA)



	N	%
希望する保育所（園）に入れなかったため	13	43.3%
子どもをもう少し自分でみていたかったため	13	43.3%
子どもをみてくれる人がいなかったため	6	20.0%
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	6.7%
配偶者や家族の希望があったため	1	3.3%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
その他	4	13.3%
不明	1	3.3%
サンプル数	30	100.0%

その他	N
年度に合わせて	1
最初のうちは子どもが熱を出したり、呼び出しが多くなるため	1
ならし保育期間	1
2 人目を妊娠したため	1
計	4

問5-2：子どもの年齢 × 問11-3(2)：育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由
 <希望より長い人>



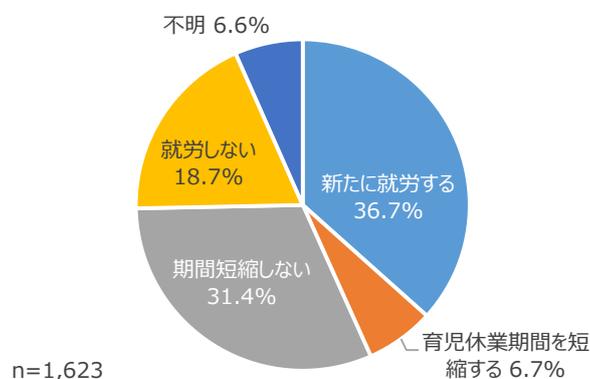
問 11-3(1)「育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由 <希望より短い人>」でも「希望する保育所（園）に入るため」が上位に挙がっており、サンプル数は少ないが育児休業の取得期間が希望より長い人も同様である。したがって、希望する保育所（園）に入所（園）しにくい現状が見られると共に、当該項目が育児休業取得期間に影響を及ぼす大きな要因と考えられる。

問 12：保育料の負担が軽減される場合の育児休業取得期間や就労希望（SA）

保育料の負担が軽減される場合の育児休業取得期間や就労希望について尋ねた問いでは、「新たに就労する」と回答した人が 36.7%いたものの、続いて「育児休業期間を短縮しない」が 31.4%、「就労しない」が 18.7%となっている。

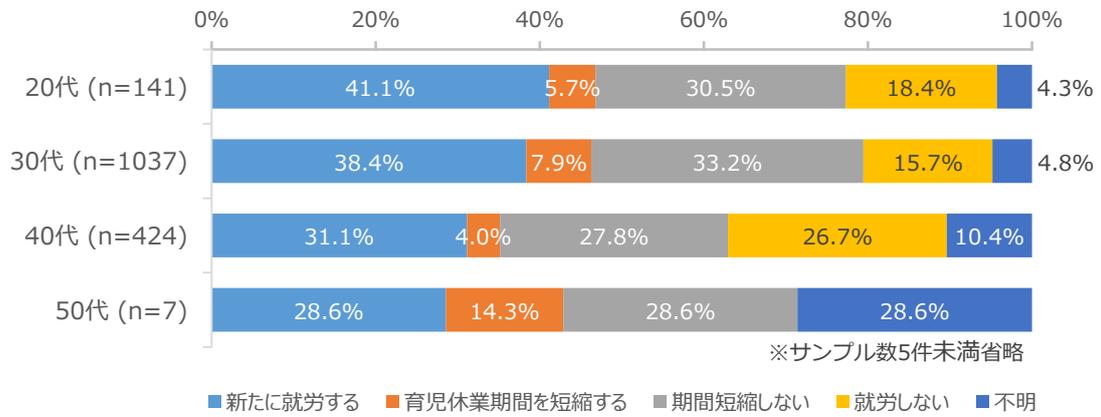
母の年齢別で見ると、「新たに就労する」が 20代は 41.1%、30代は 38.4%、40代は 31.1%などとなっており、50代を除き当該項目の回答割合が最も高い。また、「育児休業を短縮する」と回答した人も 50代を除き各年代共に 4～8%程度いる。

問12：保育料の負担が軽減される場合の育児休業取得期間や就労希望（SA）



	N	%
新たに就労する	595	36.7%
育児休業期間を短縮する	108	6.7%
期間短縮しない	509	31.4%
就労しない	304	18.7%
不明	107	6.6%
サンプル数	1,623	100.0%

問3：母の年齢 × 問12：保育料の負担が軽減される場合の育児休業取得期間や就労希望



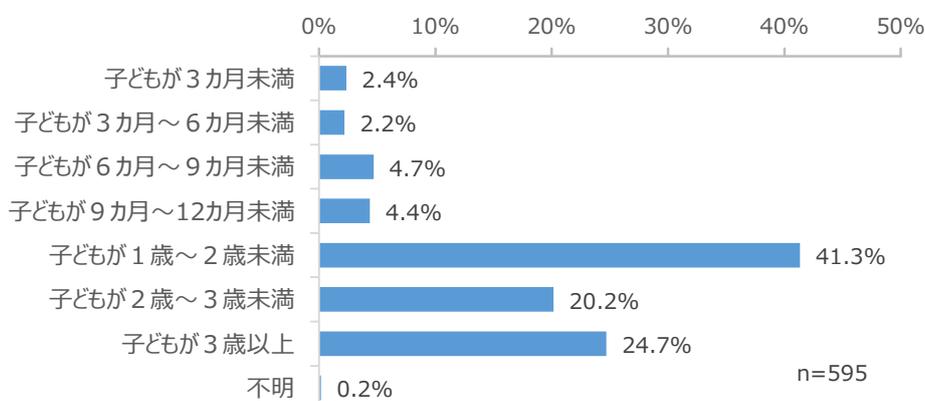
母の年齢層が低いほど新規就労を希望する人がいることから、保育料の負担軽減が女性の社会進出を促すことも有り得る。

問 12-1 : 保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、子どもが何歳の時に就労するか (SA)

保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、子どもが何歳の時に就労しようとするか尋ねたところ、最も回答割合が高かったのは「子どもが1歳～2歳未満」で41.3%、次いで「子どもが3歳以上」の24.7%、「子どもが2歳～3歳未満」の20.2%と続いている。

母の年齢別で見ると、年齢層が低い方が「子どもが1歳から2歳未満」と回答する割合が高い。また、子どもの年齢別でも、年齢層が低い方が「子どもが1歳から2歳未満」と回答する割合が高い。

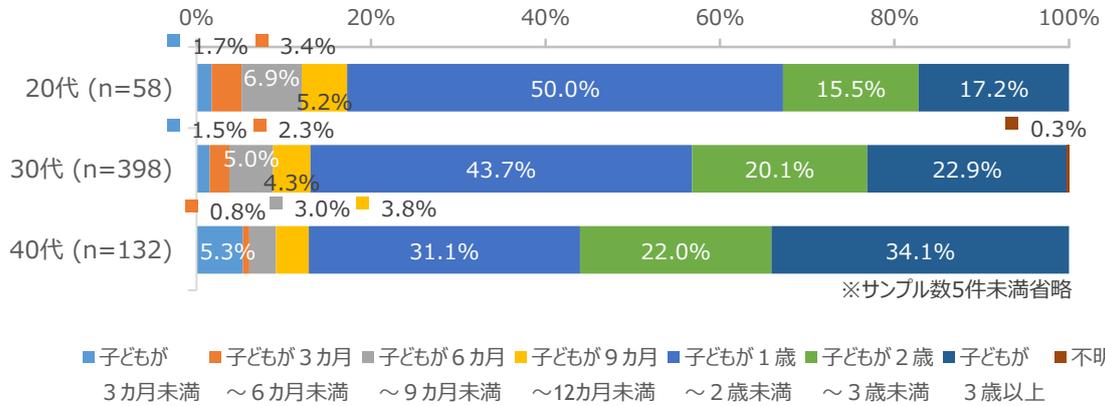
問12-1：保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、
子どもが何歳の時に就労するか（SA）



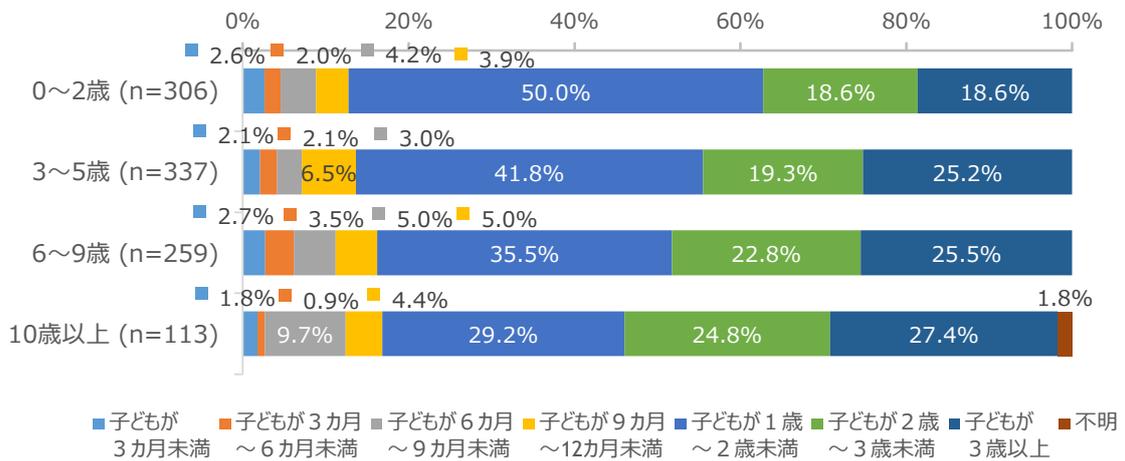
※「保育料負担が軽減される場合、新たに就労する」と回答した人

	N	%
子どもが3カ月未満	14	2.4%
子どもが3カ月～6カ月未満	13	2.2%
子どもが6カ月～9カ月未満	28	4.7%
子どもが9カ月～12カ月未満	26	4.4%
子どもが1歳～2歳未満	246	41.3%
子どもが2歳～3歳未満	120	20.2%
子どもが3歳以上	147	24.7%
不明	1	0.2%
サンプル数	595	100.0%

問3：母の年齢 × 問12-1：保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、
子どもが何歳の時に就労するか



問5-2：子どもの年齢 × 問12-1：保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、
子どもが何歳の時に就労するか

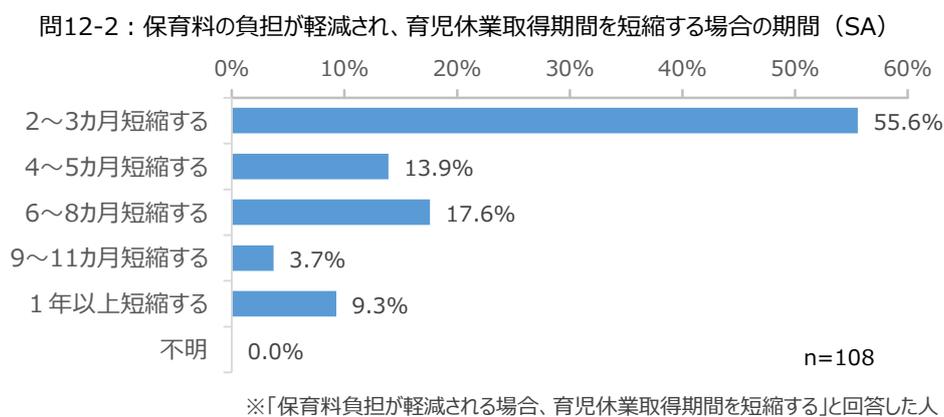


母の年齢別でも子どもの年齢別でも「子どもが1歳～2歳未満」に就労すると回答している人が最も多いことから、この年齢が一つの基準になることが予想される。

問 12-2 : 保育料の負担が軽減され、育児休業取得期間を短縮する場合の期間 (SA)

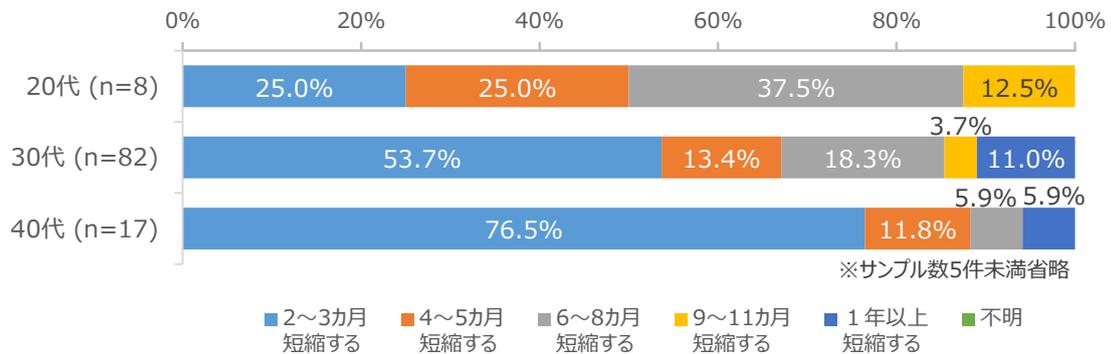
保育料の負担が軽減され育児休業取得期間を短縮する場合、短縮しようと思う期間を聞いたところ、「2～3カ月短縮する」が55.6%と回答者全体の半数以上を占めている。次いで「6～8カ月短縮する」が17.6%、「4～5カ月短縮する」が13.9%となっている。

母の年齢別で見ると、20代では「6～8カ月短縮する」、30代及び40代は「2～3カ月短縮する」と回答した割合が最も高い。

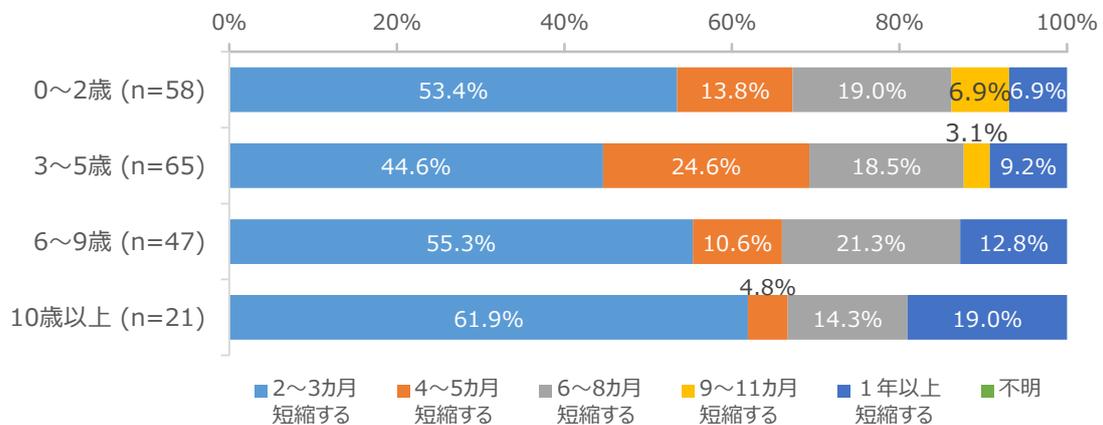


	N	%
2～3カ月短縮する	60	55.6%
4～5カ月短縮する	15	13.9%
6～8カ月短縮する	19	17.6%
9～11カ月短縮する	4	3.7%
1年以上短縮する	10	9.3%
不明	0	0.0%
サンプル数	108	100.0%

問3：母の年齢 × 問12-2：保育料の負担が軽減され、育児休業取得期間を短縮する場合の期間



問5-2：子どもの年齢 × 問12-2：保育料の負担が軽減され、育児休業取得期間を短縮する場合の期間



サンプル数が少ないため断定的なことは言えないが、母の年齢が若いほど早期の職場復帰を望んでいる傾向があるかもしれない。また、子どもの年齢層が低いことと母の年齢が低いことに相関関係があることが推測される。

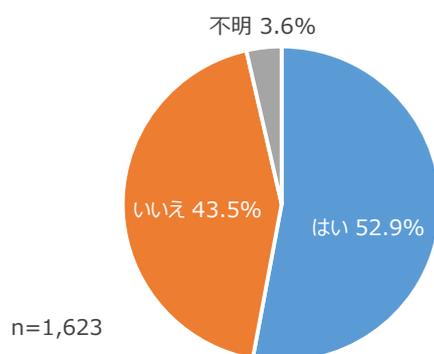
問 12-3 : 保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む動機付けになるか (SA)

保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む（第2子、3子を産む）動機付けになると考える人は、52.9%と過半数を超えている。

父母の年齢別では、20～30代は動機付けになると考える人が、動機付けにならないと考える人よりも多い。特に、20代の父は64.7%、母は72.3%が動機付けになるとそれぞれ回答している。

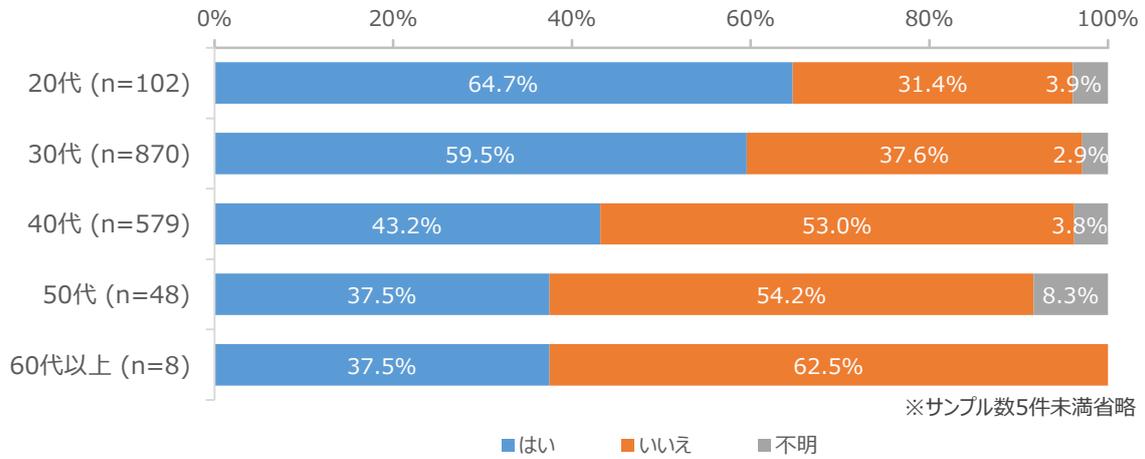
また、子どもの年齢が「0～2歳」では61.1%、「3～5歳」では53.2%と年齢層が低い子どもがいる方が動機付けになると考える人が多い傾向にある。

問12-3 : 保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む動機付けになるか (SA)

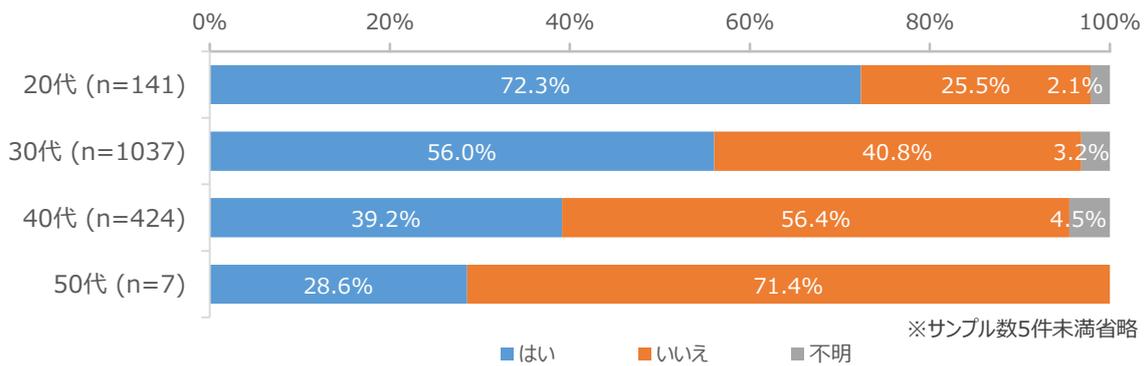


	N	%
はい	859	52.9%
いいえ	706	43.5%
不明	58	3.6%
サンプル数	1,623	100.0%

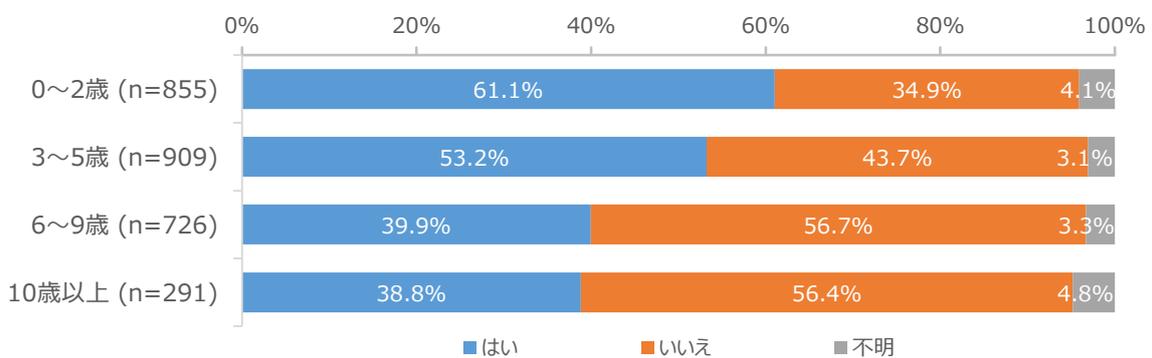
問3：父の年齢 × 問12-3：保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む動機付けになるか



問3：母の年齢 × 問12-3：保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む動機付けになるか



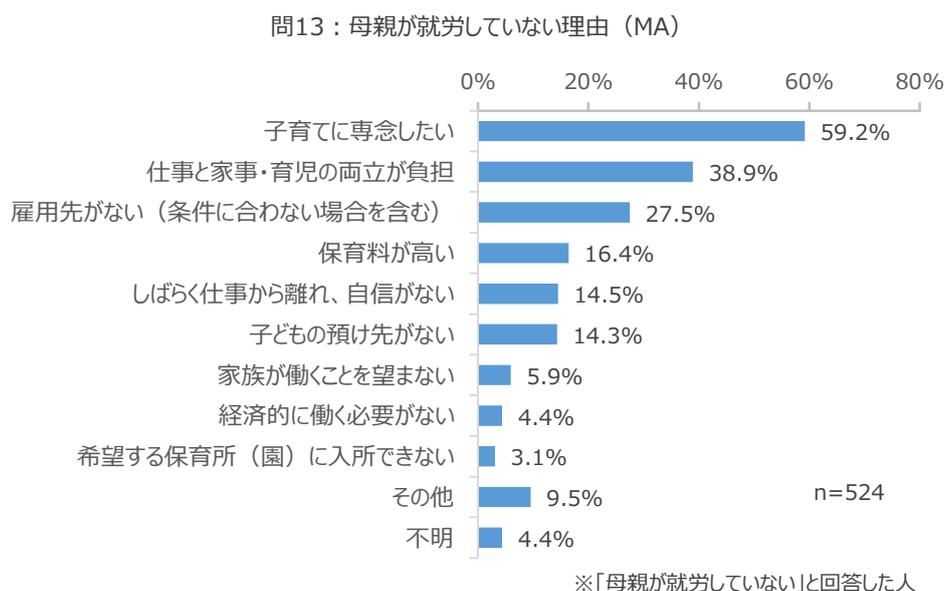
問5-2：子どもの年齢 × 問12-3：保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む動機付けになるか



父母が低年齢ほど出生意欲は高い傾向が見られ、保育料の負担軽減が有効なインセンティブとなる可能性が大きい。

問 13 : 母親が就労していない理由 (MA)

現在就労していない母親に就労していない理由について、当てはまる選択肢をいくつでも選んでもらったところ、「子育てに専念したい」と回答した人の割合が 59.2%とほぼ 6 割を占め、以下「仕事と家事・育児の両立が負担」(38.9%)、「雇用先がない(条件に合わない場合を含む)」(27.5%)、「保育料が高い」(16.4%)の順となっている。



	N	%
子育てに専念したい	310	59.2%
仕事と家事・育児の両立が負担	204	38.9%
雇用先がない(条件に合わない場合を含む)	144	27.5%
保育料が高い	86	16.4%
しばらく仕事から離れ、自信がない	76	14.5%
子どもの預け先がない	75	14.3%
家族が働くことを望まない	31	5.9%
経済的に働く必要がない	23	4.4%
希望する保育所(園)に入所できない	16	3.1%
その他	50	9.5%
不明	23	4.4%
サンプル数	524	100.0%

その他	N
妊娠・出産のため	7
もう1人希望しているため	5
親や子等の介護のため	5
就労予定	3
病気のため	3
夫の仕事が忙しく、援助が望めない	3
産後間もない	3
農家手伝いがあるため	3
学生	2
体調不良	2
保育園ではなく、幼稚園に通わせたい	2
家事手伝い	1
感情的に子どもを預けるのは可哀そうに思うから	1
子どもがまだ小さい	1
社員で働いていたが、会社の上司が育児に理解がなく、やむを得ず退職した	1
上の子が幼稚園のため、下の子は保育園だと大変	1
不登校等の問題を抱えているから	1
父が単身赴任のため	1
保育所の選択肢がない	1
無回答	4
計	50

「仕事と家事・育児の両立が負担」、「雇用先がない（条件に合わない場合を含む）」などの回答状況から、仕事と子育ての両立ができる雇用・就労環境が必要である。

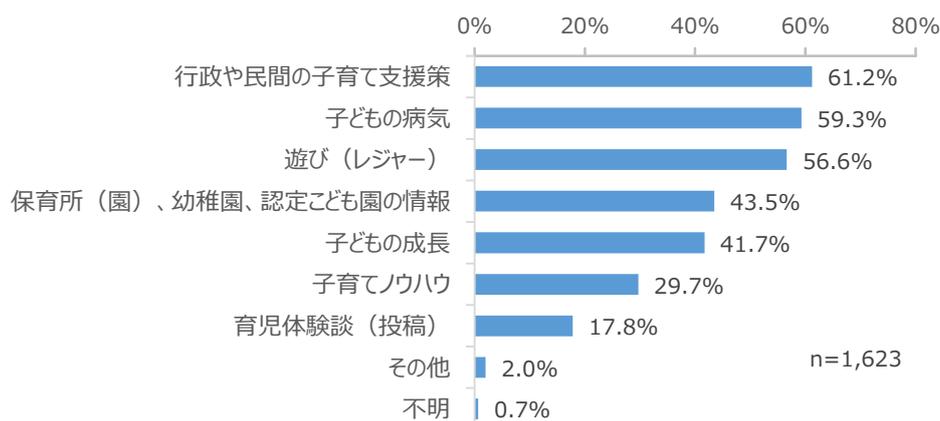
問 14 : どんな子育てに関する情報がほしいか (MA)

子育てに関する情報ではどのようなものがほしいと考えているか尋ねた問いでは、回答割合が高い順から「行政や民間の子育て支援策」(61.2%)、「子どもの病気」(59.3%)、「遊び(レジャー)」(56.6%)となっており、それぞれ過半数を超えている。

圏域別では、回答割合が最も高い項目に若干の差異が見られ、峡中圏域は「行政や民間の子育て支援策」、峡南圏域、峡北圏域、富士・東部圏域は「子どもの病気」、峡東圏域では「遊び(レジャー)」となっている。

父の年齢別で見ると、回答割合が最も高い項目は、20代が「遊び(レジャー)」、30代が「行政や民間の子育て支援策」及び「子どもの病気」、40代が「行政や民間の子育て支援策」である。そして、母の年齢別で見ると、回答割合が最も高い項目は、20代が「子どもの病気」、30代及び40代が「行政や民間の子育て支援策」となっている。

問14：どんな子育てに関する情報がほしいか (MA)



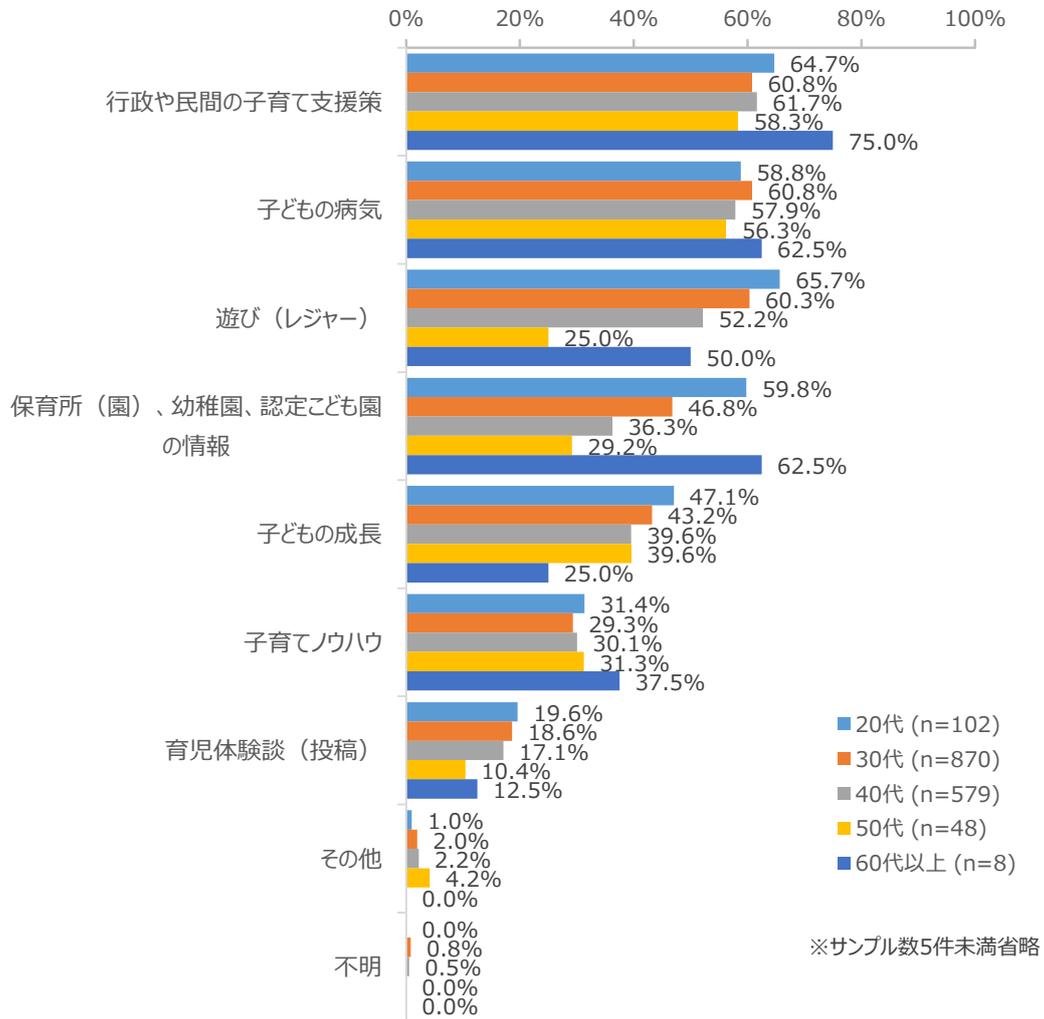
	N	%
行政や民間の子育て支援策	993	61.2%
子どもの病気	962	59.3%
遊び(レジャー)	919	56.6%
保育所(園)、幼稚園、認定こども園の情報	706	43.5%
子どもの成長	677	41.7%
子育てノウハウ	482	29.7%
育児体験談(投稿)	289	17.8%
その他	33	2.0%
不明	11	0.7%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
習い事の情報（種類や場所）	5
学校の様子、公立私立の内容	3
ワクチン・予防接種について	3
病院・救急医	3
ストレス発散法	1
どんな職業があるのか	1
フリースクールなど	1
学力的向上支援	1
教育について	1
禁煙など子ども向け配慮のある施設（レストラン、休憩所等）	1
経済的なやりくり	1
再就職の情報	1
子どもの安全を守るための手立て	1
食物アレルギーに関する情報	1
親の介護	1
進学	1
人との繋がり	1
土地や住宅に関するもの	1
発達障害（アスペルガー等）などの子どもの進学、就職	1
必要な出費額（色々な）	1
特にない	2
無回答	1
計	33

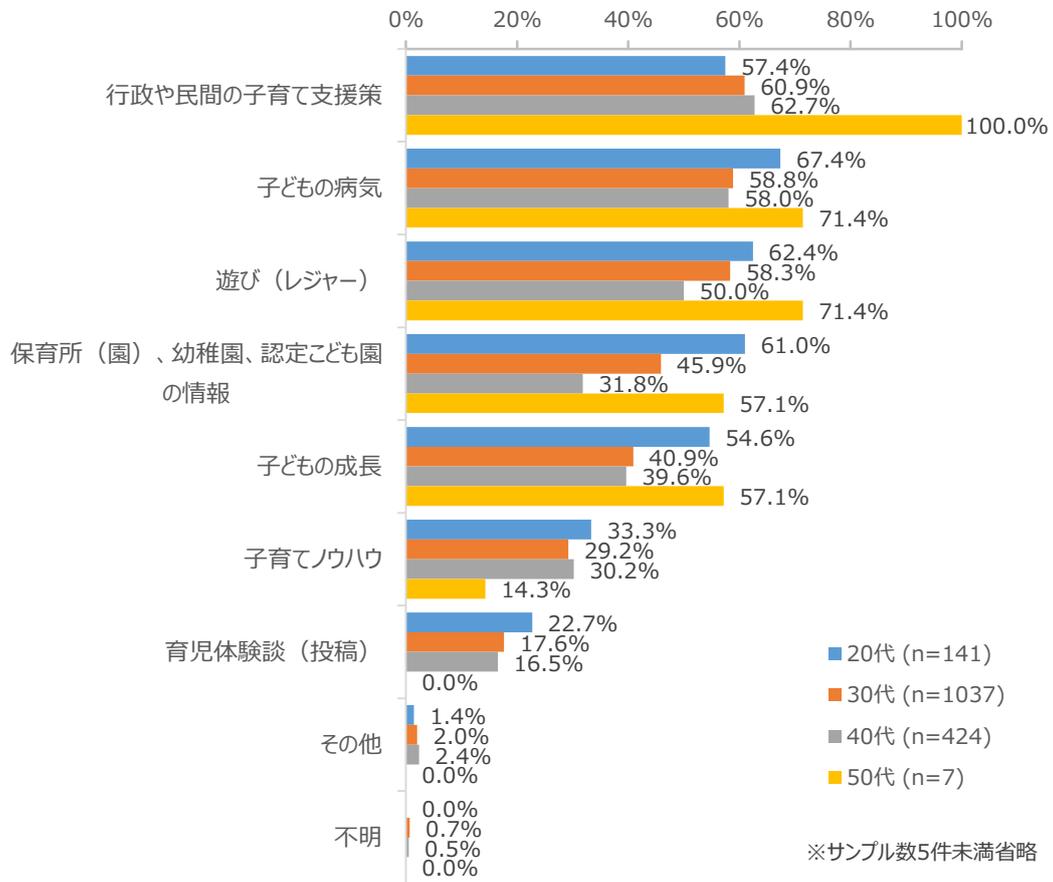
問 1：圏域 × 問 14：どんな子育てに関する情報がほしいか

	峡中	峡東	峡南	峡北	富士 ・東部	不明	全体
行政や民間の子育て支援策	63.8%	58.4%	60.3%	56.3%	58.5%	44.4%	60.9%
子どもの病気	59.7%	53.9%	64.7%	61.6%	60.5%	22.2%	59.2%
遊び（レジャー）	58.8%	60.7%	57.8%	50.9%	50.4%	33.3%	56.6%
保育所（園）、幼稚園、 認定こども園の情報	50.0%	36.0%	27.6%	50.0%	38.1%	44.4%	43.5%
子どもの成長	40.5%	49.1%	44.0%	35.7%	40.4%	22.2%	41.7%
子育てノウハウ	29.2%	34.5%	30.2%	27.7%	27.8%	22.2%	29.7%
育児体験談（投稿）	19.4%	15.7%	21.6%	22.3%	13.5%	11.1%	17.8%
その他	2.6%	3.7%	0.9%	6.3%	2.3%	0.0%	2.8%
不明	0.1%	0.7%	0.0%	0.9%	1.4%	22.2%	0.7%
サンプル数	770	267	116	112	349	9	1,623

問3：父の年齢 × 問14：どんな子育てに関する情報がほしいか



問3：母の年齢 × 問14：どんな子育てに関する情報がほしいか

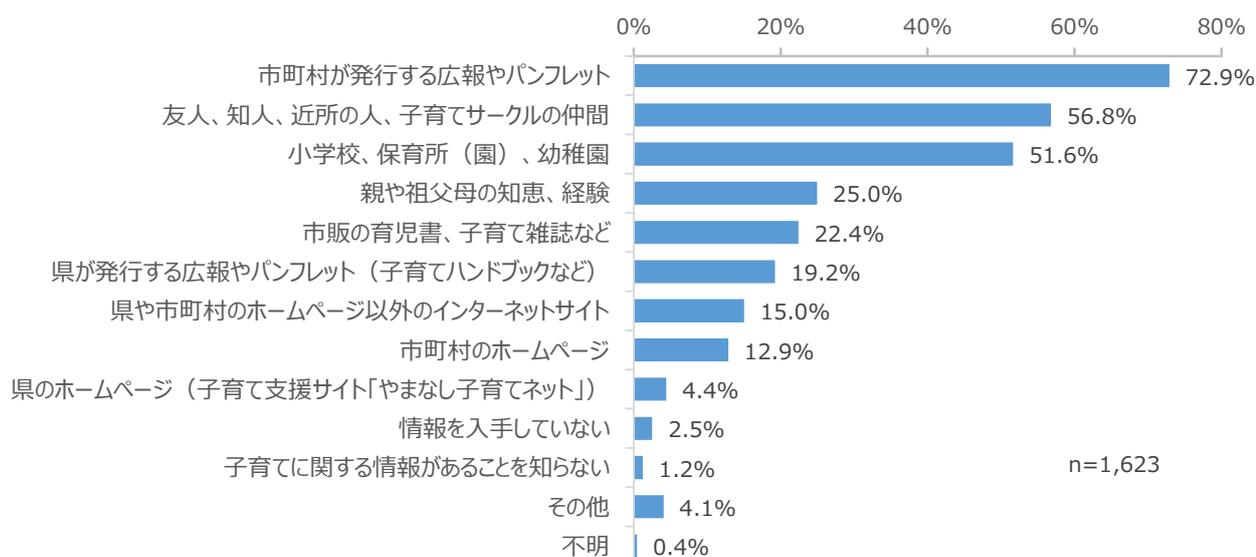


ほしい情報は、当事者が現在必要としている事項の優先度と相関していることが予想される。

問 14-1 : 子育て支援に関する情報は、普段どこから入手するか (MA)

子育て支援に関する情報を普段どこから入手するか聞いたところ、最も多い回答は「市町村が発行する広報やパンフレット」で 72.9 %、次いで「友人、知人、近所の人、子育てサークルの仲間」の 56.8%、「小学校、保育所（園）、幼稚園」の 51.6%となっている。

問14-1：子育て支援に関する情報は、普段どこから入手するか (MA)



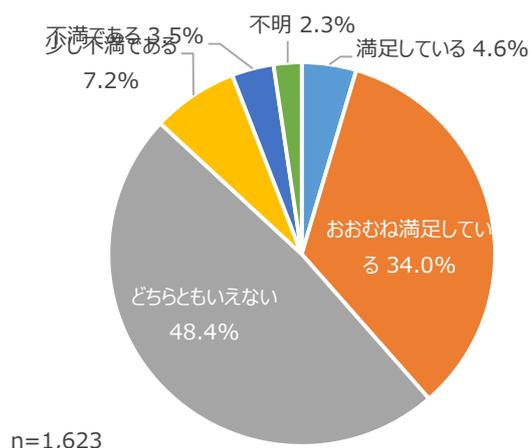
	N	%
市町村が発行する広報やパンフレット	1,183	72.9%
友人、知人、近所の人、子育てサークルの仲間	922	56.8%
小学校、保育所（園）、幼稚園	838	51.6%
親や祖父母の知恵、経験	405	25.0%
市販の育児書、子育て雑誌など	364	22.4%
県が発行する広報やパンフレット（子育てハンドブックなど）	312	19.2%
県や市町村のホームページ以外のインターネットサイト	244	15.0%
市町村のホームページ	209	12.9%
県のホームページ（子育て支援サイト「やまなし子育てネット」）	72	4.4%
情報を入手していない	41	2.5%
子育てに関する情報があることを知らない	20	1.2%
その他	66	4.1%
不明	7	0.4%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
フリーペーパーの情報誌	30
インターネットの情報	7
子育て支援センター	7
児童館	4
職場の同僚	3
県や市のツイッター、フェイスブックなどの SNS	2
CM でやっている「るるぶ」の子ども情報	1
スマートフォンのインターネットで調べる	1
テレビ番組	1
ニュース	1
市町村からの通知、TV、モバイルニュース（スマートフォン）	1
図書館、テレビ	1
村担当者等からの情報	1
地域のTV	1
町の保健師さん	1
二世帯のときに広報が1枚しかもらえず、見る事が出来ず、現在アパートですが広報がもらえず、情報ストップ。テレビもなかったので、大変でした。貧困には不便な世の中	1
病院小児科	1
民間の情報誌	1
無回答	1
計	66

問 14-2(1) : 入手している情報<満足度> (SA)

普段入手している子育て支援に関する情報に対する満足度は、「どちらともいえない」が 48.4%、「おおむね満足している」が 34.0%となっている。

問14-2(1) : 入手している情報<満足度> (SA)

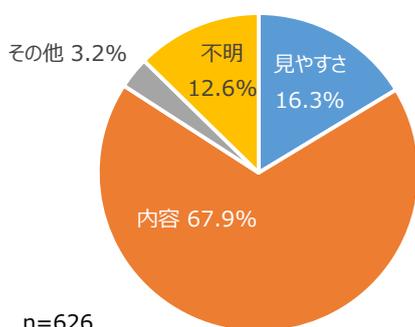


	N	%
満足している	74	4.6%
おおむね満足している	552	34.0%
どちらともいえない	785	48.4%
少し不満である	117	7.2%
不満である	57	3.5%
不明	38	2.3%
サンプル数	1,623	100.0%

問 14-2(2) : 満足もしくは不満の理由 (SA)

子育て支援に関する情報に対する満足の理由では、「内容」が67.9%、「見やすさ」が16.3%である。一方、不満の理由については、「内容」が46.0%、「その他」が38.5%となっている。評価の基準として、内容を重視する傾向がうかがえる。

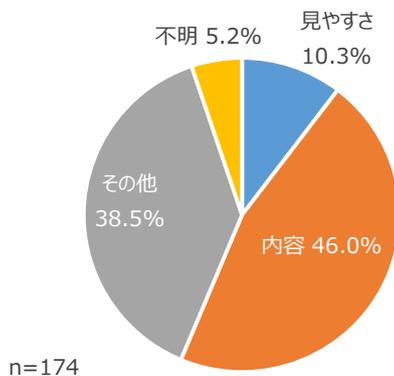
問14-2(2) : 満足している理由 (SA)



	N	%
見やすさ	102	16.3%
内容	425	67.9%
その他	20	3.2%
不明	79	12.6%
サンプル数	626	100.0%

※「入手している情報について満足、おおむね満足」と回答した人

問14-2(2) : 不満である理由 (SA)



	N	%
見やすさ	18	10.3%
内容	80	46.0%
その他	67	38.5%
不明	9	5.2%
サンプル数	174	100.0%

※「入手している情報について不満、少し不満」と回答した人

満足の理由／その他（20件）	N
富士・東部圏域では限られた内容だが、普段の生活の中では充分です	1
幼稚園の情報がもっと欲しい	1
無料雑誌があちこちに置いてあり、見られる。インターネットでも調べられる	1
保育園や支援センターの情報は、自ら入手しないと、手に入りにくい。簡単に構わないので、健診の時とかに口頭で説明があると嬉しい	1
保育園から直接情報をもらうのでリアルタイムに必要な情報が手に入る	1
夫の両親と同居ですぐに相談できるため	1
特に不自由は感じていないから	1
当てはまることばかりではないが、参考になる	1
地域の情報はネットだと細かいことがつかみ難い（保育園のことなど）	1
多くの人から情報を集め、詳しく聞けるから	1
情報量	1
少なくなった気がする。少し前よりは住宅展示場によく行きます	1
自ら探せば情報は取れる環境にある	1
支援センターのイベントが、どこで行われているのかを知れるので良いが、実はまだまだ知らない教室などがあるのではと思う	1
子どもと参加できる行事など、0才の何か月位からなら参加できるのか、もう少し分かりやすいと有難い	1
広報を見て活用している	1
公の情報は柔軟さが無い。かゆい所に手が届いていない	1
一部地域でなく、広報等で全体的に情報を流してほしい。外に出なくても入手できると良い	1
理由なし	2
計	20

不満の理由／その他（67件）	N
情報が少ない	10
欲しい情報がまとまって入手できない	7
県内の情報を得ても場所が遠く利用できない	3
こちらが主体的にならないと情報が入りにくい	3
分かりにくい	3
どこで入手していいか分からない	2
情報公開が遅すぎる	2
多くの人に伝わる方法で広めてほしい	2
有益な情報がない	2
行政からの情報がない	2
インターネットにばかりのっている	1
インターネット等の情報があるのか、その内容の公開のPR方法について	1
サービス業のため休日が土日ではないので行けない	1
もっと詳しく、たくさん情報が欲しい	1
もっと分かりやすくしてほしい。まわりくどい言い方などやめてほしい	1
もっと分かりやすくもっと皆に情報が行き渡るようにしてほしい	1
一冊で全てが把握できるものが欲しい。祖父母向けのものが欲しい	1
県外から転入してきましたが、広報を見ないと分からない時があり、それをもらわないときは入手できないので、情報や手続きがあればDM等をいただきたいです	1
子育てで時間が取れないが、自分でスマホなどをチェックしなくてはならない所や、市役所に自分で行かないとならない	1
子供に関する情報だけ欲しい。いらぬ情報が多すぎ	1
市町村役場の担当窓口では、担当者の知識が足りていないと感じたため。ただパンフレットを見て、という案内では困る	1
支援センターなど3才未満の子が無料で遊べる所を探していた時、市町村役場の方に聞いても分からないので、直接施設の電話で聞いて下さいと言われた	1

不満の理由/その他 (つづき)	N
支援そのものが具体的にどういったものがあるのか、情報を捉えにくい	1
支援については、広報やお知らせをくまなく見なければ見つからない事が多い (小さい) 。もっと子育てしている世帯に分かりやすく、保育園や幼稚園などを使って、広く周知して欲しい。必要な時に支援を受けられないことがない様にして欲しい	1
出産直後のみ情報がある。その後はない	1
障害者に対する情報が少ない	1
情報がありすぎてどれが本当に大切か分からない	1
情報が古い	1
情報を見る機会がない	1
情報を見落とす場合が多い	1
双子の情報が少ない	1
対象年齢 (月齢) が分からない	1
乳幼児の中心のもの。小学生対象のものが多い (未就学児に関する情報が薄い)	1
保育園や託児所のメリットやデメリットなど、子供を預けたらどうなのか、具体的なことが分かりにくい	1
補助金等、お金に関する事は、こちらが調べたり、言わないと市町村役場の方で教えてくれない事があり、児童手当などももらえない月があった	1
役所に行かないと分からない	1
幼稚園の情報がほしい	1
理解するのが難しい時がある	1
理由はよく分からないが、欲しい情報を探すのに苦労する	1
良く分からない	1
無回答	1
計	67

問 15 : 価値観について (SA)

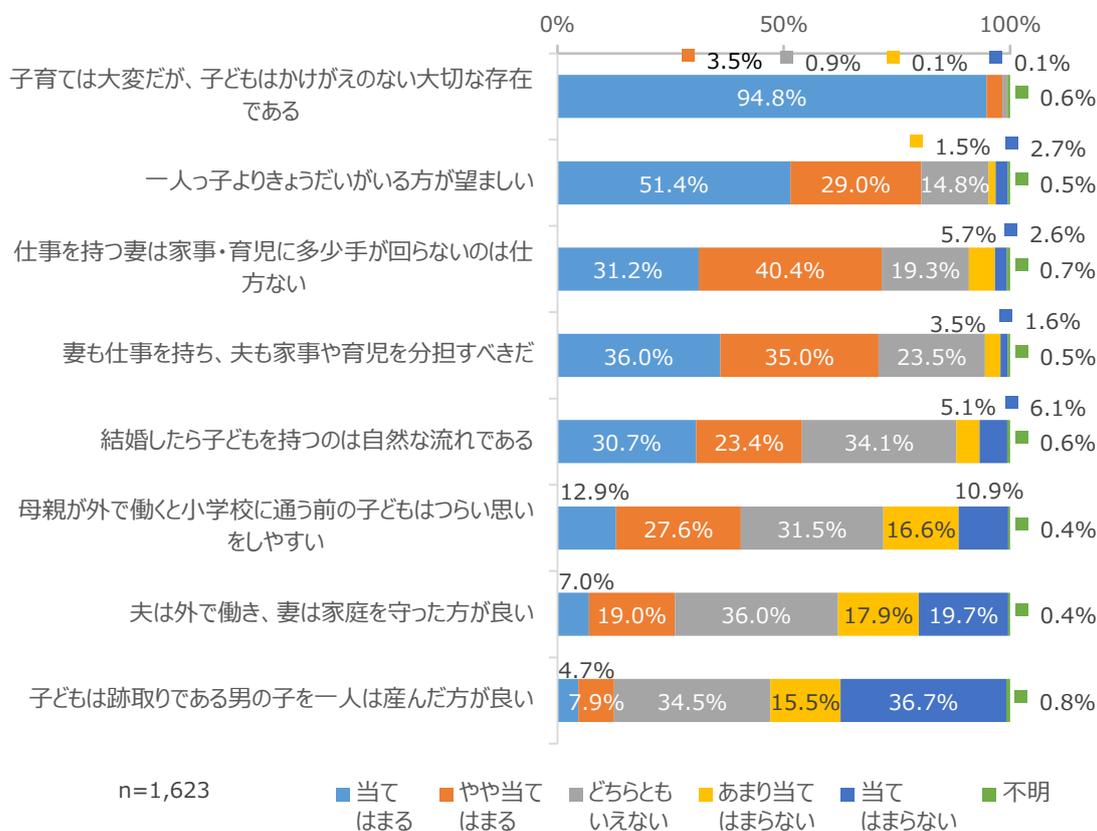
価値観について尋ねた問いでは、「当てはまる」及び「やや当てはまる」を合計した割合が高い項目は、「子育ては大変だが、子どもはかけがえのない大切な存在である」の 98.3%、「一人っ子よりきょうだいがいる方が望ましい」の 80.4%、「仕事を持つ妻は家事・育児に多少手が回らないのは仕方ない」の 71.7%である。

一方、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」を合計した割合が高い項目は、「子どもは跡取りである男の子を一人は産んだ方がよい」の 52.1%、「夫は外で働き、妻は家庭を守った方がよい」の 37.6%、「母親が外で働く小学校に通う前の子どもはつらい思いをしやすい」の 27.5%となっている。

子どもの数と価値観の関係について見てみると、「結婚したら子どもを持つのは自然な流れである」と考えている人、また、「子育ては大変だが、子どもはかけがえのない大切な存在である」と考えている人は、そうでない人に比べ、欲しい子どもの数及び実際の子どもの数共に多い傾向にある。

当該価値観が圏域ごとに差異があるかを確認すると、「結婚したら子どもを持つのは自然な流れである」と考える人は、富士・東部圏域（57.9%）、峡東圏域（56.2%）、峡南圏域(55.2%)で比較的多い傾向が見られた。一方、「子育ては大変だが、子どもはかけがえのない大切な存在である」については、ほとんど差異が見られなかった。

問15:価値観について (SA)



当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	不明	サンプル
-------	---------	-----------	------------	---------	----	------

	はまる	はまる	いけない	てはまらない	らない		数
子育ては大変だが、子どもはかけがえない大切な存在である	1,539	57	14	2	2	9	1,623
一人っ子よりきょうだいがいる方が望ましい	835	470	241	25	44	8	1,623
仕事を持つ妻は家事・育児に多少手が回らないのは仕方ない	507	656	313	93	43	11	1,623
妻も仕事を持ち、夫も家事や育児を分担すべきだ	584	568	381	56	26	8	1,623
結婚したら子どもを持つのは自然な流れである	498	379	554	83	99	10	1,623
母親が外で働く小学校に通う前の子どもはつらい思いをしやすい	210	448	511	270	177	7	1,623
夫は外で働き、妻は家庭を守った方がよい	113	308	585	290	320	7	1,623
子どもは跡取りである男の子を一人は産んだ方がよい	76	128	560	251	595	13	1,623

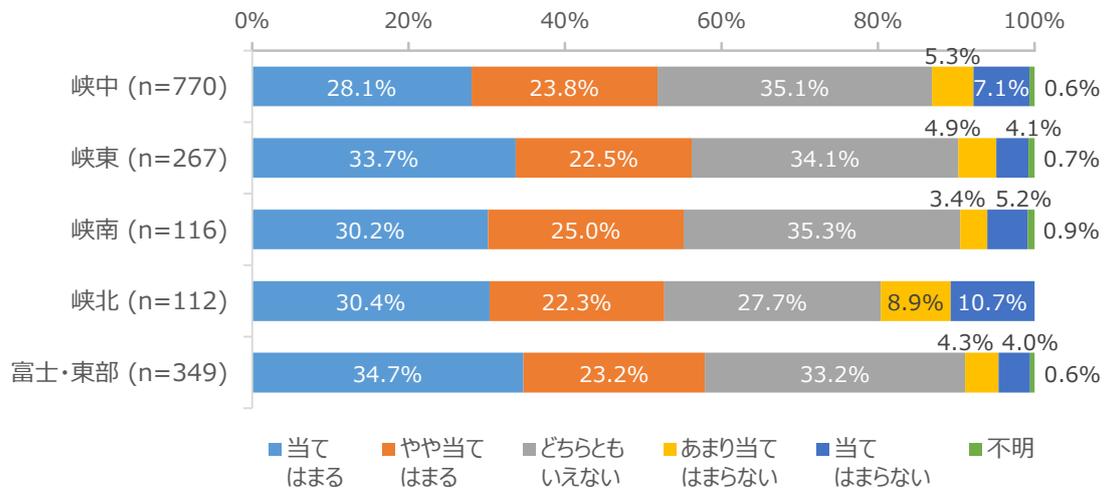
価値観と欲しい子どもの数および実際の子どもの数

結婚したら子どもを持つのは自然な流れである	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいけない	あまり当てはまらない	当てはまらない	不明	全体
N=	498	379	554	83	99	10	1,623
欲しい子どもの数 (平均：人)	2.63	2.56	2.61	2.51	2.51	3.00	2.60
実際の子どもの数 (平均：人)	1.81	1.78	1.68	1.54	1.52	1.80	1.73

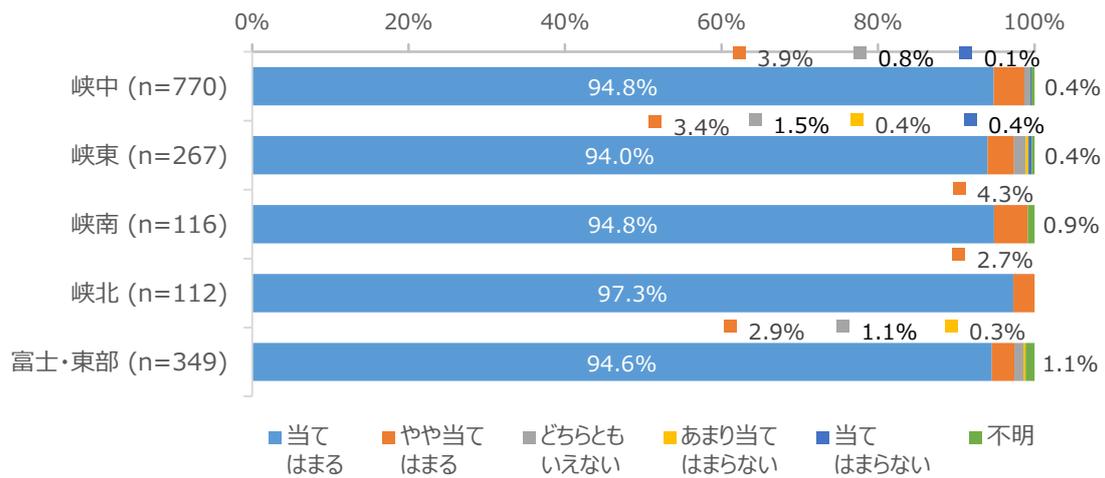
価値観と欲しい子どもの数および実際の子どもの数

子育ては大変だが、子どもはかけがえない大切な存在である	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいけない	あまり当てはまらない	当てはまらない	不明	全体
N=	1,539	57	14	2	2	9	1,623
欲しい子どもの数 (平均：人)	2.60	2.42	2.71	2.00	3.00	2.38	2.60
実際の子どもの数 (平均：人)	1.73	1.75	2.07	1.50	1.50	1.78	1.73

問1：圏域 × 問15-5：結婚したら子どもを持つのは自然な流れである



問1：圏域 × 問15-8：子育ては大変だが、子どもはかけがえのない大切な存在である



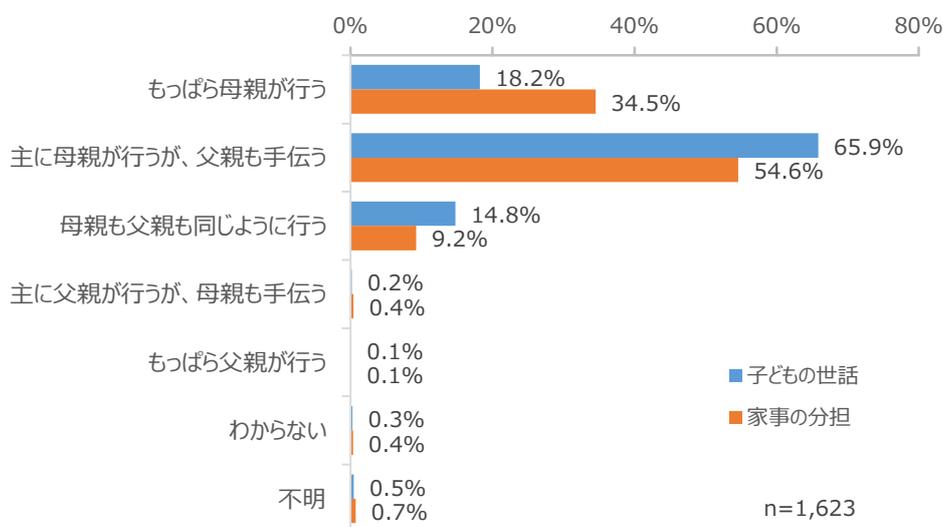
子どもについて肯定的な価値観を持っている人の方が、「欲しい子どもの数」及び「実際の子どもの数」は多いことから、子どもの数については、“物理的要因”だけでなく、価値観などの“心理的要因”も影響を及ぼす一因と考えられる。

問 16,問 16-1 : 家での子どもの世話と家事の分担 (SA)

家での子どもの世話については、「主に母親が行うが、父親も手伝う」が 65.9%と 6 割以上を占めており、次いで「もっぱら母親が行う」が 18.2%、「母親も父親も同じように行う」が 14.8%である。

また、家事の分担では、「主に母親が行うが、父親も手伝う」が 54.6%と 5 割以上を占めており、次いで「もっぱら母親が行う」が 34.5%、「母親も父親も同じように行う」が 9.2%となっている。

問16,問16-1 : 家での子どもの世話と家事の分担 (SA)



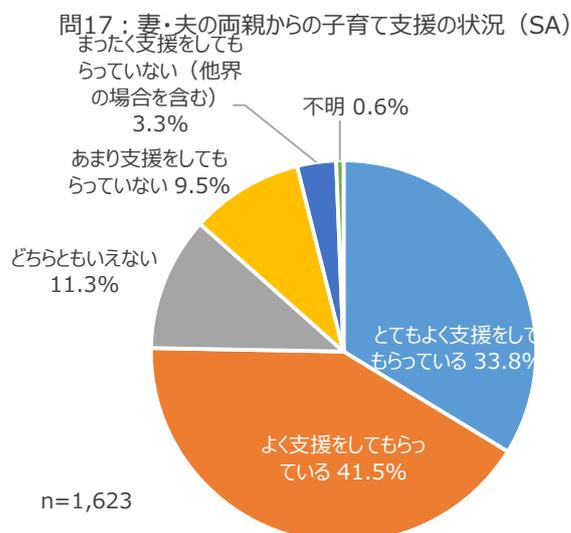
	子どもの世話	家事の分担
もっぱら母親が行う	296	560
主に母親が行うが、父親も手伝う	1,069	886
母親も父親も同じように行う	240	150
主に父親が行うが、母親も手伝う	3	7
もっぱら父親が行う	2	2
わからない	5	6
不明	8	12
サンプル数	1,623	1,623

問 17：妻・夫の両親からの子育て支援の状況（SA）

妻や夫の両親からの子育て支援の状況について聞いたところ、「よく支援をしてもらっている」と「とてもよく支援をもらっている」を合わせた“支援あり”の回答者割合が 75.3%と 7 割以上が妻や夫の両親から、様々な子育て支援をもらっている。

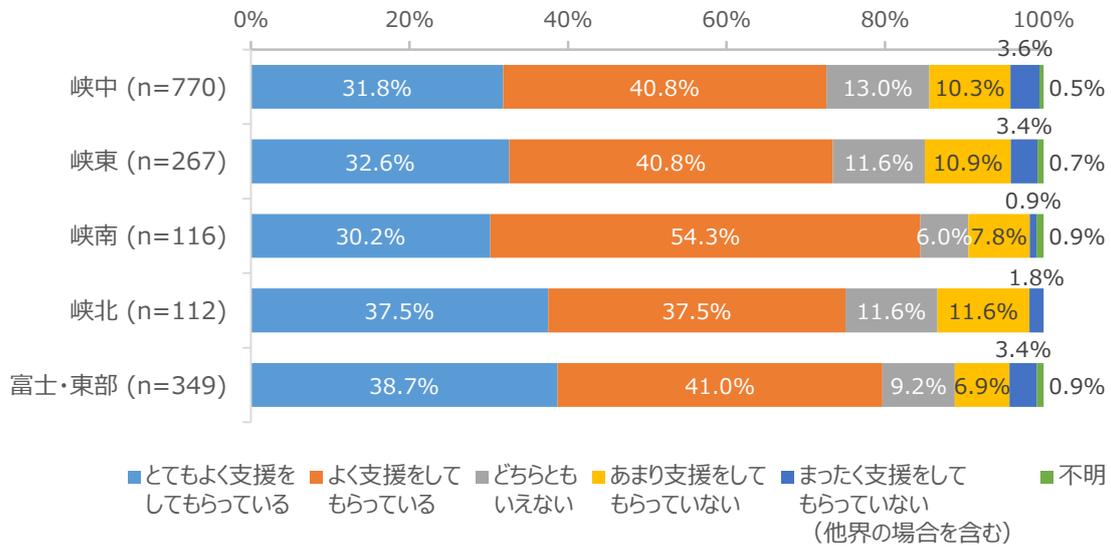
“支援あり”と回答した人の割合を圏域別で見ると、峡南圏域が 84.5%で最も高く、次いで富士・東部圏域の 79.7%、峡北圏域の 75.0%、峡東圏域の 73.4%、峡中圏域の 72.6%である。

また、親からの支援と子どもの数との関係では“支援あり”と回答した夫婦の実際の子どもの数は、1.75 人である。一方、「あまり支援をもらっていない」と「まったく支援をもらっていない」を合わせた“支援なし”の夫婦の子どもの数は、1.70 人となっており、“支援あり”の方が実際の子どもの数は多い結果になっている。



	N	%
とてもよく支援をもらっている	548	33.8%
よく支援をもらっている	674	41.5%
どちらともいえない	184	11.3%
あまり支援をもらっていない	154	9.5%
まったく支援をもらっていない（他界の場合を含む）	53	3.3%
不明	10	0.6%
サンプル数	1,623	100.0%

問1：圏域 × 問17：妻・夫の両親からの子育て支援の状況



親からの支援と欲しい子どもの数および実際の子どもの数 (SA)

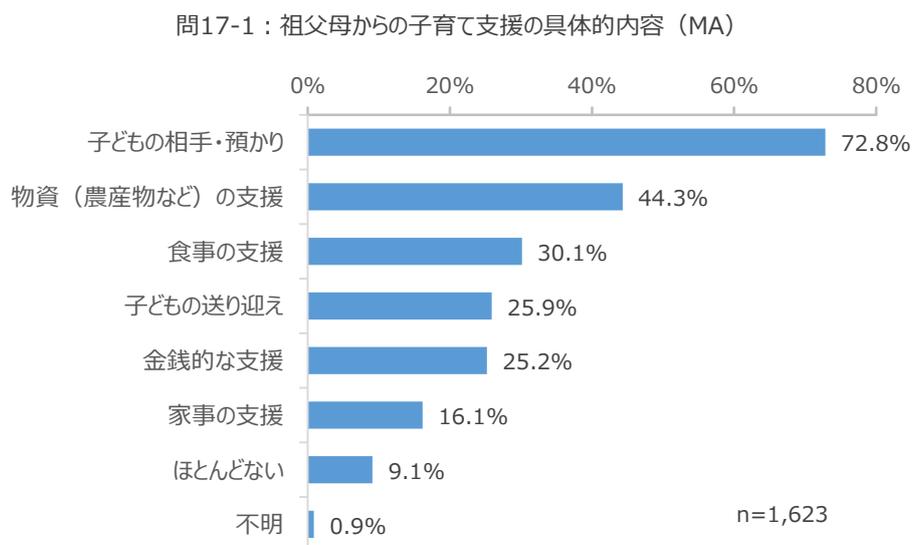
	とてもよく支 援をしてもら っている	よく支援をし てもらってい る	どちらともい えない	あまり支援を してもらって いない	まったく支援 をもらって いない (他界の場 合を含む)	不明	全体
N=	548	674	184	154	53	10	1,623
欲しい子どもの数 (平均：人)	2.59	2.59	2.63	2.61	2.53	2.78	2.60
実際の子どもの数 (平均：人)	1.74	1.77	1.62	1.72	1.64	1.56	1.73

子育て支援の環境が整うほど子どもの数が増えることが推定され、親からの支援は子どもの数に影響を及ぼす要素と考えられる。

問 17-1 : 祖父母からの子育て支援の具体的内容 (MA)

祖父母からの子育て支援の具体的内容について当てはまる選択肢をいくつでも選んでもらったところ、「子どもの相手・預かり」が 72.8%と最も高く、次いで「物資（農産物など）の支援」の 44.3%、「食事の支援」30.1%、「子どもの送り迎え」の 25.9%と続いている。

圏域別で見ると、峡南圏域では「子どもの送り迎え」が他圏域と比べ比較的回答割合が高くなっている。



	N	%
子どもの相手・預かり	1,182	72.8%
物資（農産物など）の支援	719	44.3%
食事の支援	489	30.1%
子どもの送り迎え	420	25.9%
金銭的な支援	409	25.2%
家事の支援	262	16.1%
ほとんどない	148	9.1%
不明	14	0.9%
サンプル数	1,623	100.0%

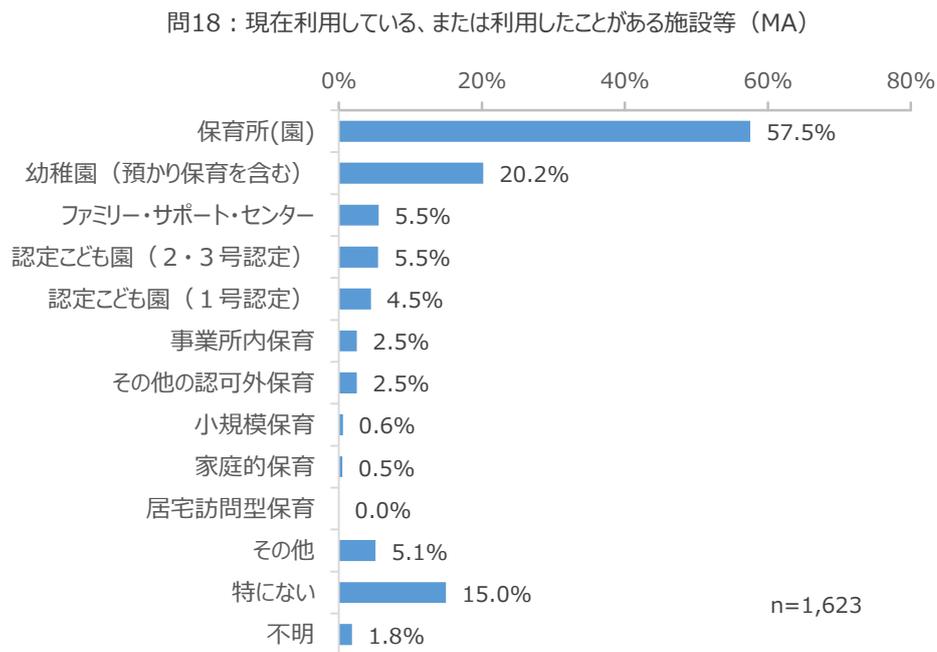
問 1：圏域 × 問 17-1：祖父母からの子育て支援の具体的内容

	峡中 (n=770)	峡東 (n=267)	峡南 (n=116)	峡北 (n=112)	富士・東 部 (n=349)	不明 (n=9)	全体 (n=1,623)
子どもの相手・預かり	69.2%	74.2%	78.4%	69.6%	78.8%	77.8%	72.8%
子どもの送り迎え	22.1%	27.0%	38.8%	22.3%	30.4%	22.2%	25.9%
食事の支援	29.4%	30.0%	36.2%	26.8%	31.2%	22.2%	30.1%
家事の支援	12.6%	17.6%	25.9%	18.8%	18.9%	11.1%	16.1%
金銭的な支援	23.8%	26.6%	27.6%	21.4%	27.8%	22.2%	25.2%
物資（農産物など）の支援	44.0%	40.4%	46.6%	56.3%	43.6%	33.3%	44.3%
ほとんどない	11.4%	7.5%	6.9%	6.3%	6.9%	11.1%	9.1%
不明	1.0%	0.7%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.9%

どの圏域においても、「子どもの相手・預かり」が最上位項目となっており、祖父母からの子育て支援の重要な根幹を成している。

問 18 : 現在利用している、または利用したことがある施設等 (MA)

現在利用している、または利用したことがある施設等について選んでもらったところ、「保育所(園)」を挙げた人が最も多く 57.5%、以下「幼稚園(預かり保育を含む)」の 20.2%、「ファミリー・サポート・センター」及び「認定こども園(2・3号認定)」の各 5.5%となっている。一方、「特にない」も 15.0%の人が回答している。



	N	%
保育所(園)	934	57.5%
幼稚園(預かり保育を含む)	328	20.2%
ファミリー・サポート・センター	90	5.5%
認定こども園(2・3号認定)	89	5.5%
認定こども園(1号認定)	73	4.5%
事業所内保育	41	2.5%
その他の認可外保育	41	2.5%
小規模保育	9	0.6%
家庭的保育	8	0.5%
居宅訪問型保育	0	0.0%
その他	83	5.1%
特にない	243	15.0%
不明	30	1.8%
サンプル数	1,623	100.0%

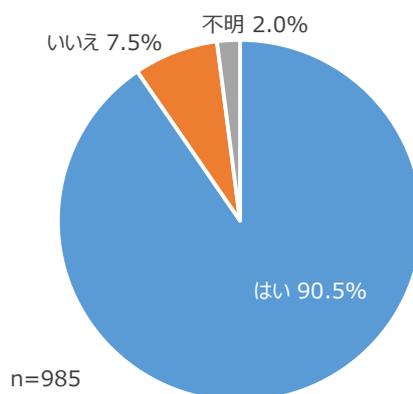
その他	N
子育て支援センター	27
放課後児童クラブ	18
病児病後児保育	13
一時預かり保育	5
保育園で行っている子育て支援センター	3
子育て支援センター、幼児教育センター	2
児童館、子育て支援センター	2
職場設置の院内保育室	2
NPO法人	1
つどいの広場	1
まちなかすこやかサロン	1
子育て支援をしている保育園、幼稚園のお教室に参加	1
私が保育士なので、子どもと共に園に行っている	1
地域で開設している「リングっ子」	1
認定こども園支援センター	1
発達支援施設	1
未就園児のサークル	1
無回答	2
計	83

問 19 : 利用している（利用していた）保育所（園）等は、希望どおりの施設か（SA）

「保育所（園）」、「認定こども園（2・3号）」（以下「保育所（園）等」という。）を利用している（利用していた）人に、当該施設が希望どおりかを尋ねたところ、約 9 割の人が希望どおりであると回答している。

しかし、母の就労状況別に見ると、「家内労働（内職・SOHO など）」の 23.1%、「自営・農林漁業（家事従事者を含む）」の 15.6%が希望どおりでないと回答しており、就労状況によって結果が異なる。

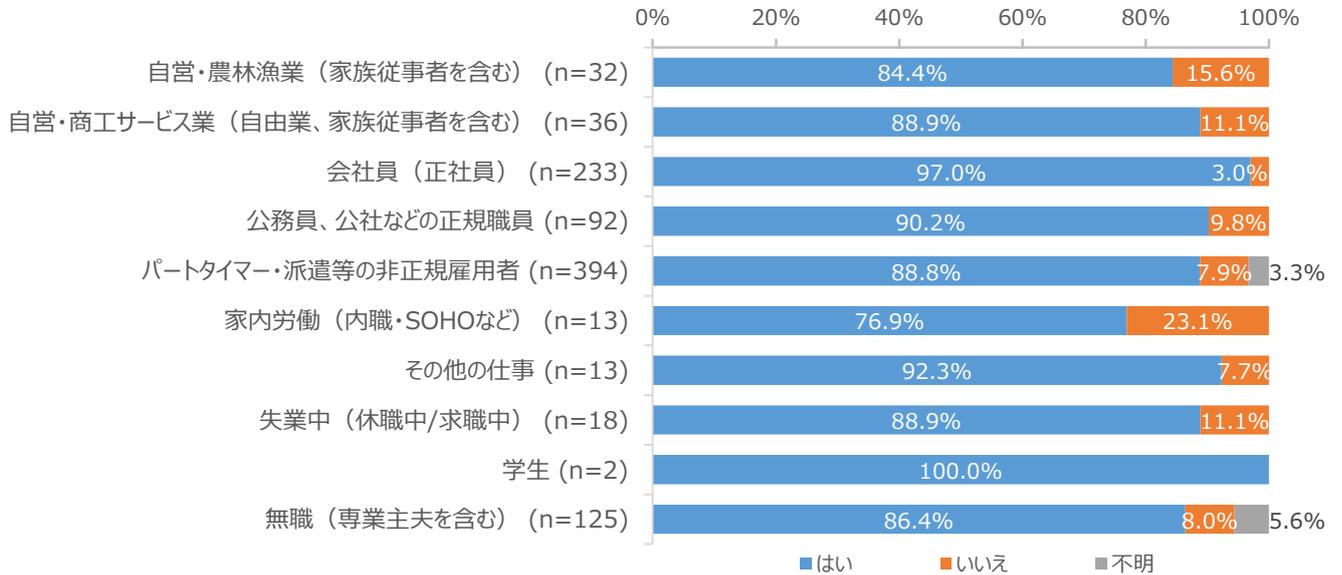
問19：利用している（利用していた）保育所（園）等は、希望どおりの施設か（SA）



※ 「保育所（園）」、「認定こども園（2・3号認定）」を利用している（利用していた）と回答した人
 ※ 「いいえ」は保育所（園）等の受け入れる枠がなかった場合を含む

	N	%
はい	891	90.5%
いいえ	74	7.5%
不明	20	2.0%
サンプル数	985	100.0%

問8-2(1)：母の就労状況 × 問19：利用している（利用していた）保育所（園）等は、希望どおりの施設か



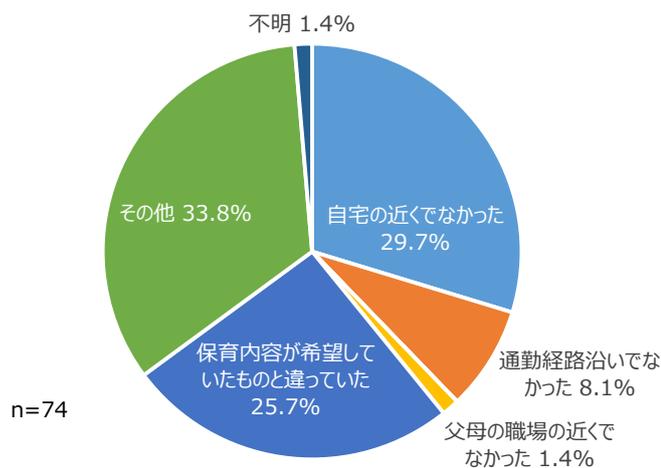
※ 「保育所（園）」、「認定こども園（2・3号認定）」を利用している（利用していた）と回答した人
 ※ 「いいえ」は保育所（園）等の受け入れる枠がなかった場合を含む

サンプル数が少ないため断定的なことは言えないが、「自営・農林漁業（家族従事者を含む）」、「自営・商工サービス業（自由業、家族従事者を含む）」、「家内労働（内職・SOHO など）」等、母親が居宅就業しているであろうと推測される職業において、希望どおりの施設ではないと考える人が比較的顕著となっている。

問 19-1 : 希望どおりの施設でない理由 (SA)

利用している（利用していた）保育所等が希望どおりでないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「自宅の近くでなかった」と回答した人が最も多く 29.7%、以下「保育内容が希望していたものと違っていた」（25.7%）、「通勤経路沿いでなかった」（8.1%）となっている。また、「その他」は 33.8%である。

問19-1：希望どおりの施設でない理由（SA）



※「利用している（いた）保育所（園）等は希望どおりの施設でない」と回答した人

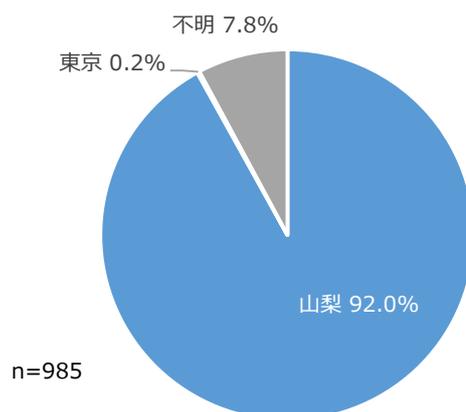
	N	%
自宅の近くでなかった	22	29.7%
通勤経路沿いでなかった	6	8.1%
子どものお迎えが可能な祖父母等の自宅の近くでなかった	0	0.0%
父母の職場の近くでなかった	1	1.4%
保育内容が希望していたものと違っていた	19	25.7%
その他	25	33.8%
不明	1	1.4%
サンプル数	74	100.0%

その他	N
兄弟で違う保育所に通っている	2
受け入れ枠がなかった	2
保育士の質	2
一時預かりを利用したが、定員が少なく入れないときがあった。一時預かりは時間外が利用できない保育園もあり、仕事の調整が大変だった	1
園児が少なかった	1
希望した園ではなかった	1
近くに幼稚園がなかった	1
個人情報を守秘してくれなかった	1
子どもがいじめられると思った	1
子どもを預けざるを得なかっただけです	1
上の子がいていた保育園がなくなったから	1
申し込みの時点で休職中のため地域の保育所に入れなかったから	1
送迎バスがなかった	1
土曜も1日やってもらいたいし、お盆もみてもらいたかった	1
当時、耐震強度不足でした。スタッフは素晴らしいと聞いています	1
乳児保育がない	1
入所していた保育園が休園してしまった	1
病気の後遺症を理由に再入園の許可を取り消された	1
保育園の施設が古い	1
幼稚園からの途中変更（園側から）だったため、様々な不備があった。特に給食については1号との差（ある日とない日）があり、子どもにとってはいいと思う事もあった	1
幼稚園に入園させたかった	1
料金が安い	1
計	25

問 19-2(1) : 希望していた保育所（園）の所在地_県（都）（FA）

希望していた施設の所在地は、92%の人が「山梨県」と回答している。

問19-2(1) : 希望していた保育所（園）の所在地_県（都）（FA）



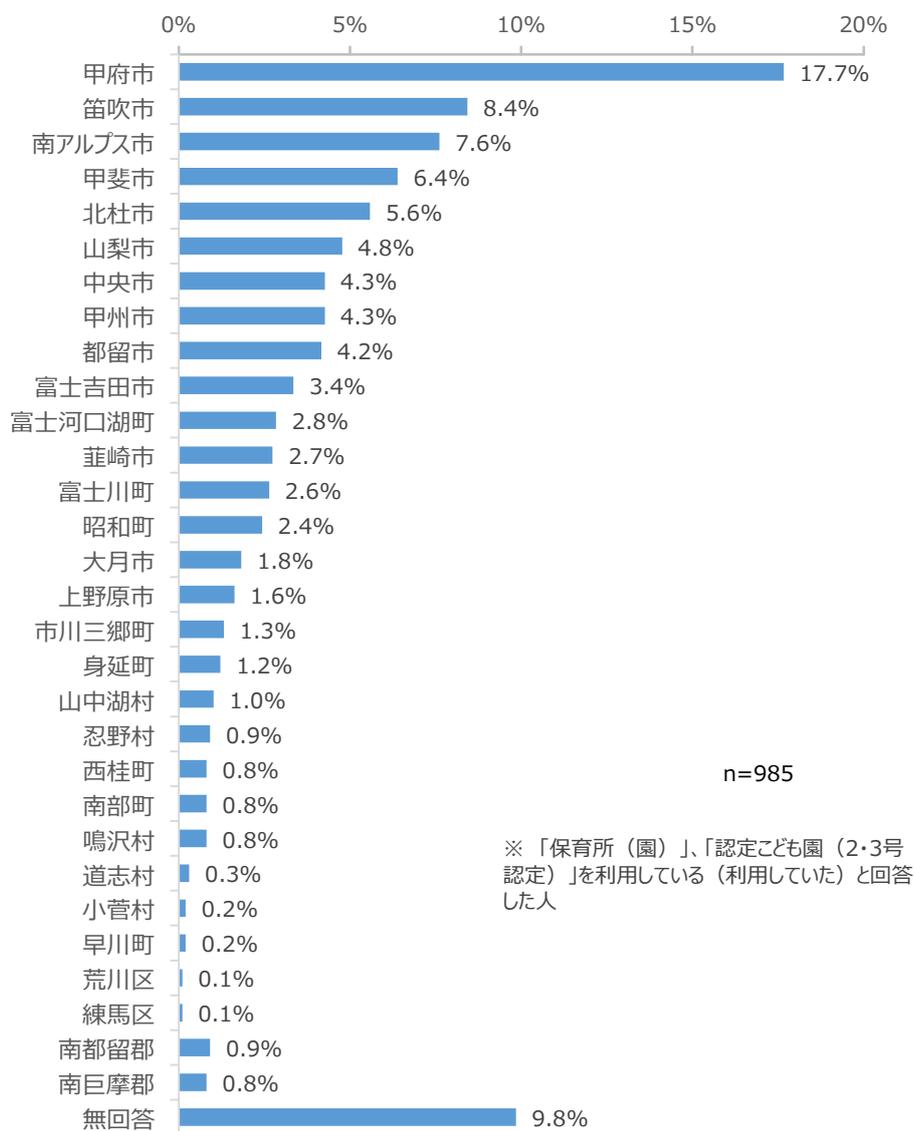
※ 「保育所（園）」、「認定こども園（2・3号認定）」を利用している（利用していた）と回答した人

	N	%
山梨	906	92.0%
東京	2	0.2%
不明	77	7.8%
サンプル数	985	100.0%

問 19-2(2) : 希望していた保育所（園）の所在地_市区町村等（FA）

希望していた施設（実際に通っている場合も含む）の所在地を市区町村別等で見ると、「甲府市」が17.7%と2割弱を占め、以下「笛吹市」（8.4%）、「南アルプス市」（7.6%）、「甲斐市」（6.4%）となっている。

問19-2(2) : 希望していた保育所（園）の所在地_市区町村等（FA）



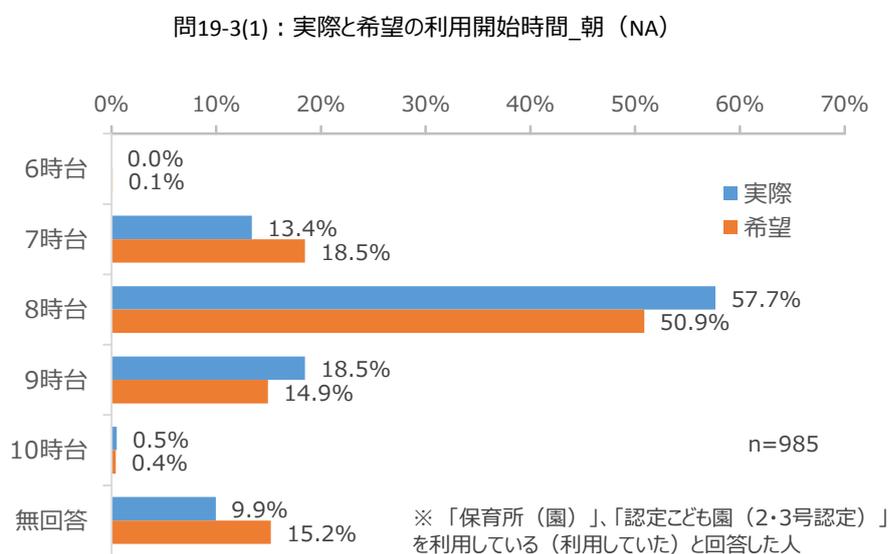
	N	%
甲府市	174	17.7%
笛吹市	83	8.4%
南アルプス市	75	7.6%
甲斐市	63	6.4%
北杜市	55	5.6%
山梨市	47	4.8%
中央市	42	4.3%
甲州市	42	4.3%
都留市	41	4.2%
富士吉田市	33	3.4%
富士河口湖町	28	2.8%
韮崎市	27	2.7%
富士川町	26	2.6%
昭和町	24	2.4%
大月市	18	1.8%
上野原市	16	1.6%
市川三郷町	13	1.3%
身延町	12	1.2%
山中湖村	10	1.0%
忍野村	9	0.9%
西桂町	8	0.8%
南部町	8	0.8%
鳴沢村	8	0.8%
道志村	3	0.3%
小菅村	2	0.2%
早川町	2	0.2%
荒川区	1	0.1%
練馬区	1	0.1%
南都留郡	9	0.9%
南巨摩郡	8	0.8%
無回答	97	9.8%
計	985	100.0%

問 19-3(1) : 実際と希望の利用開始時間_朝 (NA)

利用している保育所（園）等の朝の時間帯において、「実際の利用開始時間」として最も多かった回答は、「8 時台」で 57.7%と 6 割近くを占めている。次いで「9 時台」の 18.5%、「7 時台」の 13.4%となっている。

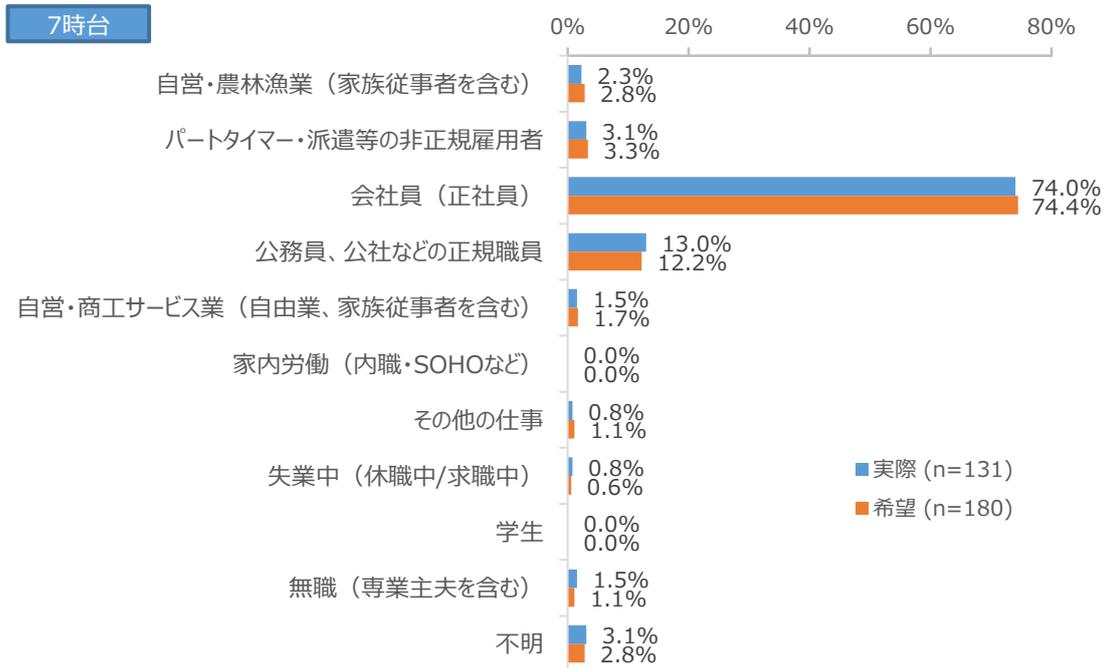
一方、「希望の利用開始時間」は、回答割合が高い順から「8 時台」の 50.9%、「7 時台」の 18.5%、「9 時台」の 14.9%となっている。

「7 時台」の利用を希望している父の就労状況を見ると、「会社員（正社員）」が 74.4%、「公務員、公社などの正規職員」が 12.2%である。同様に「7 時台」の利用を希望している母の就労状況を見ると、「会社員（正社員）」が 37.4%、「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」が 25.3%、「公務員、公社などの正規職員」が 21.4%となっている。

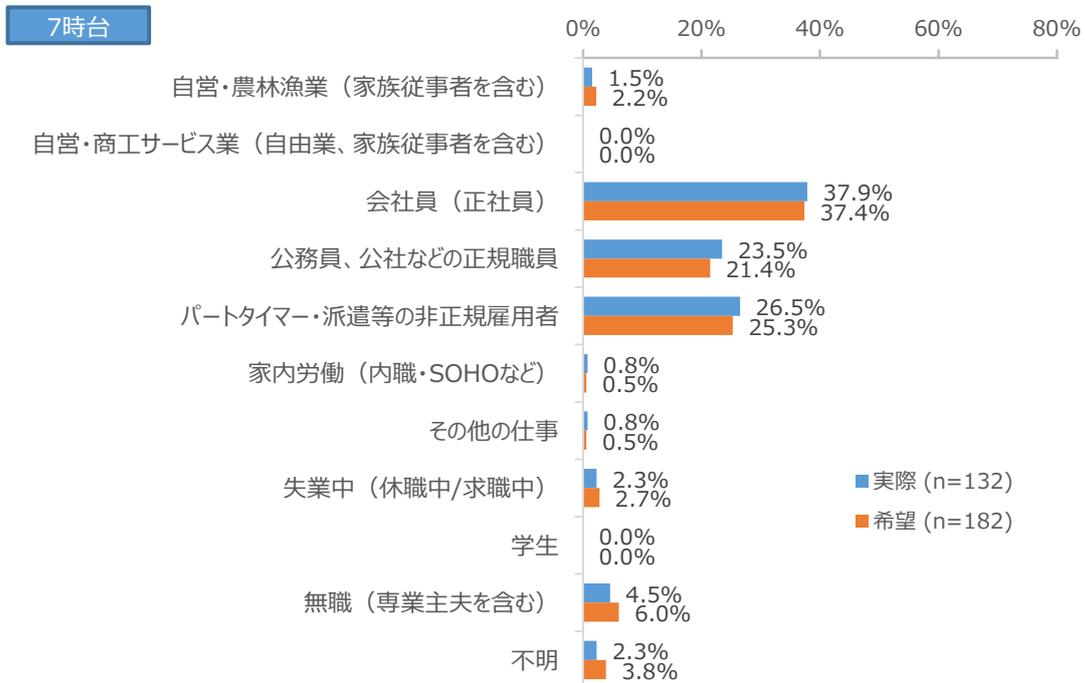


	実際	希望
6 時台	0	1
7 時台	132	182
8 時台	568	501
9 時台	182	147
10 時台	5	4
無回答	98	150
サンプル数	985	985

問8-1(1)：父の就労状況 × 問19-3(1)：利用開始時間_実際と希望



問8-2(1)：母の就労状況 × 問19-3(1)：利用開始時間_実際と希望

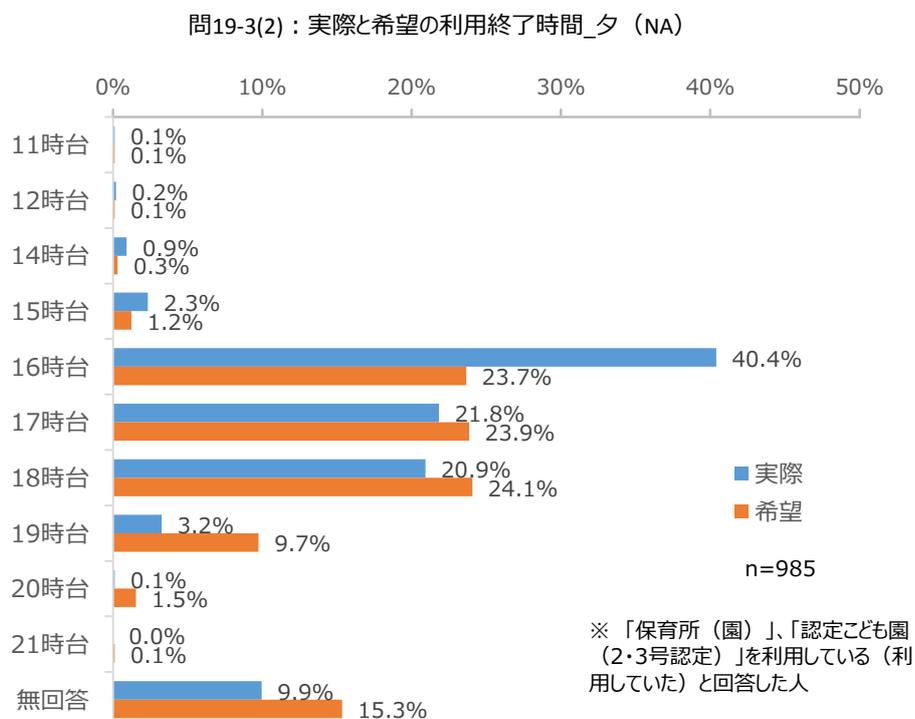


問 19-3(2) : 実際と希望の利用終了時間_夕 (NA)

利用している保育所（園）等の夕の時間帯において、「実際の利用終了時間」として最も多かった回答は、「16 時台」の 40.4%、次いで「17 時台」の 21.8%、「18 時台」の 20.9%となっている。

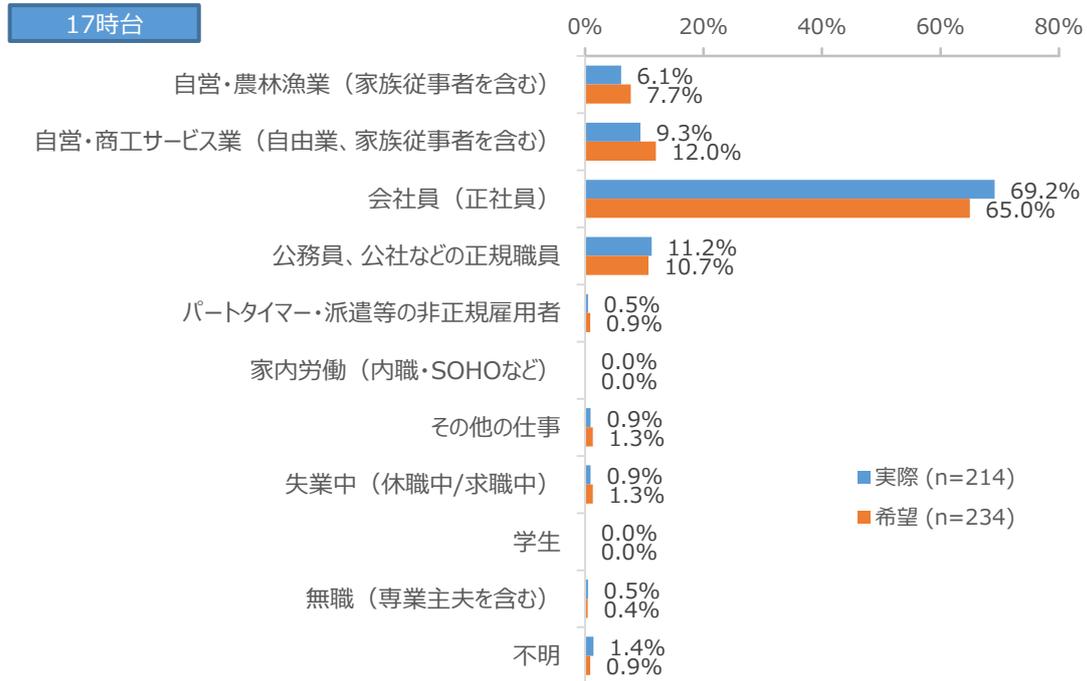
一方、「希望の利用終了時間」は、回答割合が高い順から「18 時台」の 24.1%、「17 時台」の 23.9%、「16 時台」の 23.7%となっている。

父の就労状況別では、「会社員（正社員）」のおおむね 6 割から 7 割が「17 時台」、「18 時台」、「19 時台」の利用を希望している。一方、母の就労状況別では、17 時台が「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」の 49.4%、18 時台が「会社員（正社員）」及び「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」が共に 34.3%、19 時台が「会社員（正社員）」の 41.7%などがそれぞれ最も回答割合が高い。

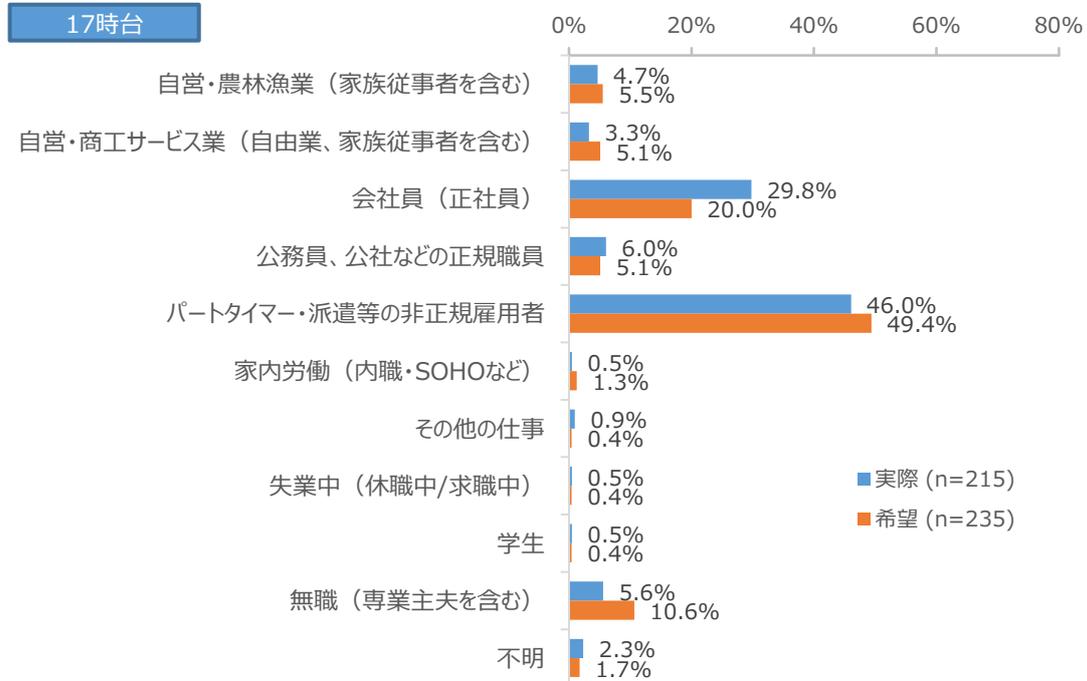


	実際	希望
11 時台	1	1
12 時台	2	1
14 時台	9	3
15 時台	23	12
16 時台	398	233
17 時台	215	235
18 時台	206	237
19 時台	32	96
20 時台	1	15
21 時台	0	1
無回答	98	151
サンプル数	985	985

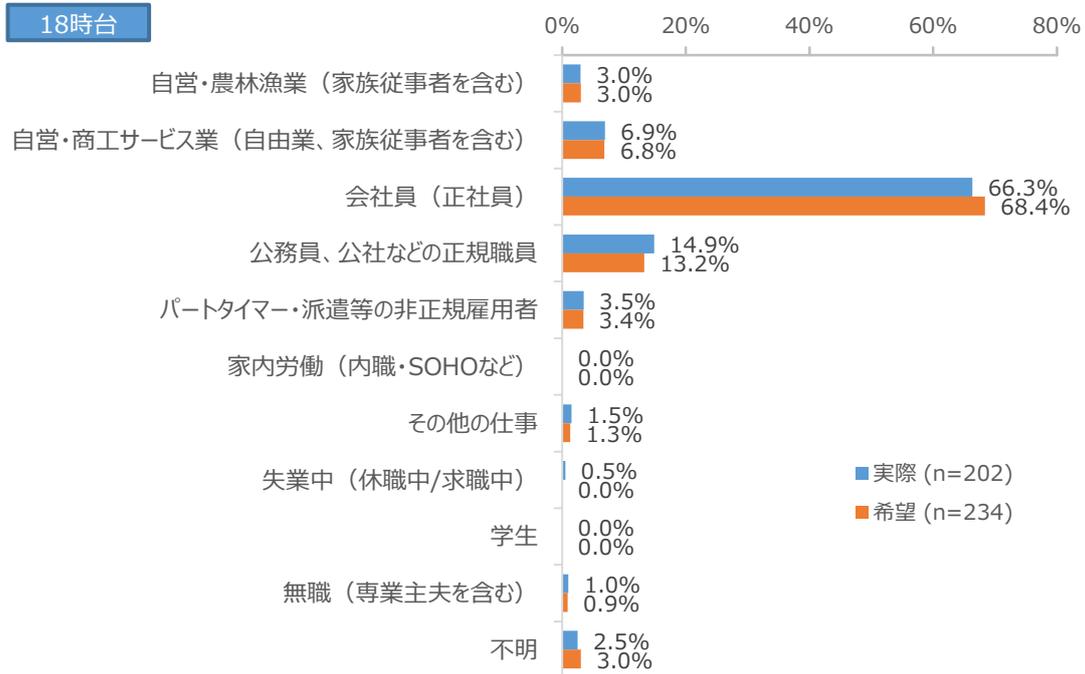
問8-1(1)：父の就労状況 × 問19-3(2)：利用終了時間_実際と希望



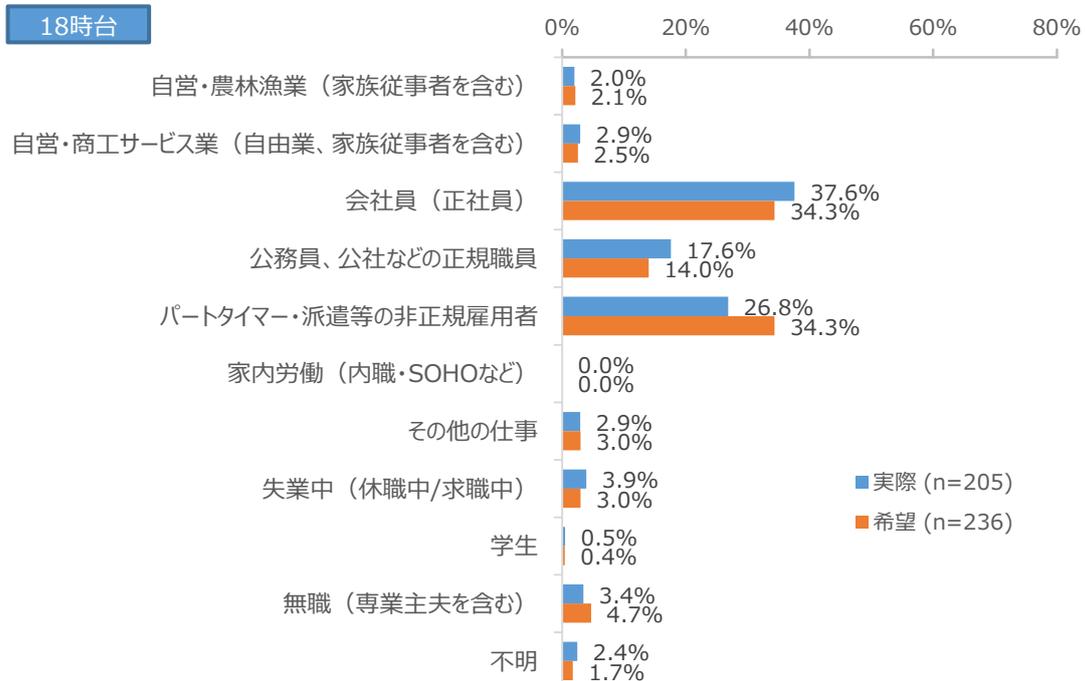
問8-2(1)：母の就労状況 × 問19-3(2)：利用終了時間_実際と希望



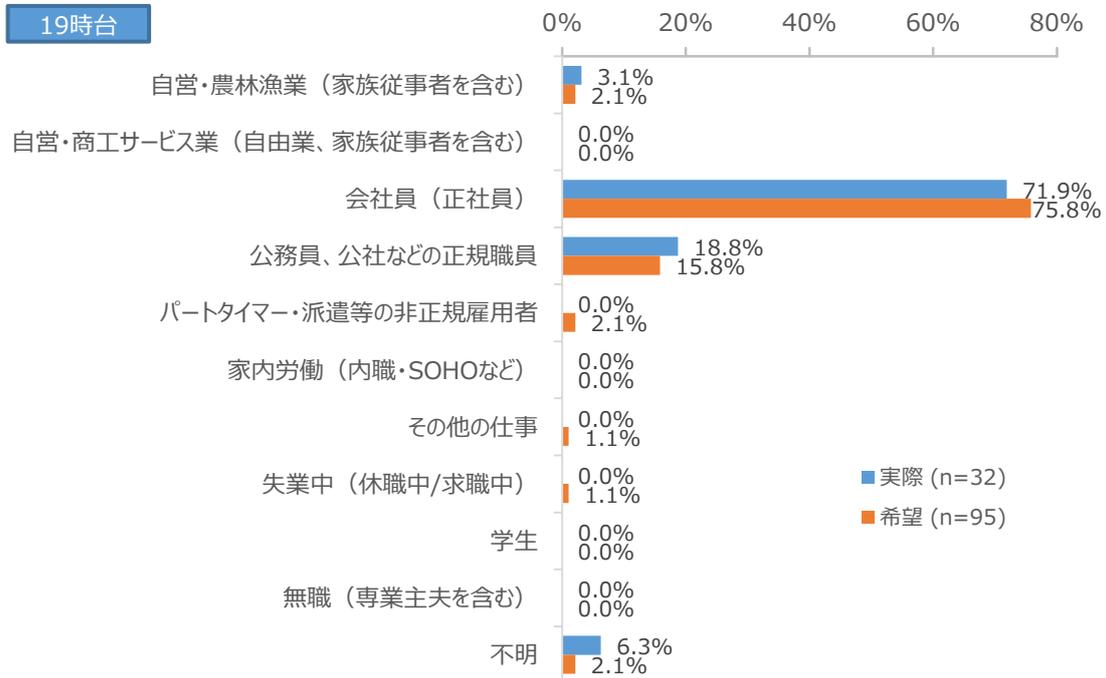
問8-1(1)：父の就労状況 × 問19-3(2)：利用終了時間_実際と希望



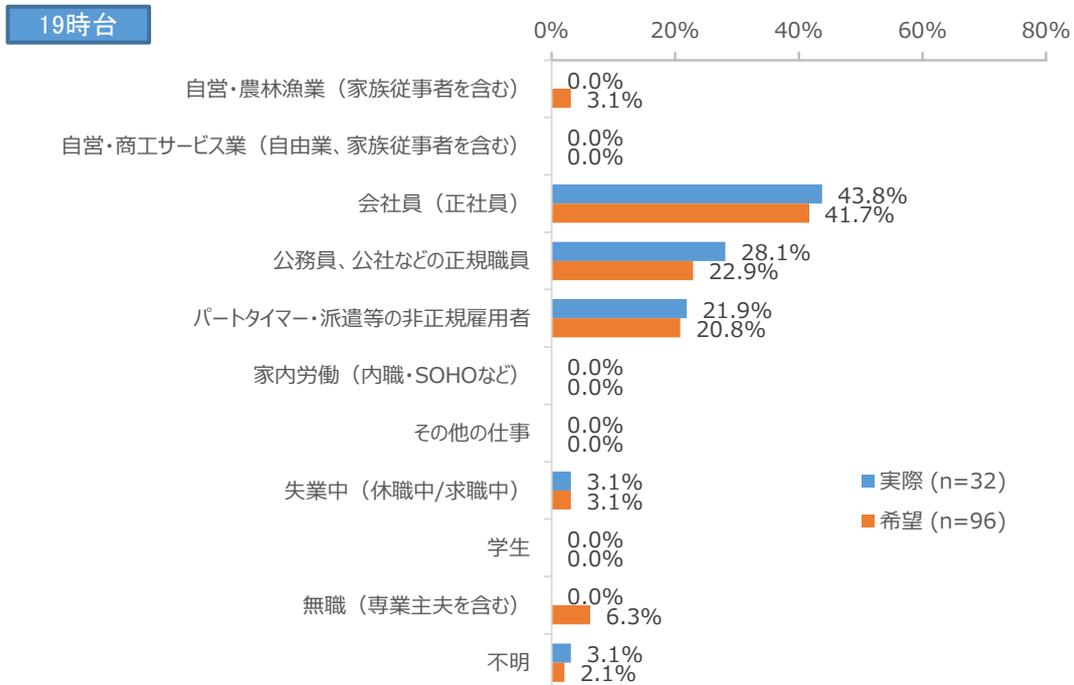
問8-2(1)：母の就労状況 × 問19-3(2)：利用終了時間_実際と希望



問8-1(1)：父の就労状況 × 問19-3(2)：利用終了時間_実際と希望



問8-2(1)：母の就労状況 × 問19-3(2)：利用終了時間_実際と希望



主に、母の就労状況では「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」、父の就労状況では「会社員（正社員）」で希望どおりになっていないと感じている人が多いため、環境整備においてはこの点を考慮に入れることも必要である。

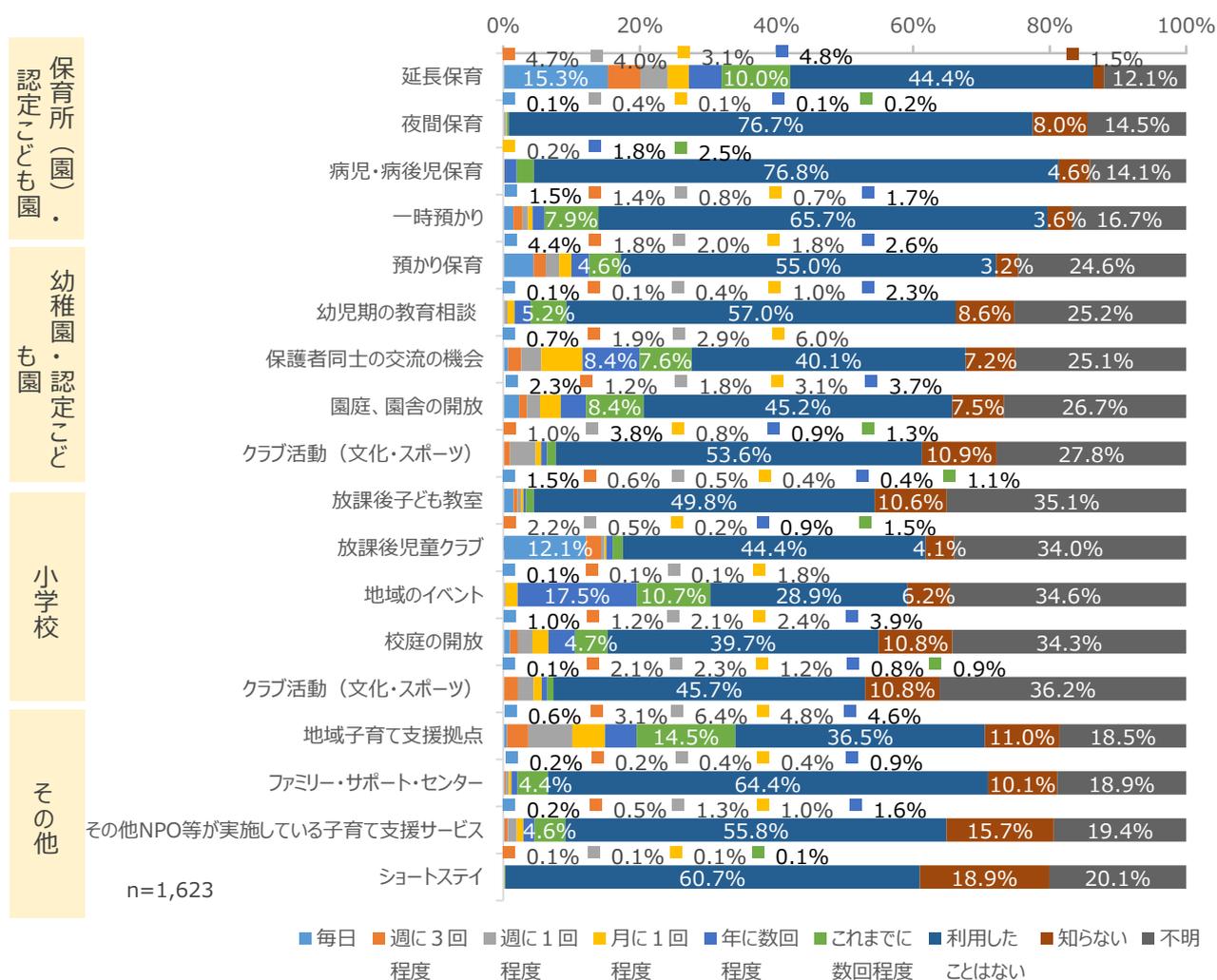
問 20(1) : 子育て支援サービスの内容と利用頻度 (SA)

子育て支援サービスについての利用頻度を見ると、どのサービスにおいても「利用したことがない」と回答している人が多い傾向にあり、約 3 割から多いもので 7 割以上を占めている。

また、「毎日」から「これまでに数回程度」までの回答割合を合計した“利用したことがあるサービス”では、「延長保育」(保育所(園)・認定こども園)が 42.0%で最も高く、次いで「地域子育て支援拠点」(その他)の 34.0%、「地域のイベント」(小学校)の 30.3%、「保護者同士の交流の機会」(幼稚園・認定こども園)の 27.6%となっている。

一方、「知らない」と回答しているサービスは、回答割合が高い順から「ショートステイ」(その他) (18.9%)、「その他 NPO 等が実施している子育て支援サービス」(その他) (15.7%)、「地域子育て支援拠点」(その他) (11.0%) である。

問20(1) : 子育て支援サービスの内容と利用頻度 (SA)



		毎日	週に3 回程度	週に1 回程度	月に1 回程度	年に数 回程度	これま でに数回 程度	利用した ことはな い	知らない	不明	サンプル 数
保育所 (園)・ 認定こ ども園	延長保育	249	77	65	50	78	163	720	25	196	1,623
	夜間保育	1	0	6	1	1	4	1,245	130	235	1,623
	病児・病後児保育	0	0	0	3	29	41	1,247	74	229	1,623
	一時預かり	24	22	13	11	28	128	1,067	59	271	1,623
幼稚 園・認 定こど も園	預かり保育	72	29	32	29	42	75	892	52	400	1,623
	幼児期の教育相談	2	2	6	17	38	85	925	139	409	1,623
	保護者同士の交流の機会	12	31	47	98	136	124	651	117	407	1,623
	園庭、園舎の開放	38	19	30	50	60	137	733	122	434	1,623
	クラブ活動（文化・スポーツ）	0	16	61	13	14	21	870	177	451	1,623
小学校	放課後子ども教室	25	9	8	6	7	18	809	172	569	1,623
	放課後児童クラブ	197	36	8	4	15	24	720	67	552	1,623
	地域のイベント	2	1	2	29	284	174	469	100	562	1,623
	校庭の開放	16	19	34	39	63	77	644	175	556	1,623
	クラブ活動（文化・スポーツ）	1	34	37	20	13	14	741	176	587	1,623
その他	地域子育て支援拠点	9	51	104	78	75	235	592	178	301	1,623
	ファミリー・サポート・センター	3	3	7	7	14	72	1,046	164	307	1,623
	その他 NPO 等が実施して いる子育て支援サービス	3	8	21	16	26	74	905	255	315	1,623
	ショートステイ	0	1	1	1	0	2	985	307	326	1,623

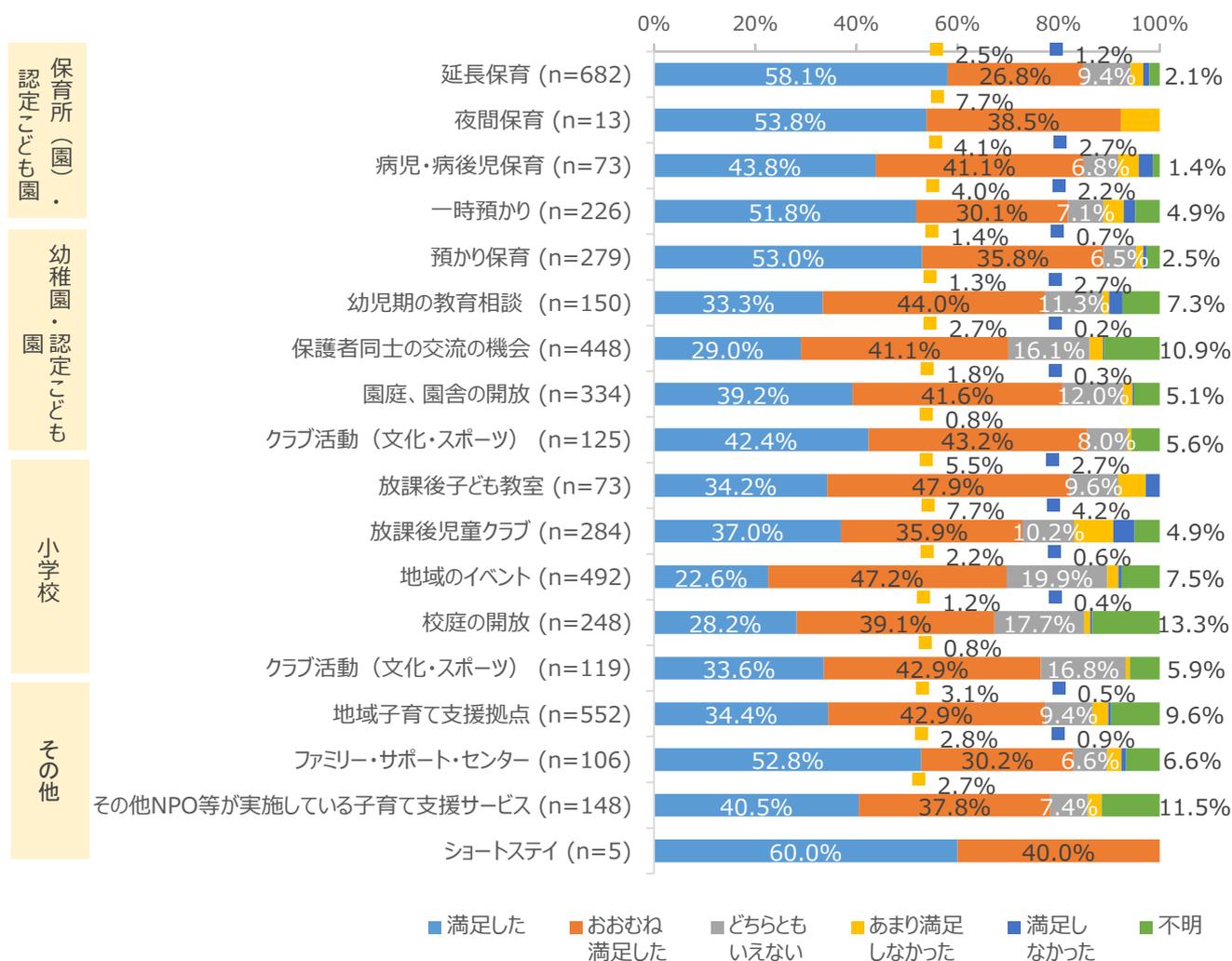
		毎日	週に3 回程度	週に1 回程度	月に1 回程度	年に数 回程度	これま でに数回 程度	利用した ことはな い	知らない	不明	サンプル 数
保育所 (園)・ 認定こ ども園	延長保育	15.3%	4.7%	4.0%	3.1%	4.8%	10.0%	44.4%	1.5%	12.1%	100.0%
	夜間保育	0.1%	0.0%	0.4%	0.1%	0.1%	0.2%	76.7%	8.0%	14.5%	100.0%
	病児・病後児保育	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	1.8%	2.5%	76.8%	4.6%	14.1%	100.0%
	一時預かり	1.5%	1.4%	0.8%	0.7%	1.7%	7.9%	65.7%	3.6%	16.7%	100.0%
幼稚 園・認 定こど も園	預かり保育	4.4%	1.8%	2.0%	1.8%	2.6%	4.6%	55.0%	3.2%	24.6%	100.0%
	幼児期の教育相談	0.1%	0.1%	0.4%	1.0%	2.3%	5.2%	57.0%	8.6%	25.2%	100.0%
	保護者同士の交流の機会	0.7%	1.9%	2.9%	6.0%	8.4%	7.6%	40.1%	7.2%	25.1%	100.0%
	園庭、園舎の開放	2.3%	1.2%	1.8%	3.1%	3.7%	8.4%	45.2%	7.5%	26.7%	100.0%
	クラブ活動（文化・スポーツ）	0.0%	1.0%	3.8%	0.8%	0.9%	1.3%	53.6%	10.9%	27.8%	100.0%
小学校	放課後子ども教室	1.5%	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	1.1%	49.8%	10.6%	35.1%	100.0%
	放課後児童クラブ	12.1%	2.2%	0.5%	0.2%	0.9%	1.5%	44.4%	4.1%	34.0%	100.0%
	地域のイベント	0.1%	0.1%	0.1%	1.8%	17.5%	10.7%	28.9%	6.2%	34.6%	100.0%
	校庭の開放	1.0%	1.2%	2.1%	2.4%	3.9%	4.7%	39.7%	10.8%	34.3%	100.0%
	クラブ活動（文化・スポーツ）	0.1%	2.1%	2.3%	1.2%	0.8%	0.9%	45.7%	10.8%	36.2%	100.0%
その他	地域子育て支援拠点	0.6%	3.1%	6.4%	4.8%	4.6%	14.5%	36.5%	11.0%	18.5%	100.0%
	ファミリー・サポート・センター	0.2%	0.2%	0.4%	0.4%	0.9%	4.4%	64.4%	10.1%	18.9%	100.0%
	その他 NPO 等が実施して いる子育て支援サービス	0.2%	0.5%	1.3%	1.0%	1.6%	4.6%	55.8%	15.7%	19.4%	100.0%
	ショートステイ	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	60.7%	18.9%	20.1%	100.0%

問 20(2) : 子育て支援サービスの満足度 (SA)

子育て支援サービスの満足度を見ると、「満足した」と「おおむね満足した」を合わせた“満足”が6割未満のサービスは無い。“満足”の回答割合が高いサービスは、「ショートステイ」（その他）の100%、「夜間保育」（保育所（園）・認定こども園）の92.3%、「預かり保育」（幼稚園・認定こども園）の88.9%となっている。

一方、「あまり満足しなかった」と「満足しなかった」を合わせた“不満足”の回答割合が高いサービスは、「放課後児童クラブ」（小学校）の12.0%、「放課後子ども教室」（小学校）の8.2%、「夜間保育」（保育所（園）・認定こども園）の7.7%となっているが、いずれも低い値である。

問20(2) : 子育て支援サービスの満足度 (SA)



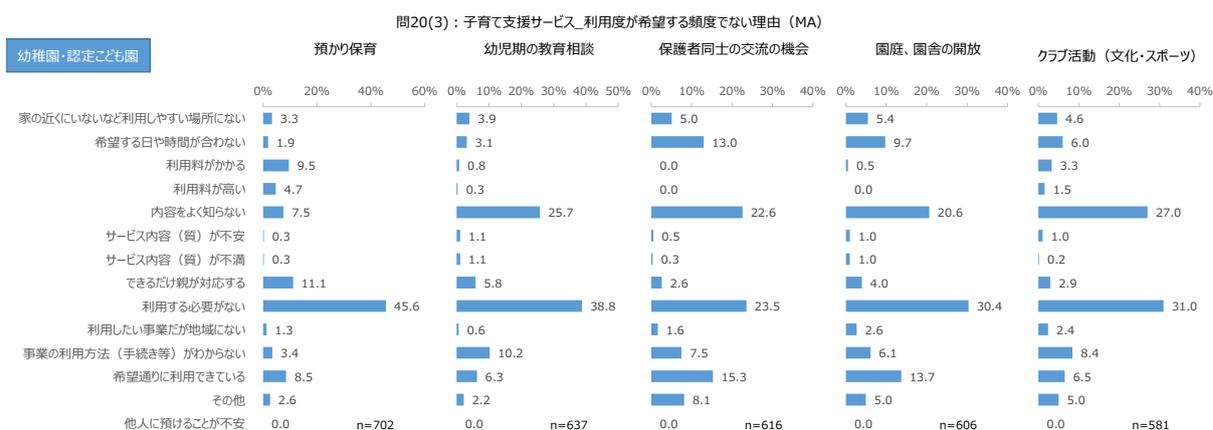
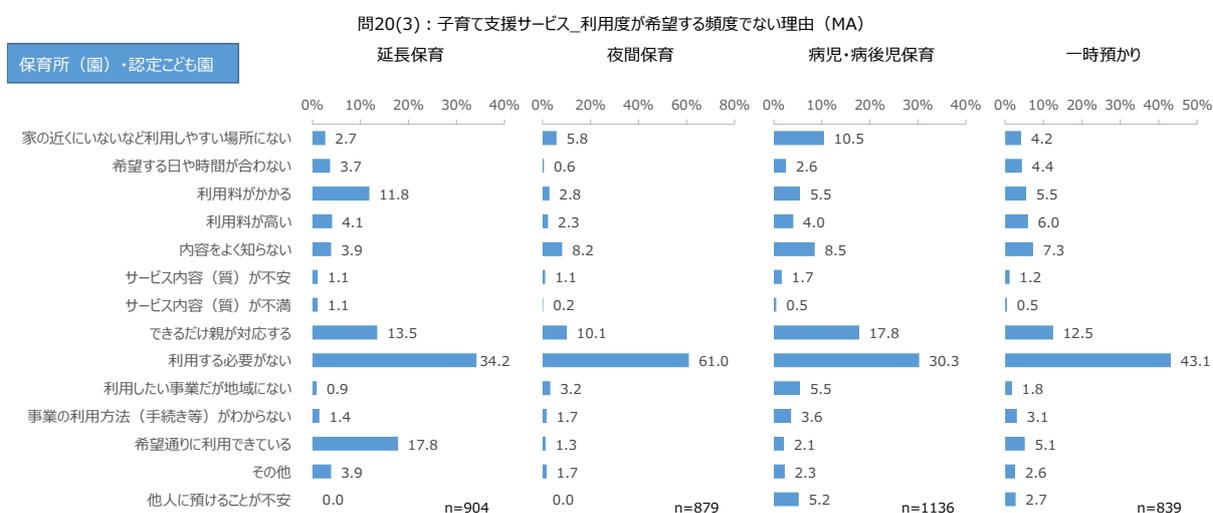
		満足した	おおむね満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	不明	サンプル数
保育所(園)・認定こども園	延長保育	396	183	64	17	8	14	682
	夜間保育	7	5	0	1	0	0	13
	病児・病後児保育	32	30	5	3	2	1	73
	一時預かり	117	68	16	9	5	11	226
幼稚園・認定こども園	預かり保育	148	100	18	4	2	7	279
	幼児期の教育相談	50	66	17	2	4	11	150
	保護者同士の交流の機会	130	184	72	12	1	49	448
	園庭、園舎の開放	131	139	40	6	1	17	334
	クラブ活動(文化・スポーツ)	53	54	10	1	0	7	125
小学校	放課後子ども教室	25	35	7	4	2	0	73
	放課後児童クラブ	105	102	29	22	12	14	284
	地域のイベント	111	232	98	11	3	37	492
	校庭の開放	70	97	44	3	1	33	248
	クラブ活動(文化・スポーツ)	40	51	20	1	0	7	119
その他	地域子育て支援拠点	190	237	52	17	3	53	552
	ファミリー・サポート・センター	56	32	7	3	1	7	106
	その他 NPO 等が実施している子育て支援サービス	60	56	11	4	0	17	148
	ショートステイ	3	2	0	0	0	0	5

		満足した	おおむね満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	不明	サンプル数
保育所(園)・認定こども園	延長保育	58.1%	26.8%	9.4%	2.5%	1.2%	2.1%	100.0%
	夜間保育	53.8%	38.5%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	病児・病後児保育	43.8%	41.1%	6.8%	4.1%	2.7%	1.4%	100.0%
	一時預かり	51.8%	30.1%	7.1%	4.0%	2.2%	4.9%	100.0%
幼稚園・認定こども園	預かり保育	53.0%	35.8%	6.5%	1.4%	0.7%	2.5%	100.0%
	幼児期の教育相談	33.3%	44.0%	11.3%	1.3%	2.7%	7.3%	100.0%
	保護者同士の交流の機会	29.0%	41.1%	16.1%	2.7%	0.2%	10.9%	100.0%
	園庭、園舎の開放	39.2%	41.6%	12.0%	1.8%	0.3%	5.1%	100.0%
	クラブ活動(文化・スポーツ)	42.4%	43.2%	8.0%	0.8%	0.0%	5.6%	100.0%
小学校	放課後子ども教室	34.2%	47.9%	9.6%	5.5%	2.7%	0.0%	100.0%
	放課後児童クラブ	37.0%	35.9%	10.2%	7.7%	4.2%	4.9%	100.0%
	地域のイベント	22.6%	47.2%	19.9%	2.2%	0.6%	7.5%	100.0%
	校庭の開放	28.2%	39.1%	17.7%	1.2%	0.4%	13.3%	100.0%
	クラブ活動(文化・スポーツ)	33.6%	42.9%	16.8%	0.8%	0.0%	5.9%	100.0%
その他	地域子育て支援拠点	34.4%	42.9%	9.4%	3.1%	0.5%	9.6%	100.0%
	ファミリー・サポート・センター	52.8%	30.2%	6.6%	2.8%	0.9%	6.6%	100.0%
	その他 NPO 等が実施している子育て支援サービス	40.5%	37.8%	7.4%	2.7%	0.0%	11.5%	100.0%
	ショートステイ	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

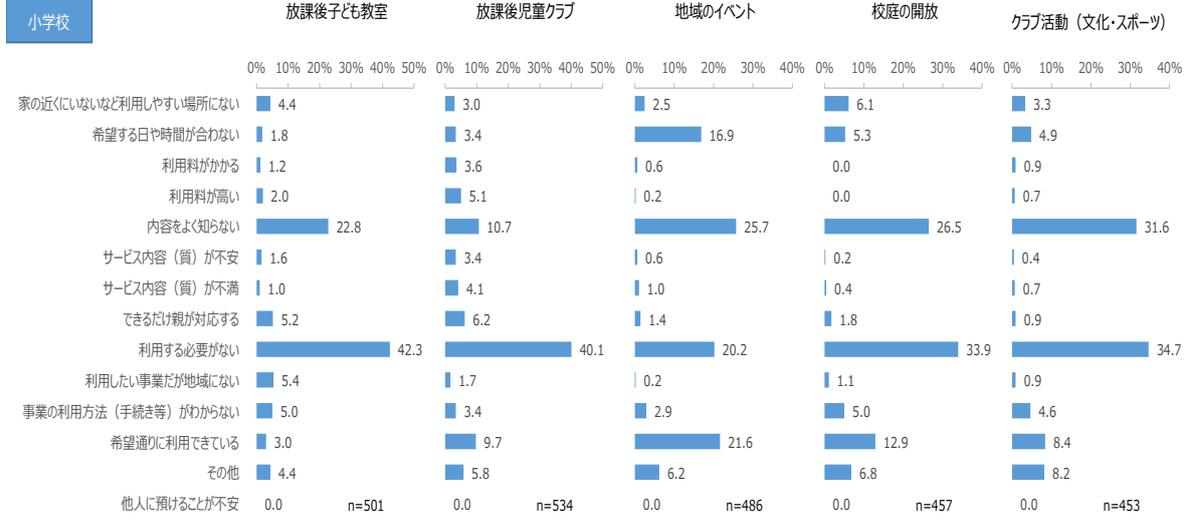
問 20(3) : 子育て支援サービス_利用度が希望する頻度でない理由 (MA)

子育て支援サービスの利用度が希望する頻度でない理由について、当てはまる選択肢をいくつでも選んでもらったところ、「地域のイベント」(小学校)、「地域子育て支援拠点」(その他)を除いたサービスで「利用する必要がない」を選んだ人の割合が最も高く、1割から6割程度を占めている。また、「内容をよく知らない」を選んでいる人が多いサービスは、「クラブ活動(文化・スポーツ)」(小学校)(31.6%)、「ショートステイ」(その他)(30.6%)、「その他 NPO 等が実施している子育て支援サービス」(その他)(30.3%) などである。

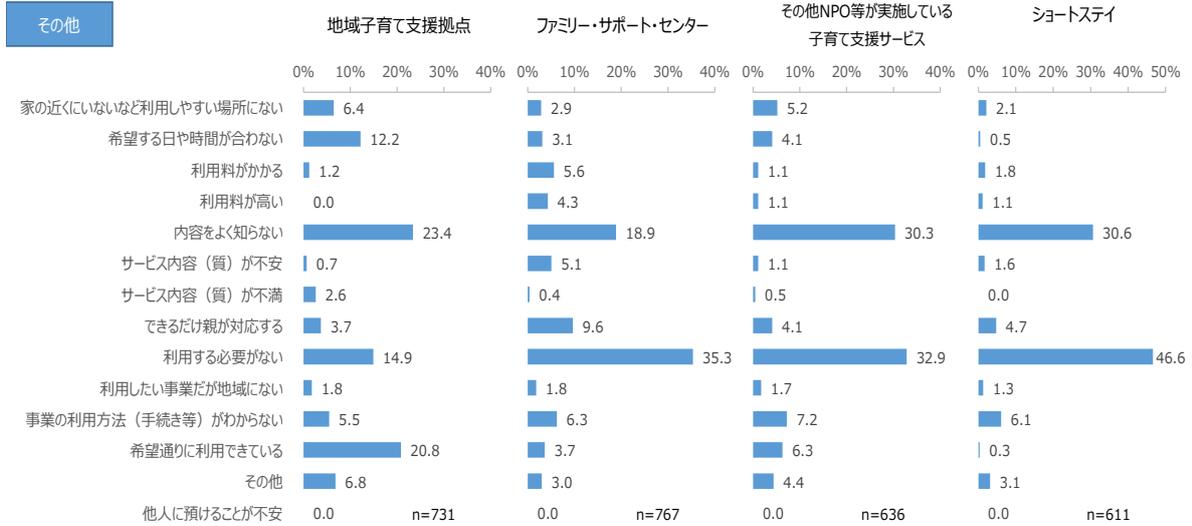
※ サンプル数は「不明」を除く。



問20(3)：子育て支援サービス_利用度が希望する頻度でない理由 (MA)



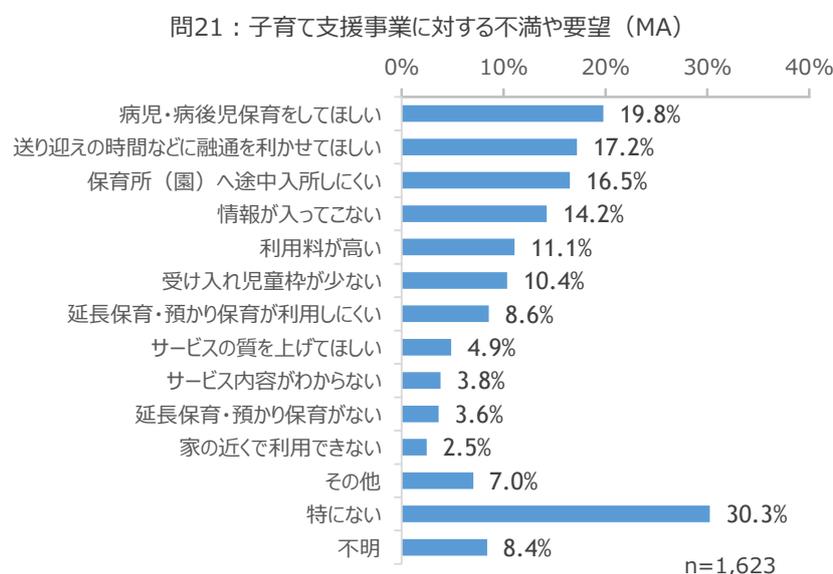
問20(3)：子育て支援サービス_利用度が希望する頻度でない理由 (MA)



問 21 : 子育て支援事業に対する不満や要望 (MA)

山梨県及び山梨県内の市町村での子育て支援事業に対する不満や要望について当てはまる選択肢をいくつかでも選んでもらったところ、「病児・病後児保育をしてほしい」を選んだ人が最も多く 19.8%、次いで「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」が 17.2%、「保育所（園）へ途中入所しにくい」が 16.5%となっている。一方、「特になし」と回答した人の割合は、30.3%である。

圏域別で回答割合が最も高い項目を見ると、峡中圏域では「保育所（園）へ途中入所しにくい」が 21.6%、峡東圏域及び峡南圏域では「病児・病後児保育をしてほしい」がそれぞれ 18.4%及び 25.9%、富士・東部圏域では「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」が 22.6%である。また、峡北圏域では、「病児・病後児保育をしてほしい」、「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」、「保育所（園）へ途中入所しにくい」が共に 19.6%である。



	N	%
病児・病後児保育をしてほしい	321	19.8%
送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい	279	17.2%
保育所（園）へ途中入所しにくい	268	16.5%
情報が入ってこない	231	14.2%
利用料が高い	180	11.1%
受け入れ児童枠が少ない	168	10.4%
延長保育・預かり保育が利用しにくい	139	8.6%
サービスの質を上げてほしい	79	4.9%
サービス内容がわからない	62	3.8%
延長保育・預かり保育がない	59	3.6%
家の近くで利用できない	40	2.5%
その他	114	7.0%
特になし	491	30.3%
不明	136	8.4%
サンプル数	1,623	100.0%

サービスの質を上げてほしい_子育て支援サービス名	N
保育園、幼稚園、認定こども園	7
保育士の質の向上	4
放課後児童クラブ	3
学童保育の充実（習い事、勉強）	2
ファミリーサポートセンター	1
ファミリーサポートセンター、安心して利用できる公園	1
一時預かり	1
園開放を毎日やって欲しい	1
河口湖未来館のような、小学生～の児童館がないので、長期の休みに遊べる所がなくて困る（学童に行っていないため）	1
学習への支援	1
給食のご飯	1
教育、スタッフ数増	1
公立学校	1
持ってくる物や規制が多い	1
送り迎えのバス	1
認定こども園 1号、延長保育	1
保育園、支援センター	1
幼児教育センター	1
無回答	49
計	79

利用料が高い_子育て支援サービス名	N
保育園、幼稚園、認定子ども園	35
ファミリーサポートセンター事業	9
放課後児童クラブ	6
一時預かり事業	4
延長保育	2
預かり保育	2
保育園、放課後児童クラブ	2
ファミリーサポートセンター事業、病児病後保育、幼稚園の預かり保育、学童児童クラブ	1
ファミリーサポートセンター事業、放課後児童クラブ	1
授業料	1
就園奨励費が町で制度がない	1
妊婦健診、病児保育事業	1
病児保育、学童保育	1
保育料、延長保育	1
預かり保育、一時保育、ファミリーサポート	1
無回答	112
計	180

サービス内容がわからない_子育て支援サービス名	N
ファミリー・サポート・センター事業	2
放課後児童クラブ	1
保育コンシェルジュみたいな人に相談できるいいと思います	1
認定こども園	1
地域子育て支援拠点	1
ファミリー・サポート・センター事業、病児保育事業、放課後児童クラブ	1
すべて知らない	1
無回答	54
計	62

家の近くで利用できない_子育て支援サービス名	N
病児病後児保育	3
地域子育て支援拠点事業	2
放課後子ども教室	1
認定子ども園が少ない。子どもが習い事等で使える安全な公共交通機関が少ない	1
地域の身近なところで、気軽に親子の交流や子育て相談ができる場所、ファミリー・サポート・センター事業、放課後児童クラブ	1
保育所の子育て支援事業	1
一時預かり	1
ベビーシッター、保育所の送迎	1
ファミリー・サポート・センター事業	1
NPO 法人がない	1
無回答	27
計	40

その他	N	
施設整備等に関する事項 (21件)	市内に保育園がない	1
	子育てに関する施設が少ない	1
	私立幼稚園が近所に少なすぎる。私立小学校が少なすぎる	1
	保育園の入所条件（時間など）が厳しい。私立の保育園がない	1
	保育所（園）がない	1
	北杜市は保育園しかなく、こども園や幼稚園を作ってほしい。家庭の事情で働きたくても働けないのに、保育園しかない	1
	幼稚園の数がとても少ない	1
	地域にない	1
	近くに幼稚園がない。送迎バスがない	1
	児童館がない。幼稚園児が安全に遊べる室内無料施設がほしい	1
	児童館が無いので、子を遊ばせる施設がほしい	1
	児童館を作ってほしい。屋内で遊ばせる場所がない	1
	室内の遊び場が、もっと沢山あるといい	1
	附属小学校にも学童などの施設を作って欲しい。働く親も多いので、あるととても助かります	1
	市でも、同年齢の子どもと関わって遊ぶ児童館などの設備やイベントなど、もっと多くして欲しい（年齢に対応した）	1
	公園が少ない	1
	公園など子どもを遊ばせる所が少ない	1
	公園など遊べる場所が少ない	1
	子供が遊べる公園が少ない	1
	幼児センターが古すぎる。にらちび（韮崎市子育て支援センター）のような施設を作ってほしい	1
老朽化している建物等を直して欲しい。遊具は安全かどうか、必ず確認をして欲しい	1	

その他（つづき）		N
土日祝日等に関する事項 (16件)	土、日に安く利用できる保育所がない。小学校の学童の利用時間が短い。保育園は19:20まで預かってもらったのに、小学校に入ったら18時に迎えに行かないとならないのが一番困った	1
	土、日の保育を1日預ける所が近くにない	1
	土日、休日保育の場所が増えて欲しい	1
	土日でも有料でいいので保育してほしい。審査せず誰でも利用したい人が利用できるようにしてほしい	1
	土日保育が短かったり、ないことが不便	1
	土曜日など、保育園の行事で話し合いがある場合に、子供を預けられなくて困る	1
	土曜日の一日保育が、今年度から開始されたが、もっと早く実施して欲しかった。他の自治体ではとっくに始まっている。土曜日8:30~12:00で働く親が預けても、昼休みに迎えに来いってことですか?!	1
	土曜日の保育をしっかりとやってもらいたい	1
	土曜日の利用を簡単に出来るようにしてほしい	1
	日曜保育が甲府市で宮前だけで、常にキャンセル待ちで利用できない	1
	幼稚園の夏休み、冬休みをなくしてほしいです。預かり時間を長くしていただいて、質を落とさないでいただきたいです	1
	日曜日に子供を預かってくれる所が少ないし、高い	1
	学童を1日からしてほしい。夏休み等	1
	短時間パートでも、長期休みは児童館で預かって頂きたいです	1
	地域にある延長保育が短すぎる。学童を作ってもらえず、考えてもくれない。役場に相談したが、相手にしてくれなかった。長期休みに子どもがかわいそう（放課後は学校にいれるが）	1
	園が夏休みなどになってしまうと、母親は仕事を休まざるを得ない。通年利用可能として頂きたい	1
保育園の入園等に関する事項 (9件)	希望する保育所に入れるようにしてほしい	2
	希望しても入れないので使えない	1
	希望の園に入れない。年度途中だと、空いている園がない	1
	市の振り分け、保育園が入りにくい。希望しても転園できない。実際転園相談を市にしたが、驚くほど無理な条件	1
	待機児童が少ない（いない）と言いながら、希望の園に入れない。働く母親にとって、土日にイベントがないのは辛い。市町村のマタニティ学級も平日に行われる。人気のある保育園では、不平等な行為があり入れなかった。市町村で管理しているのか？指導が足りない。母子家庭が増え、何でも優先される。普通の家庭が、母子家庭のおかげで預けられない。優先とは何か?!	1
	入園できる基準を統一してほしい。明らかに就労していない母親がいる	1
	幼稚園に預けている場合の1号認定の人の場合、働いていても1号にしている人が居ることを理解してほしい。制度がよく分からないのに、号認定を決めろと言われ、バス通園だった場合、2号にしたらどうなるの?とか全然分からないから1号（今までと同じ）を選んだのに、夏に預かり保育を申請したら1号、2号でお昼ご飯に差を付けられ、1号でも働いているのだから多少融通を利かせて欲しい	1
	1歳の誕生日に復帰しないとにならないのに、保育園に入れられない。一時預かりの手続きが煩雑だし、予約できない事もある	1
制度に関する事項 (8件)	1年以上の休職をすると退園しなければならないのは改善してほしい	1
	6カ月くらいから預かってほしい	1
	第2子出産後、第1子の通所が続けられないことが多いこと	1
	保育園が働いていないと申し込めない	1
	幼稚園に通っていると、保育園の一時預かりが利用できなかった。幼稚園の長期休みに利用したかった	1
	育休中だと預けられないという理由で就労前の慣らし保育が出来ない	1
	産休、育休中の預かりの充実（甲斐市）	1
	一時預かり保育で、どこを利用しようか悩む。よし悪しの基準が良く分からない	1
支援に関する事項 (8件)	市町村によって休日保育（一時預かり）や、夜間保育、病児保育等、していないことがあり困る。	1
	無料で例えば、30分程の預かりサービスが以前は富士吉田のQ-STA（富士山駅ビルショッピングセンター）であったのが廃止されてしまい困る。あった時は30分とはいえとても助かった	1
	民間の学童保育（英語やスイミングなどの送迎付きのもの）が少ない	1
	アレルギー児への対応ができていない事業所が少ない。もう少し全体的に知識を深めるべきだと思う	1
	子育て支援カードが利用できるお店が少ない	1
	休日保育、夜間保育が充実していない	1
	休業中の収入減に伴う補助	1
	仕事へ復帰するための企業の斡旋など	1

その他（つづき）		N
保育園の教育内容等に関する事項（8件）	保育園でも、幼稚園のような教育内容を取り入れて欲しい	1
	保育園の質を上げてほしい	1
	役場の課長が、延長を兼ねているような保育園では、質が悪くなってしまう。保育士も向上心が乏しく、よりよい保育、よりよい園にしようという意識を感じられない人が多い	1
	保育士の質と対応の悪さに不安を感じ、保育園に預けていない	1
	児童課、保育課などの対応がとても不親切に感じる	1
	保育士を増やすべきだと、強く思います	1
	男性の保育士をどの園でも採用してほしい	1
	あまり現状に合っていないように感じます。幼稚園側も、国が決めたことを行っているだけで、工夫が出来ない状況なのかもしれません	1
利用料等に関する事項（5件）	保育料が高い	2
	保育料の不平等が不満。ある程度一定にすべき	1
	保育料助成の充実	1
	利用料が収入に応じては分かるが、高い。3才未満で4万円以上なので	1
評価に関する事項（6件）	まだ利用したことがないので、分からない	2
	子供が産まれたばかりで、まだ知りません	1
	夫、妻の両親に助けられたので、子育て支援を必要とせず、調べたことも、利用したこともないので、評価出来ません	1
	子供の年齢が上がるにつれて、要望の内容も変わって来ているので、当てはまるものがない	1
	今年度より制度が変更になり、延長保育利用料が、かなり高くなりました。そこが不満なところ	1
交通手段に関する事項（5件）	車がなくても利用しやすくして欲しい。バスや電車が使える所	1
	親の仕事も多様化し、不規則な勤務の場合もある。同居の祖父母も車の運転が出来るとは限らず、通園、帰宅時の送迎があると助かる場合もある	1
	仕事の都合で、延長保育を利用しているが、平日の習い事がなかなか出来ない。通っている保育所以外の保育所では、保育所と習い事をする場所の間で送迎をしていると聞いたが、出来るのか？	1
	保育園にも送迎バスがあった方が良い	1
	幼稚園（公立の）を作してほしい。送迎バスがほしい	1
利用時間に関する事項（5件）	保育時間が短い（今の保育所では18：00まで）	1
	北杜市の「つどいの広場」は、利用時間が短い	1
	放課後児童クラブは4年までが望ましい	1
	延長保育の時間が、他の市と比べると短いと思います	1
	家から一番近い園に入れているが、預かり時間が8～18時と短く、年老いた祖父母にも送迎を頼む事があるため、時間の長い遠くの園に預けられない	1
病児・病後児保育に関する事項（4件）	病気になると保育園では預かってもらえない	1
	病児・病後児保育の枠を広げてほしい	1
	病児病後児保育が少ない	1
	病児病後児保育の預かり時間が8時間なので、早退しないと利用できない	1
情報に関する事項（3件）	Y M C Aの様なキャンプ団の告知がない	1
	こちらから聞かないと、情報が入って来ないので、もう少し情報が欲しい	1
	写真など、どんな施設か載せて欲しい	1

その他（つづき）		N
ファミリーサポートに関する事項 （2件）	ファミリーサポートは役所が窓口なので土日に急に休みたいときに使えない	1
	ファミサポは知らない人に預けることになるので、利用できない。近くに親類もなく、入院など急な時に預ける先がないので困っている。せっかくファミサポの事業があるのに、みんな不安で預けられない人が多い。朝夕、保育園で対応できない時間帯も含めて、公共の場を利用した預かり保育をして欲しい	1
医療に関する事項 （2件）	休日の小児科受診、夜間の小児科受診の近場の利用	1
	産婦人科、小児救急を増やしてほしい	1
制度変更に関する事項 （2件）	制度が変わってから、分かりづらくなった。手続きが面倒	1
	制度が変更になる際に、事前の説明が不足している。もっと積極的に周知すべき	1
妊婦健診に関する事項 （2件）	妊婦健康診査	1
	妊婦健診の頻度が高く、そこまで必要性を感じない。昔はもっと少なかったはず。税金のムダ遣い	1
障害のある児童に関する事項 （2件）	発達障害の子どもへの支援が不足している→適切な支援が受けられない（予約等がなかなか取れず、タイムリーな支援が受けられない）	1
	障害を持って出産育児のサポート、その情報等	1
上記以外に関する事項 （6件）	本当に困っています。冷静に対処をこなす程、頭が回りません。貧困時にそう思いました	1
	娘のクラスは児童が少なく、役員の負担が大変	1
	預けなくてもよくなる本当に必要な方が必要なときに利用できる社会の構築を目指してほしい。受け入れること、要望にいかに応えるかを考えすぎ	1
	お祭りが毎年同じような感じがする	1
	食事の質向上、ミルクの必要性の論議	1
	学校（公立）	1
計		114

問 1：圏域 × 問 21：子育て支援事業に対する不満や要望

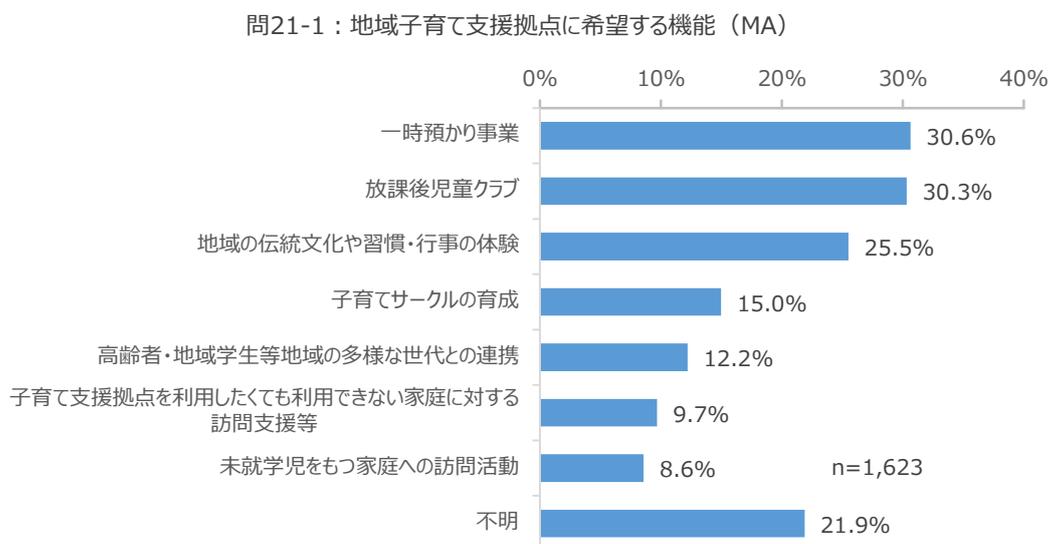
	峡中 (n=770)	峡東 (n=267)	峡南 (n=116)	峡北 (n=112)	富士・東部 (n=349)	不明 (n=9)	全体 (n=1,623)
病児・病後児保育をしてほしい	18.2%	18.4%	25.9%	19.6%	22.1%	33.3%	19.8%
送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい	14.4%	17.2%	18.1%	19.6%	22.6%	0.0%	17.2%
保育所（園）へ途中入所しにくい	21.6%	11.6%	10.3%	19.6%	10.6%	0.0%	16.5%
情報が入ってこない	17.8%	11.6%	12.9%	14.3%	9.2%	0.0%	14.2%
利用料が高い	10.8%	11.2%	8.6%	4.5%	14.6%	11.1%	11.1%
受け入れ児童枠が少ない	13.4%	8.6%	6.9%	8.0%	7.2%	0.0%	10.4%
延長保育・預かり保育が利用しにくい	7.4%	7.5%	4.3%	13.4%	12.0%	0.0%	8.6%
サービスの質を上げてほしい	4.4%	3.4%	5.2%	2.7%	7.4%	11.1%	4.9%
サービス内容がわからない	3.4%	2.6%	6.0%	3.6%	5.2%	0.0%	3.8%
延長保育・預かり保育がない	3.1%	3.0%	1.7%	7.1%	4.9%	0.0%	3.6%
家の近くで利用できない	1.6%	2.2%	3.4%	1.8%	4.6%	0.0%	2.5%
その他	5.6%	8.2%	8.6%	8.9%	8.3%	0.0%	7.0%
特になし	30.6%	32.2%	30.2%	29.5%	28.1%	33.3%	30.3%
不明	8.6%	12.0%	6.0%	7.1%	6.0%	22.2%	8.4%

差異はあるものの、いずれの圏域でも「病児・病後児保育をしてほしい」、「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」、「保育所（園）へ途中入所しにくい」が主な不満・要望であるため、こうした点について今後検討していく必要があると思われる。

問 21-1 : 地域子育て支援拠点に希望する機能 (MA)

地域において子育て親子の交流や子育て相談、情報の提供等を行う、地域子育て支援拠点について希望する機能を聞いたところ、回答者が多い順から「一時預かり事業」の30.6%、「放課後児童クラブ」の30.3%、「地域の伝統文化や習慣・行事の体験」の25.5%、「子育てサークルの育成」の15.0%となっている。

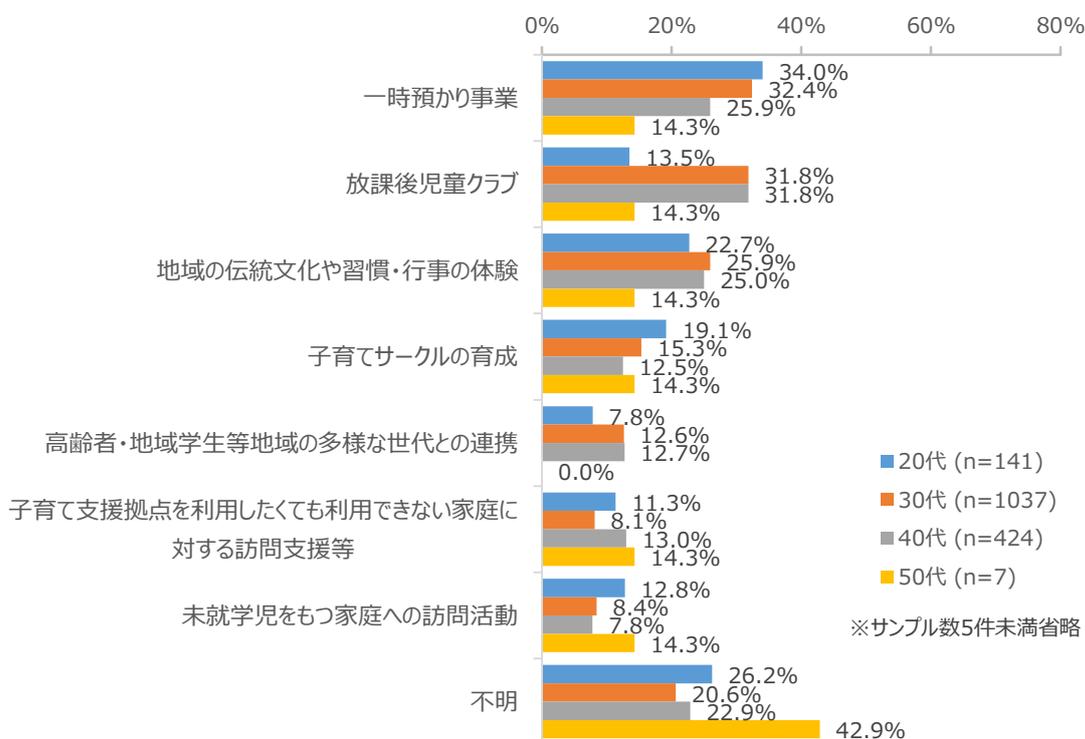
母の年齢別では、20代や30代は「一時預かり事業」、30代や40代は「放課後児童クラブ」を挙げる人の割合が高い。子どもの年齢別では、「0～2歳」が「一時預かり事業」、「3～5歳」が「放課後児童クラブ」を挙げる人の割合が高い。



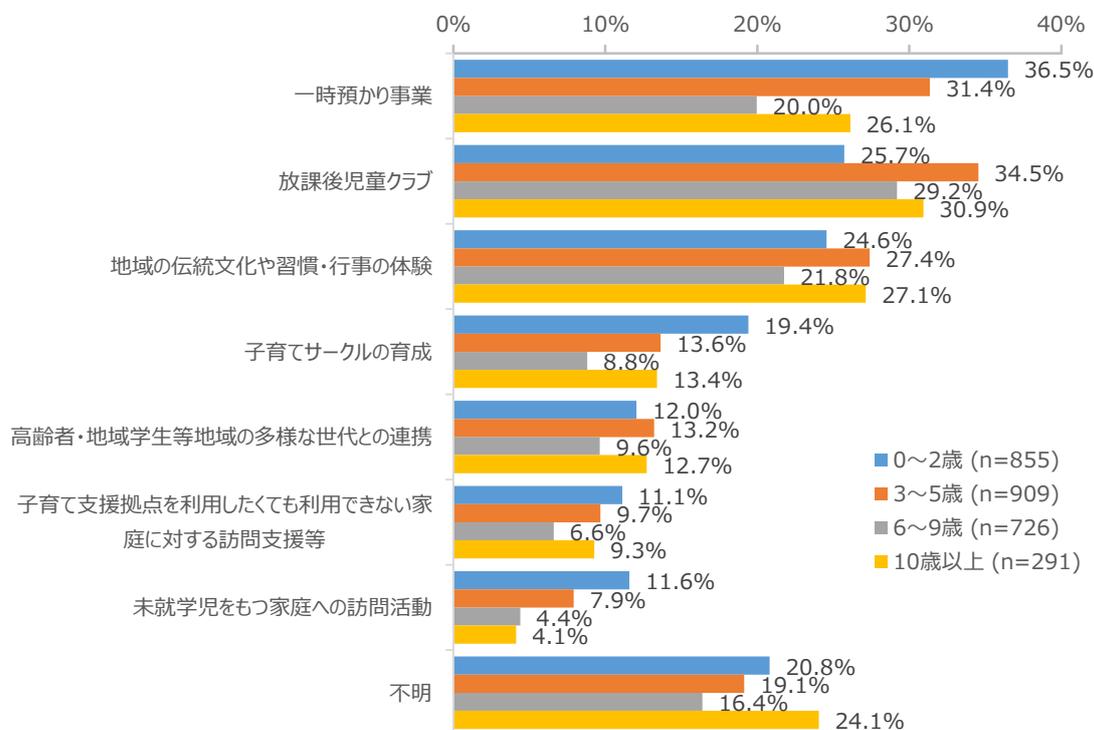
	N	%
一時預かり事業	497	30.6%
放課後児童クラブ	492	30.3%
地域の伝統文化や習慣・行事の体験	414	25.5%
子育てサークルの育成	243	15.0%
高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携	198	12.2%
子育て支援拠点を利用したくても利用できない家庭に対する訪問支援等	157	9.7%
未就学児をもつ家庭への訪問活動	139	8.6%
不明	355	21.9%
サンプル数	1,623	100.0%

「放課後児童クラブ」は小学生を対象とした事業であり、「3～5歳」の子どもがいる世帯でも回答割合が高いのは、子どもが小学生になったときを想定して、親が知っている施設での事業実施を希望している、という見方も有り得るのではないかと考えられる。

問3：母の年齢 × 問21-1：地域子育て支援拠点に希望する機能



問5-2：子どもの年齢 × 問21-1：地域子育て支援拠点に希望する機能



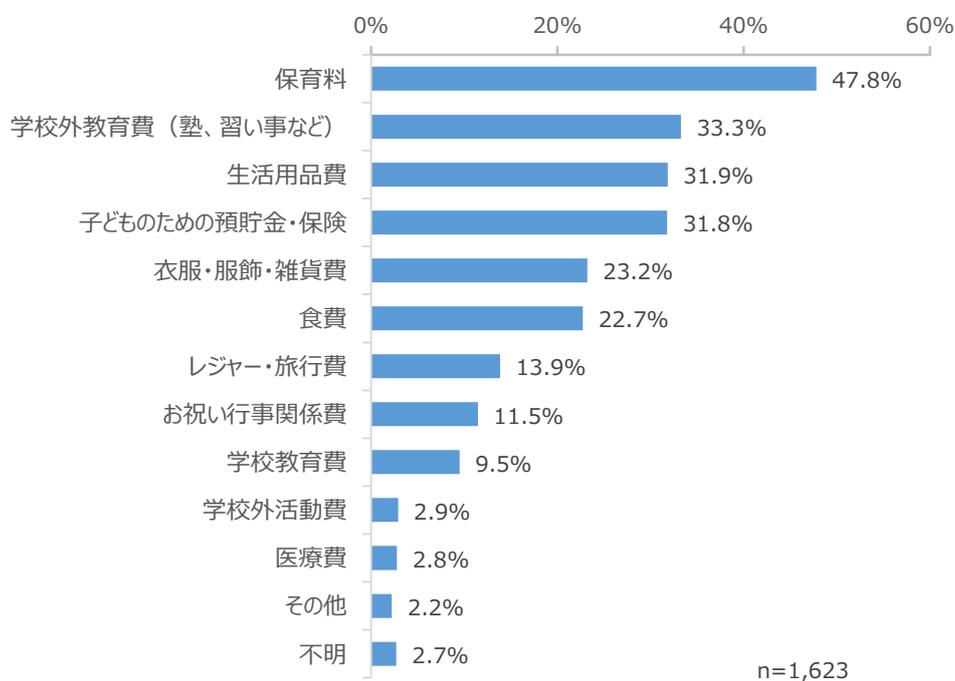
子どものライフステージに伴い、希望する機能も変化している様子が見えてくる。

問 22 : 子育て費用の中で負担に感じている出費 (MA)

子育て費用の中で負担に感じている出費は、「保育料」と回答している人が 47.8%で最も多く、次いで「学校外教育費（塾、習い事など）」（33.3%）、「生活用品費」（31.9%）となっている。

圏域別でもすべての圏域で「保育料」と回答している人が最も多い。その他、地域ごとに差異がある項目を見ると、「学校外教育費（塾、習い事など）」を負担に感じていると回答している人が、峡中圏域、富士・東部圏域で比較的多い。峡南圏域では、「衣服・服飾・雑貨費」、峡東圏域では、「食費」が回答の上位を占めている。

問22：子育て費用の中で負担に感じている出費 (MA)



	N	%
保育料	776	47.8%
学校外教育費（塾、習い事など）	540	33.3%
生活用品費	517	31.9%
子どものための預貯金・保険	516	31.8%
衣服・服飾・雑貨費	377	23.2%
食費	369	22.7%
レジャー・旅行費	225	13.9%
お祝い行事関係費	186	11.5%
学校教育費	154	9.5%
学校外活動費	47	2.9%
医療費	45	2.8%
その他	36	2.2%
不明	44	2.7%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
家	1
帰省費用	1
塾、習い事等の交通費	1
将来に備えての教育資金	1
負担が当たり前と考え、あまり苦に感じてない	1
交通手段	1
特になし	25
無回答	5
計	36

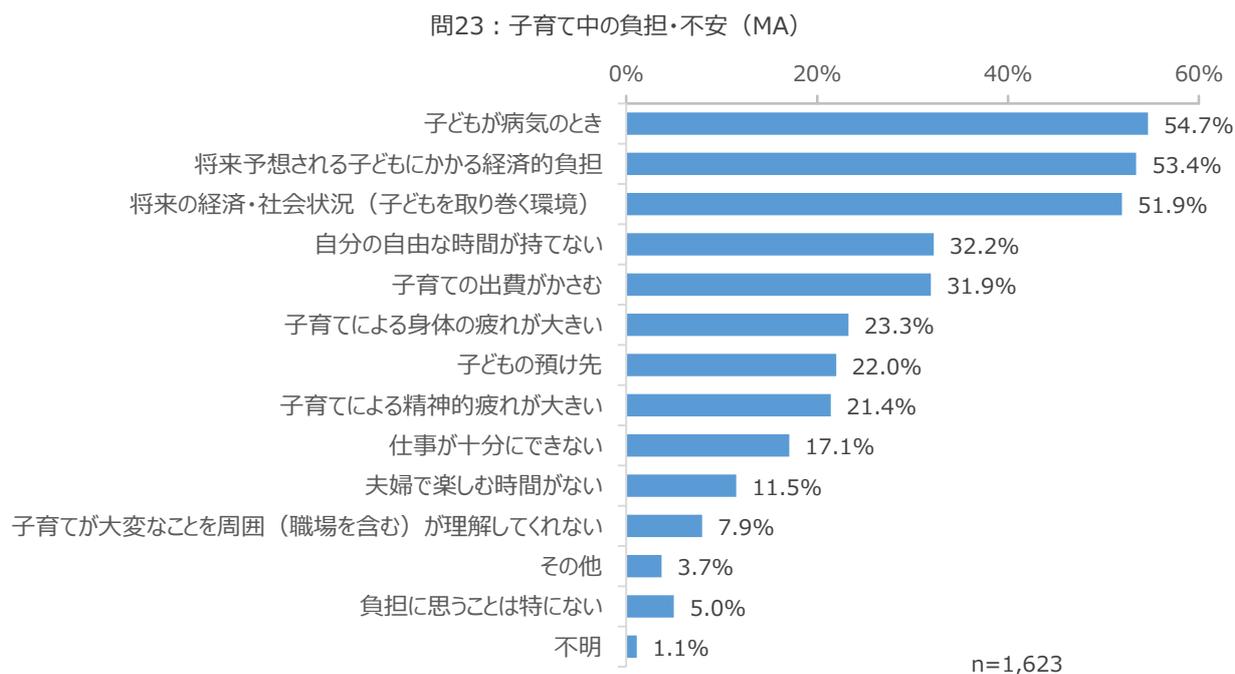
問 1：圏域 × 問 22：子育て費用の中で負担に感じている出費

	峡中 (n=770)	峡東 (n=267)	峡南 (n=116)	峡北 (n=112)	富士・東部 (n=349)	不明 (n=9)	全体 (n=1,623)
食費	20.0%	28.5%	29.3%	25.9%	21.2%	22.2%	22.7%
生活用品費	32.5%	31.5%	36.2%	34.8%	29.2%	0.0%	31.9%
医療費	3.2%	3.4%	2.6%	0.9%	2.0%	0.0%	2.8%
保育料	49.7%	54.3%	42.2%	38.4%	43.6%	44.4%	47.8%
学校教育費	10.3%	8.6%	10.3%	9.8%	8.0%	11.1%	9.5%
学校外教育費 (塾、習い事など)	33.6%	31.1%	32.8%	21.4%	38.1%	33.3%	33.3%
学校外活動費	2.3%	4.1%	2.6%	1.8%	3.7%	0.0%	2.9%
衣服・服飾・雑貨費	22.7%	19.1%	36.2%	28.6%	22.1%	0.0%	23.2%
お祝い行事関係費	12.1%	9.0%	8.6%	13.4%	12.6%	0.0%	11.5%
子どものための預貯金・保険	30.4%	31.5%	24.1%	37.5%	36.4%	11.1%	31.8%
レジャー・旅行費	12.3%	16.5%	12.1%	19.6%	14.0%	11.1%	13.9%
その他	1.8%	1.9%	3.4%	3.6%	2.6%	0.0%	2.2%
不明	3.1%	3.7%	0.0%	0.9%	2.0%	22.2%	2.7%

「保育料」や「学校外教育費（塾、習い事など）」等教育に関する出費に負担を感じている状況が見られていることから、経済的な負担の緩和という側面で子育て支援を検討する際は、この点を視野に入れる必要があると思われる。

問 23 : 子育て中の負担・不安 (MA)

子育てをしていて負担・不安に思うことを上位 5 つまで選んでもらったところ、「子どもが病気のととき」が 54.7%、「将来予想される子どもにかかる経済的負担」が 53.4%、「将来の経済・社会状況（子どもを取り巻く環境）」が 51.9%とこの 3 項目を選択している人は、5 割を超えている。



	N	%
子どもが病気のととき	887	54.7%
将来予想される子どもにかかる経済的負担	867	53.4%
将来の経済・社会状況（子どもを取り巻く環境）	843	51.9%
自分の自由な時間が持てない	523	32.2%
子育ての出費がかさむ	518	31.9%
子育てによる身体の疲れが大きい	378	23.3%
子どもの預け先	357	22.0%
子育てによる精神的疲れが大きい	348	21.4%
仕事が十分にできない	277	17.1%
夫婦で楽しむ時間がない	187	11.5%
子育てが大変なことを周囲（職場を含む）が理解してくれない	129	7.9%
その他	60	3.7%
負担に思うことは特にない	81	5.0%
不明	18	1.1%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
仕事と家事育児の両立	4
イジメ等の問題	2
仕事をしている分、子供との時間が少ないことは不安	2
夫が協力的ではない	2
クラスの人数が少ないこと	1
こどもをとりまく食の環境の不安（食品添加物、放射能、農薬、ダイオキシンなど）。遺伝子組み換え作物	1
この子育てで大丈夫なのかと思うときがある	1
これから先の子育ての対応	1
ママ友との関係が負担	1
家事！掃除してもすぐに散らかす	1
家事が十分にできない	1
外で遊べる公園が少ないので、外遊びをする場所を考えると不安	1
学校が子供に対して理解があまりない（担任）	1
学校での友人関係、ママ友（保護者）との問題	1
泣き声や怒鳴り声が周囲の人に迷惑でないか	1
現在、異様な事件が多くて、巻き込まれないか心配	1
子どもが成長することにより、どう対応したら良いか等、不安になることがある	1
子どもと向き合う時間が充分取れない	1
子どもの学力	1
子どもの性格	1
子どもの勉強の支援が体力的、技術的に難しい	1
子どもを保育園に預けることが多く、子どもの気持ち（淋しい気持ちなど）や精神的な疲れがないか不安	1
子供が少ない（住んでいる地域の）	1
子供に軽度の障害があり、先行きが不安	1
子供に友達出来るかどうか。いじめに合わないかとても不安	1
子供の習い事の送り迎え	1
子供を遊ばせる場所に悩む。行くところが毎回同じになってしまう。ヨーカ堂やイオンなどのフリースペースを利用することが多い。支援センターもたまに利用するが、いつも利用している方の中に入っていきなのが、負担に思ってしまう	1
事件が多発して将来が心配	1
自分が病気の時	1
小さな子どもを持つ母親を企業が積極的に受け入れない。出産、妊娠＝「会社を辞めてほしい」という風潮が残っている	1
食事、栄養面について	1
水や食事の安全性、産地の安全性	1
大雪や災害時の子どもの安全	1
知的障害がある為、将来が心配	1
地域のお母さん同士が、気軽に集まれるスペースがなく、集まる目的を持って交流できる場所が欲しい。皆、他県からお嫁に来ていたりするので、気軽に友達を集めて、話をする機会がないと言っていた	1
地域の子どもの少なくなるため、色々な役が重なってくる	1
地域の治安、風紀	1
転勤の為、頼れる人がいない	1
働かなくてはならない子育て世代の仕事の少なさ（母親）	1
働きたくても働けない	1
同居の親との子育てに関する考え方の違い	1
発達障害（アスペルガー）の子どもの将来、学習への意欲向上をどうするか、高校への進学が出来るか不安	1

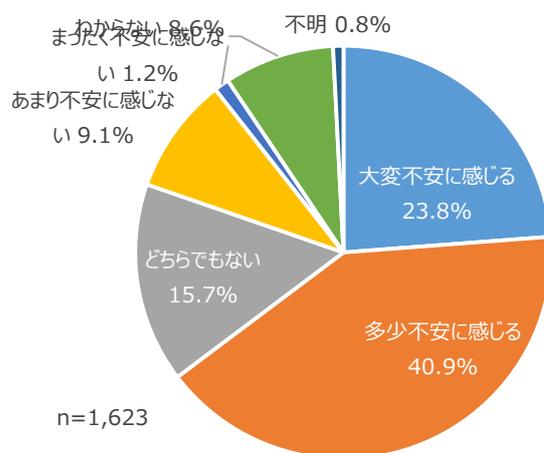
その他（つづき）	N
夫婦関係	1
父、母の体調不良	1
勉強方法	1
母の介護もしているので、子供達のケアが出来ているのか不安です	1
予防接種の怖さ。食の安全	1
療育、発達障害、子供の自立	1
交通手段、学校での人間関係、いじめ、医療費負担（中学3年まで出してほしい）	1
無回答	5
計	60

問 24 : 居住地域の将来の経済的展望 (SA)

居住地域の将来の経済的展望について、「多少不安を感じる」(40.9%)と「大変不安を感じる」(23.8%)を合わせた“不安あり”は64.7%となり、6割以上の人不安を感じていることが分かる。

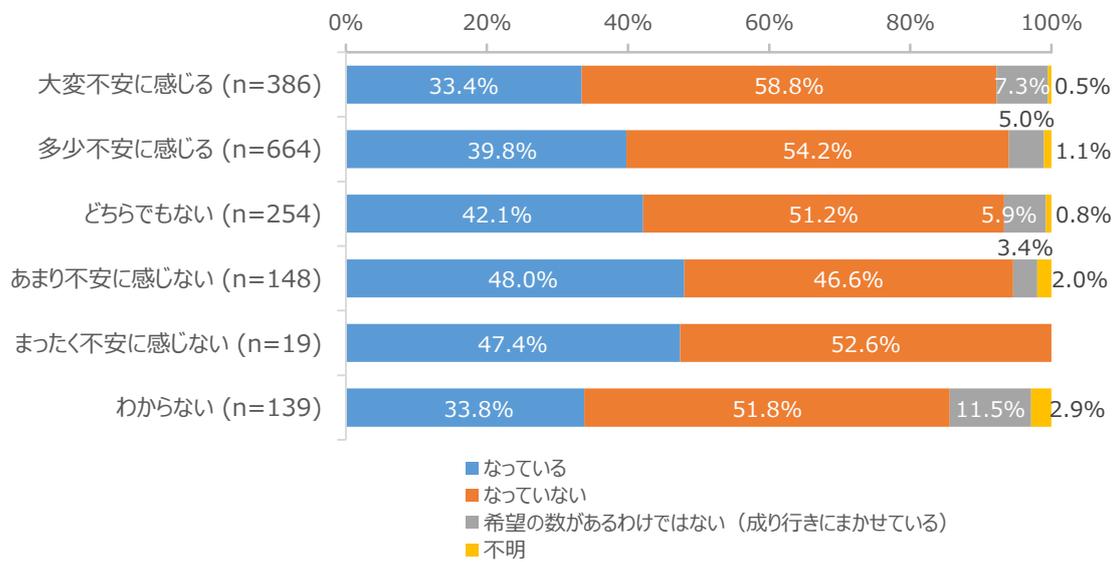
居住地域の将来の経済的展望と実際の子どもの数が希望どおりになっているかどうかを確認してみると、不安を感じる人よりも不安を感じない人の方が実際の子どもの数が希望どおりになっている人が多い。

問24：居住地域の将来の経済的展望 (SA)



	N	%
大変不安を感じる	386	23.8%
多少不安を感じる	664	40.9%
どちらでもない	254	15.7%
あまり不安を感じない	148	9.1%
まったく不安を感じない	19	1.2%
わからない	139	8.6%
不明	13	0.8%
サンプル数	1,623	100.0%

問24：居住地の将来の経済的展望 × 問29-1：実際の子どもの数は、希望どおりになっているか

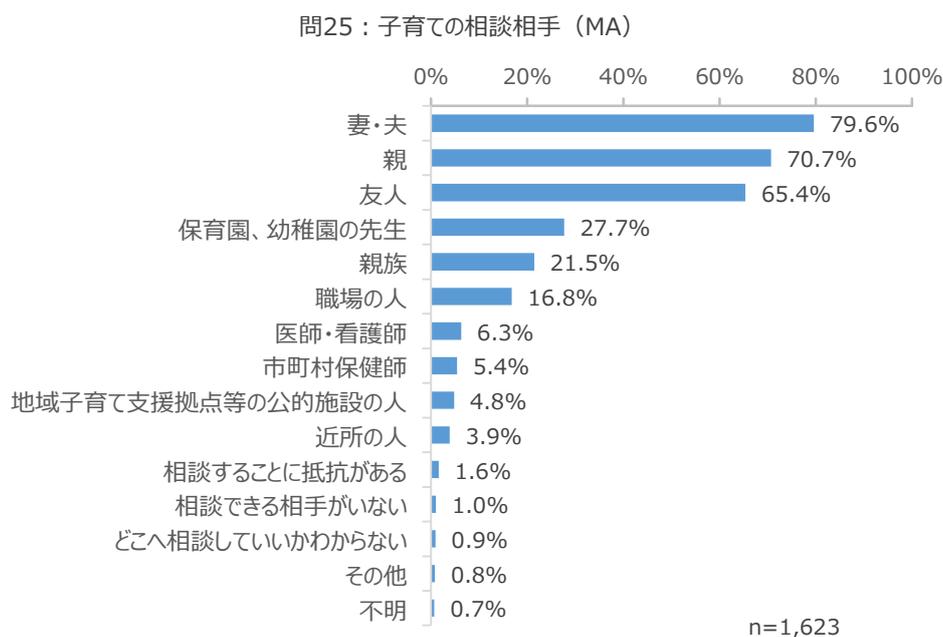


問 15 と同様に、子どもの数については、“物理的要因”だけでなく、“心理的要因”も影響を及ぼす一因と考えられる。したがって、将来の経済的展望に肯定的な考えを持つことができるような環境整備が必要であると思われる。

問 25 : 子育ての相談相手 (MA)

子育ての相談相手については、「妻・夫」と回答している人が 79.6%で最も多く、次いで「親」(70.7%)、「友人」(65.4%)となっており、親族など身近な人に相談している傾向がうかがえる。

圏域別では、峡中圏域、峡南圏域、富士・東部圏域において、「妻・夫」と回答した人が8割を超えている。また、峡南圏域では「親」よりも「友人」と回答した人の割合が、わずかではあるが上回っている。



	N	%
妻・夫	1,292	79.6%
親	1,147	70.7%
友人	1,061	65.4%
保育園、幼稚園の先生	450	27.7%
親族	349	21.5%
職場の人	273	16.8%
医師・看護師	102	6.3%
市町村保健師	88	5.4%
地域子育て支援拠点等の公的施設の人	78	4.8%
近所の人	63	3.9%
相談することに抵抗がある	26	1.6%
相談できる相手がない	17	1.0%
どこへ相談していいかわからない	15	0.9%
その他	13	0.8%
不明	11	0.7%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
本で学ぶ、テレビ	1
知人（専門家）	1
相談しません。子供の反応によって対応を変えます	1
心理士	1
助産婦	1
児童相談所、療育施設	1
市や県に相談しても全然役に立たなかった	1
市の発達相談	1
学校の先生	1
習い事の先生	1
ファミリーサポートの預け先の方	1
カウンセラー	2
計	13

問 1：圏域 × 問 25：子育ての相談相手

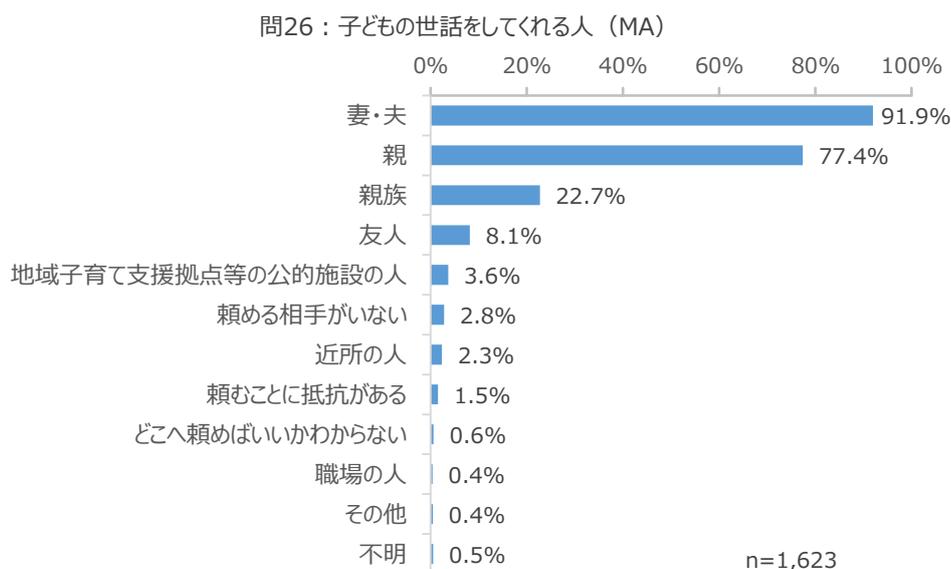
	峡中 (n=770)	峡東 (n=267)	峡南 (n=116)	峡北 (n=112)	富士・東部 (n=349)	不明 (n=9)	全体 (n=1,623)
妻・夫	81.8%	70.8%	80.2%	79.5%	81.9%	55.6%	79.6%
親	73.1%	65.9%	69.0%	76.8%	67.3%	77.8%	70.7%
親族	20.6%	21.3%	24.1%	18.8%	23.2%	33.3%	21.5%
友人	65.7%	61.4%	71.6%	67.0%	65.9%	33.3%	65.4%
近所の人	4.2%	2.6%	3.4%	1.8%	5.2%	0.0%	3.9%
医師・看護師	7.3%	6.7%	1.7%	3.6%	6.0%	11.1%	6.3%
職場の人	16.6%	18.4%	19.0%	11.6%	17.2%	11.1%	16.8%
保育園、幼稚園の先生	28.4%	28.8%	36.2%	31.3%	21.5%	22.2%	27.7%
市町村保健師	3.5%	4.9%	12.9%	5.4%	7.4%	11.1%	5.4%
地域子育て支援拠点等の 公的施設の人	4.4%	4.1%	6.9%	7.1%	4.9%	0.0%	4.8%
相談できる相手がない	1.3%	1.1%	0.9%	0.9%	0.6%	0.0%	1.0%
どこへ相談していいかわからない	0.9%	1.5%	0.9%	0.9%	0.3%	11.1%	0.9%
相談することに抵抗がある	1.9%	1.5%	1.7%	0.9%	0.9%	11.1%	1.6%
その他	0.4%	1.5%	0.9%	0.0%	1.4%	0.0%	0.8%
不明	0.6%	1.5%	0.0%	0.9%	0.3%	0.0%	0.7%

身近な人が相談相手となっている様子が見え、相談相手がないとの回答も見られ、相談相手の有無に関らず、精神的・心理的な負担軽減のための支援について、今後課題になるかもしれない。

問 26 : 子どもの世話をしてくれる人 (MA)

子どもの世話をしてくれる人について聞いたところ、「妻・夫」が 91.9%、次いで「親」(77.4%)、「親族」(22.7%) となっている。

圏域別では、峡東圏域を除き「妻・夫」と回答した人が9割を超えている。また、峡南圏域では「親」と回答した人の割合が他圏域と比較して高く、8割を超えている。



	N	%
妻・夫	1,492	91.9%
親	1,256	77.4%
親族	369	22.7%
友人	132	8.1%
地域子育て支援拠点等の公的施設の人	59	3.6%
頼める相手がない	45	2.8%
近所の人	38	2.3%
頼むことに抵抗がある	25	1.5%
どこへ頼めばいいかわからない	10	0.6%
職場の人	6	0.4%
その他	7	0.4%
不明	8	0.5%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
ファミリーサポート	2
療育施設	1
託児所の保育士等	1
習い事を一緒にしている 子どもの親	1
NPO 法人	1
無回答	1
計	7

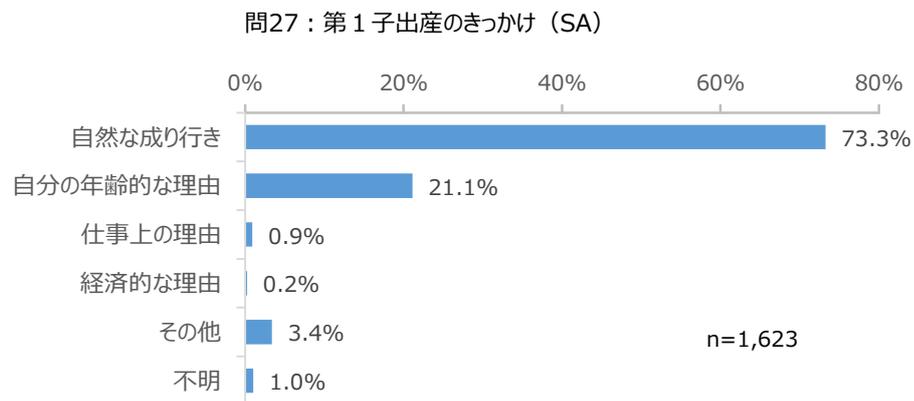
問 1：圏域 × 問 26：子どもの世話をしてくれる人

	峡中 (n=770)	峡東 (n=267)	峡南 (n=116)	峡北 (n=112)	富士・東部 (n=349)	不明 (n=9)	全体 (n=1,623)
妻・夫	92.1%	88.4%	92.2%	93.8%	93.4%	100.0%	91.9%
親	76.1%	76.0%	82.8%	76.8%	79.7%	77.8%	77.4%
親族	20.8%	22.8%	29.3%	16.1%	26.9%	22.2%	22.7%
友人	7.0%	7.9%	12.1%	8.0%	9.7%	0.0%	8.1%
近所の人	2.1%	2.2%	1.7%	1.8%	3.4%	0.0%	2.3%
職場の人	0.0%	0.4%	1.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.4%
地域子育て支援拠点等の 公的施設の人	3.6%	3.0%	1.7%	6.3%	3.4%	22.2%	3.6%
頼める相手がない	3.2%	1.9%	1.7%	4.5%	2.0%	11.1%	2.8%
どこへ頼めばいいかわからない	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.6%	0.0%	0.6%
頼むことに抵抗がある	1.9%	1.1%	1.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.5%
その他	0.3%	0.4%	0.9%	0.9%	0.6%	0.0%	0.4%
不明	0.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%

問 25 と同様に、「妻・夫」、「親」、「親族」等と回答した割合が高く、子育ての支援については、身近な人が果たす役割が大きいと考えられる。

問 27 : 第 1 子出産のきっかけ (SA)

第 1 子の子の出産のきっかけは、「自然な成り行き」が73.3%、「自分の年齢的な理由」が21.1%とこの 2 項目で 9 割以上 (94.4%) を占めている。

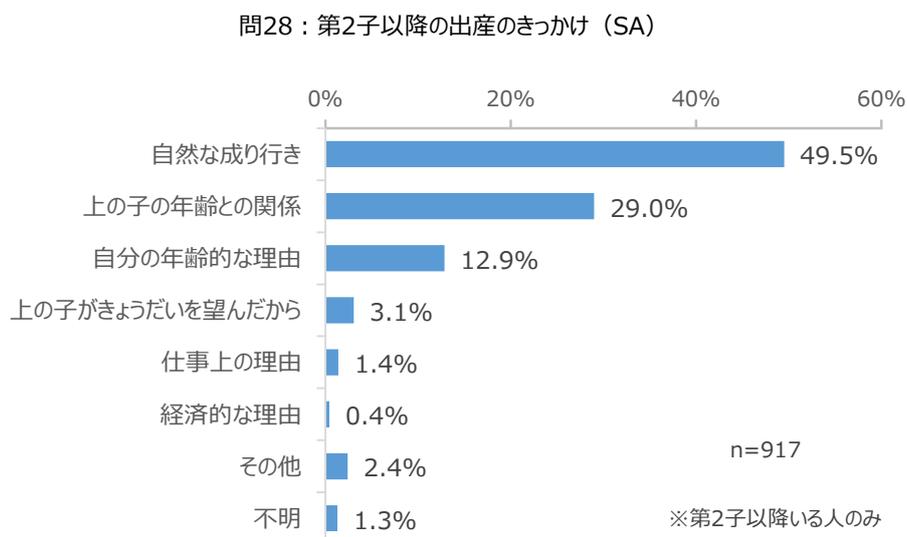


	N	%
自然な成り行き	1,189	73.3%
自分の年齢的な理由	343	21.1%
仕事上の理由	15	0.9%
経済的な理由	4	0.2%
その他	55	3.4%
不明	17	1.0%
サンプル数	1,623	100.0%

その他	N
子どもが欲しかったから	21
不妊治療の結果	10
欲しくても出来なかった	2
さずかり婚	1
モラハラによるもの	1
一言で言い切れない	1
義母より毎月責められた	1
結婚し、準備が出来たため	1
持病があるので医者からの判断	1
自然な成り行きを希望したが、年齢的なこともあり、不妊治療のうえ、出産	1
自分達人生のタイミング。精神、経済的に成熟して迎える準備が出来たから	1
将来の希望	1
心が整った。夫婦共に	1
夫婦で考えて	1
聞かれている意味が分からない	1
無回答	10
計	55

問 28 : 第 2 子以降の出産のきっかけ (SA)

第 2 子以降の出産のきっかけでは、回答割合が高い順から「自然な成り行き」が 49.5%、「上の子の年齢との関係」が 29.0%、「自分の年齢的な理由」が 12.9%となっている。



	N	%
自然な成り行き	454	49.5%
上の子の年齢との関係	266	29.0%
自分の年齢的な理由	118	12.9%
上の子がきょうだいを望んだから	28	3.1%
仕事上の理由	13	1.4%
経済的な理由	4	0.4%
その他	22	2.4%
不明	12	1.3%
サンプル数	917	100.0%

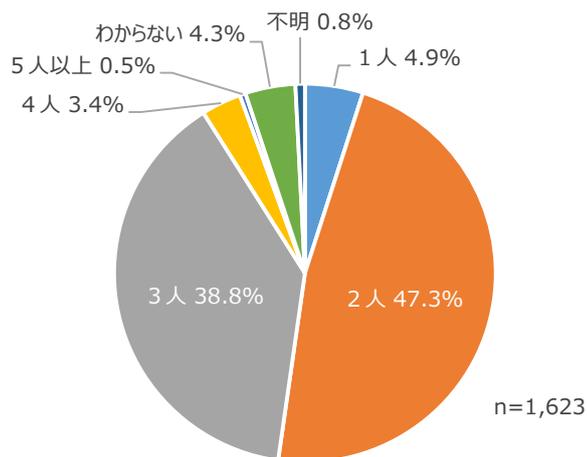
その他	N
欲しかった・欲しい	8
きょうだいが欲しかったので	2
夫が望んだため	2
2人くらいはと周りに言われ	1
こどもが2人欲しかったから	1
一人っ子はかわいいそうだから	1
子ども2人産んだため	1
自分の年齢と上の子の年齢を考え、ほしいと思ったから	1
総合的に見たタイミング	1
夫婦がきょうだいを望んだから	1
無計画	1
自分が上の子にきょうだいを希望した	1
無回答	1
計	22

問 29 : 希望する子どもの数 (SA)

希望する子どもの数は、「2人」と回答した人が47.3%で最も多く、次いで「3人」(38.8%)、「わからない」(4.3%)となっている。

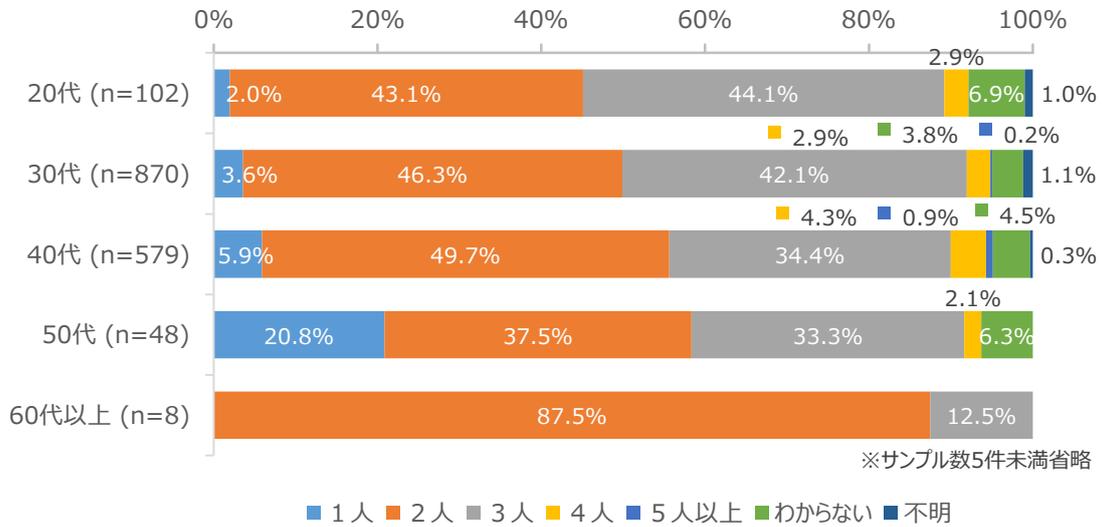
父母の年齢別では、年齢層が上がるにつれて希望する子どもの数が少なくなる傾向が見られる。

問29：希望する子どもの数 (SA)

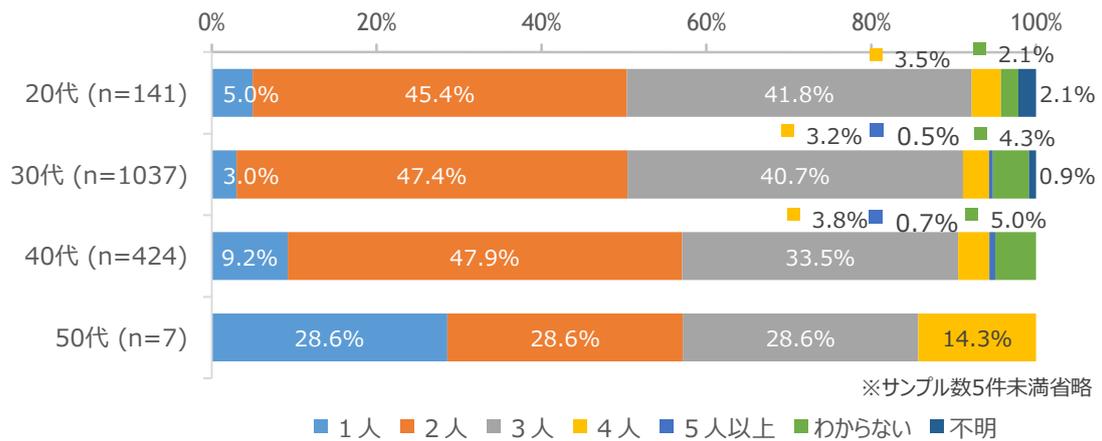


	N	%
1人	80	4.9%
2人	768	47.3%
3人	630	38.8%
4人	55	3.4%
5人以上	8	0.5%
わからない	69	4.3%
不明	13	0.8%
サンプル数	1,623	100.0%

問3：父の年齢 × 問29：希望する子どもの数



問3：母の年齢 × 問29：希望する子どもの数

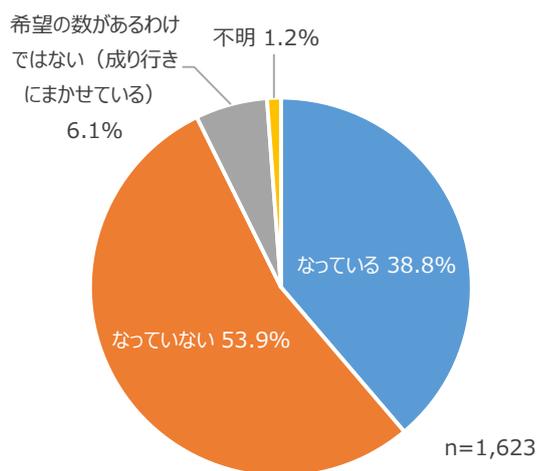


父母の年齢が若いほど希望する子どもの数が多いことから、希望する人が希望する人数の子どもを産み育てられるよう、特に若年層の環境整備が望まれる。

問 29-1 : 実際の子どもの数は、希望どおりになっているか (SA)

実際の子どもの数は、希望どおりに「なっていない」と回答した人が 53.9%で、希望どおりに「なっている」と回答した人 (38.8%) よりも多い。

問29-1 : 実際の子どもの数は、希望どおりになっているか (SA)

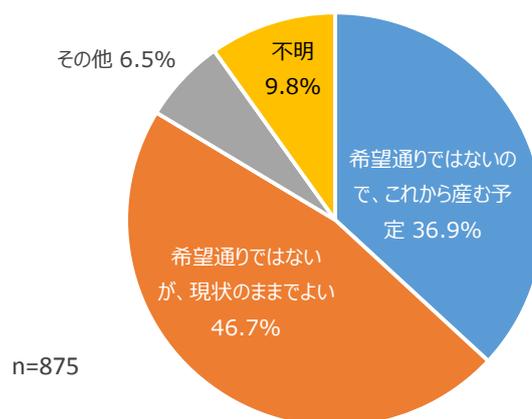


	N	%
なっている	630	38.8%
なっていない	875	53.9%
希望の数があるわけではない (成り行きにまかせている)	99	6.1%
不明	19	1.2%
サンプル数	1,623	100.0%

問 29-2：希望どおりになっていない人の今後の出産予定（SA）

実際の子どもの数が希望どおりになっていない人に、今後の出産予定について尋ねたところ、「希望通りではないが、現状のままでよい」が46.7%、「希望通りではないので、これから産む予定」が36.9%となっている。

問29-2：希望どおりになっていない人の今後の出産予定（SA）



※「実際の子どもの数が希望どおりになっていない」と回答した人

	N	%
希望通りではないので、これから産む予定	323	36.9%
希望通りではないが、現状のままでよい	409	46.7%
その他	57	6.5%
不明	86	9.8%
サンプル数	875	100.0%

その他	N
悩んでいる	9
検討中	7
成り行きにまかせる	5
経済状況をみながら検討	2
状況次第	2
どちらでもよい	1
夫婦の意見の食い違い	1
欲しいから産めるほど楽なものではない	1
里子を迎える予定	1
未定	14
無回答	14
計	57

問 29-3 : 希望する子どもの数になっていない理由 (MA)

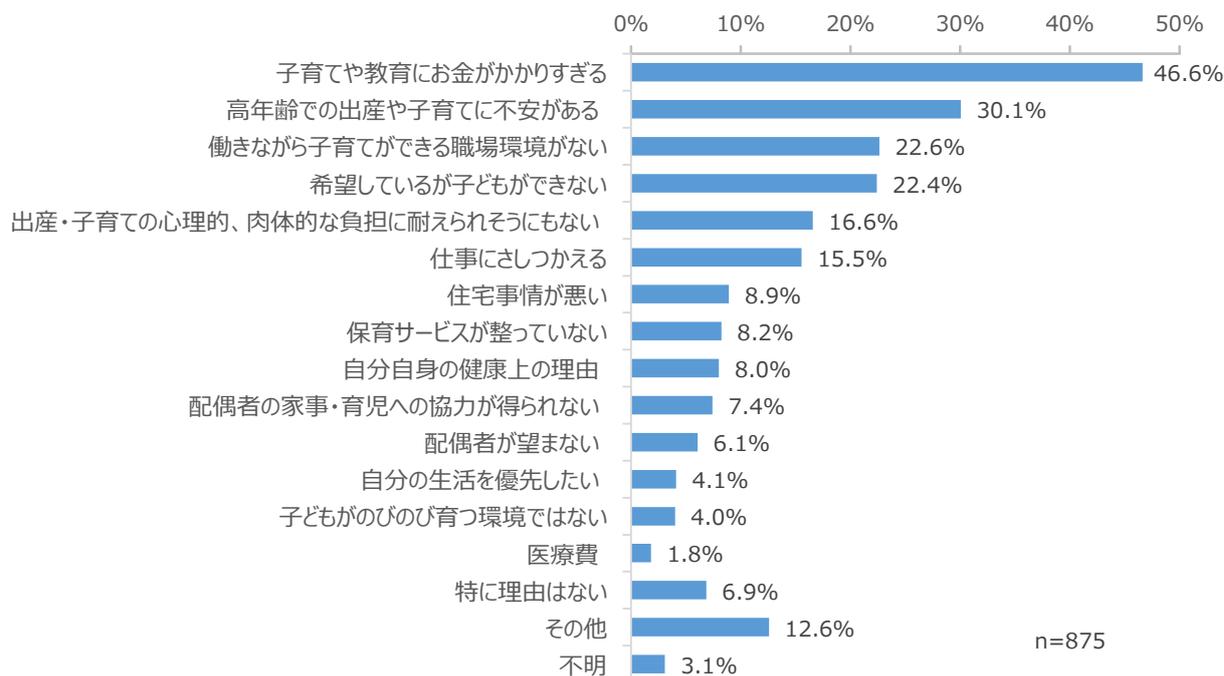
実際の子どもの数が希望どおりになっていない人にその理由について当てはまるものを5つまで選んでもらったところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」を挙げる人が最も多く46.6%である。これに次いで、「高年齢での出産や子育てに不安がある」(30.1%)、「働きながら子育てができる職場環境がない」(22.6%)といった項目が多く選ばれている。

父の年齢別では、40～60代の5割以上が「高年齢での出産や子育てに不安がある」、30～50代の4割以上が「子育てや教育にお金がかかりすぎる」とそれぞれ回答している。

母の年齢別では、20～40代の4割以上が「子育てや教育にお金がかかりすぎる」、20～30代の2割以上が「働きながら子育てができる職場環境がない」と回答している。そして、40代では65.9%が「高年齢での出産や子育てに不安がある」と回答している。

子どもの年齢別では、全ての年齢層で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も回答割合が高く、4割から7割弱を占めている。

問29-3：希望する子どもの数になっていない理由 (MA)



※「実際の子どもの数が希望どおりになっていない」と回答した人

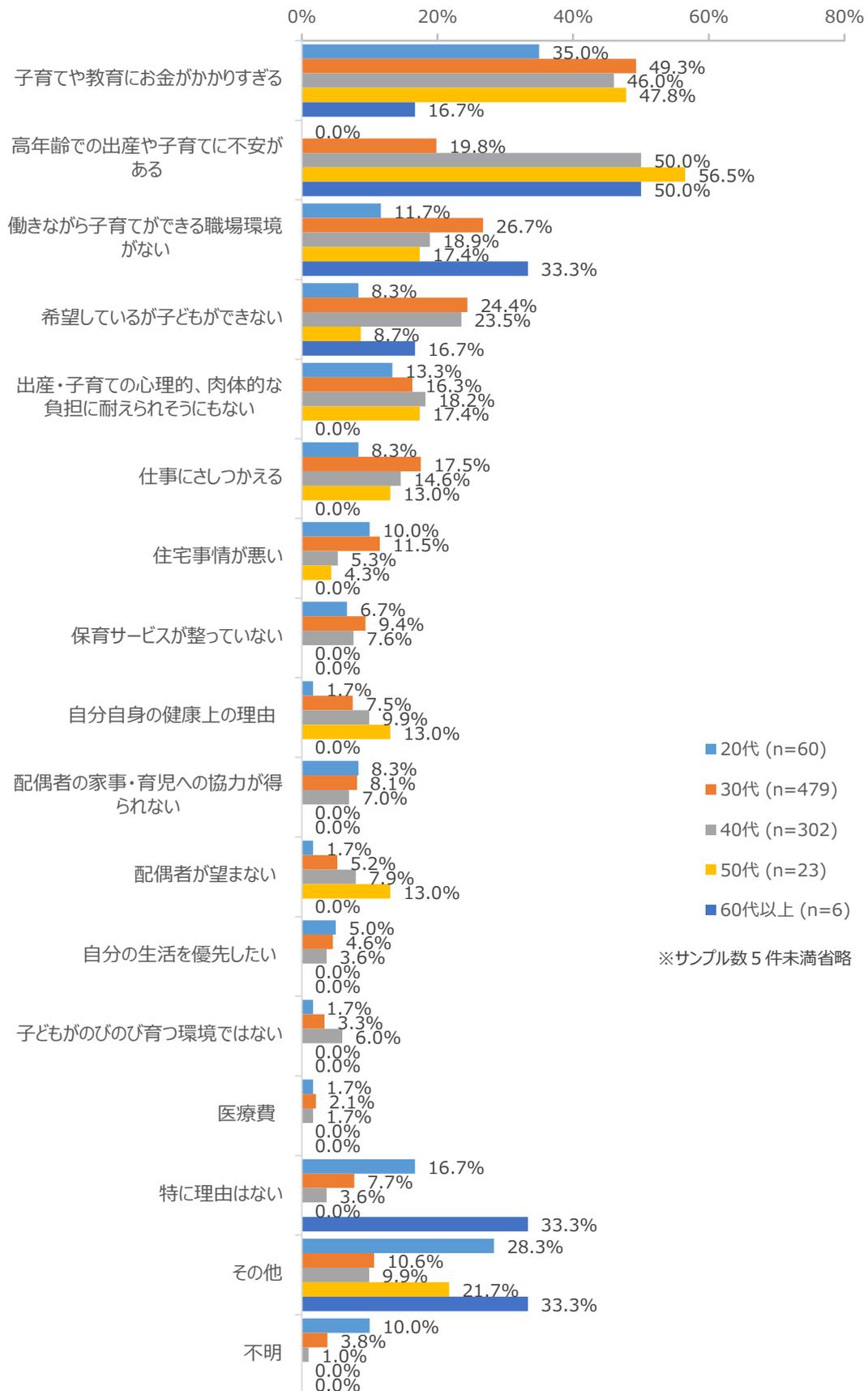
	N	%
子育てや教育にお金がかかりすぎる	408	46.6%
高年齢での出産や子育てに不安がある	263	30.1%
働きながら子育てができる職場環境がない	198	22.6%
希望しているが子どもができない	196	22.4%
出産・子育ての心理的、肉体的な負担に耐えられそうにもない	145	16.6%
仕事にさしつかえる	136	15.5%
住宅事情が悪い	78	8.9%
保育サービスが整っていない	72	8.2%
自分自身の健康上の理由	70	8.0%
配偶者の家事・育児への協力が得られない	65	7.4%
配偶者が望まない	53	6.1%
自分の生活を優先したい	36	4.1%
子どもがのびのび育つ環境ではない	35	4.0%
医療費	16	1.8%
特に理由はない	60	6.9%
その他	110	12.6%
不明	27	3.1%
サンプル数	875	100.0%

その他	N
出産したばかり	25
経済的理由	6
これから産む予定	5
上の子どもが小さいから	3
第1子がまだ小さいため	3
不妊治療にもお金がかかる	3
離婚してしまった	3
2人続けて障害をもって生まれました。3人目もなる確率が高いので	1
2人目の出産時に、1人目を預かってくれる人がいない	1
3回の育休でも毎回プーイング、非難を受けた	1
いずれできればいいし、できなかつたらできなかつたで良いと思っている	1
お金がかかり、大学まで行かせると思うと考える。又、保育期の預け先。親の協力が欲しいが得られない為	1
仕事の都合	1
タイミングが難しい。第1子が小学生になると里帰りが難しい。妊娠したときの負担（つわり、子育て、パパがどこまで助けてくれるか？）	1
タイミングを失ったため	1
ドクターストップ	1
年齢的な理由	1
まだ2人目妊娠中の状態のため	1
まだまだ1人目に手がかかり、2人目を考えられない	1
何度も育休を取りづらい。自宅をリフォームする余裕なし	1
希望通りにはなっていないが、状況によっては3人目が欲しい	1
近い将来。介護が必要になる年寄りが同居している為、出産、育児、家事を1人でこなす自信がない	1
現在、2人の子どもがいるが、子どもの年齢間隔を2年ずつ空けたいから	1
現在はなっていないが、今妊娠中なので希望通りになる予定	1

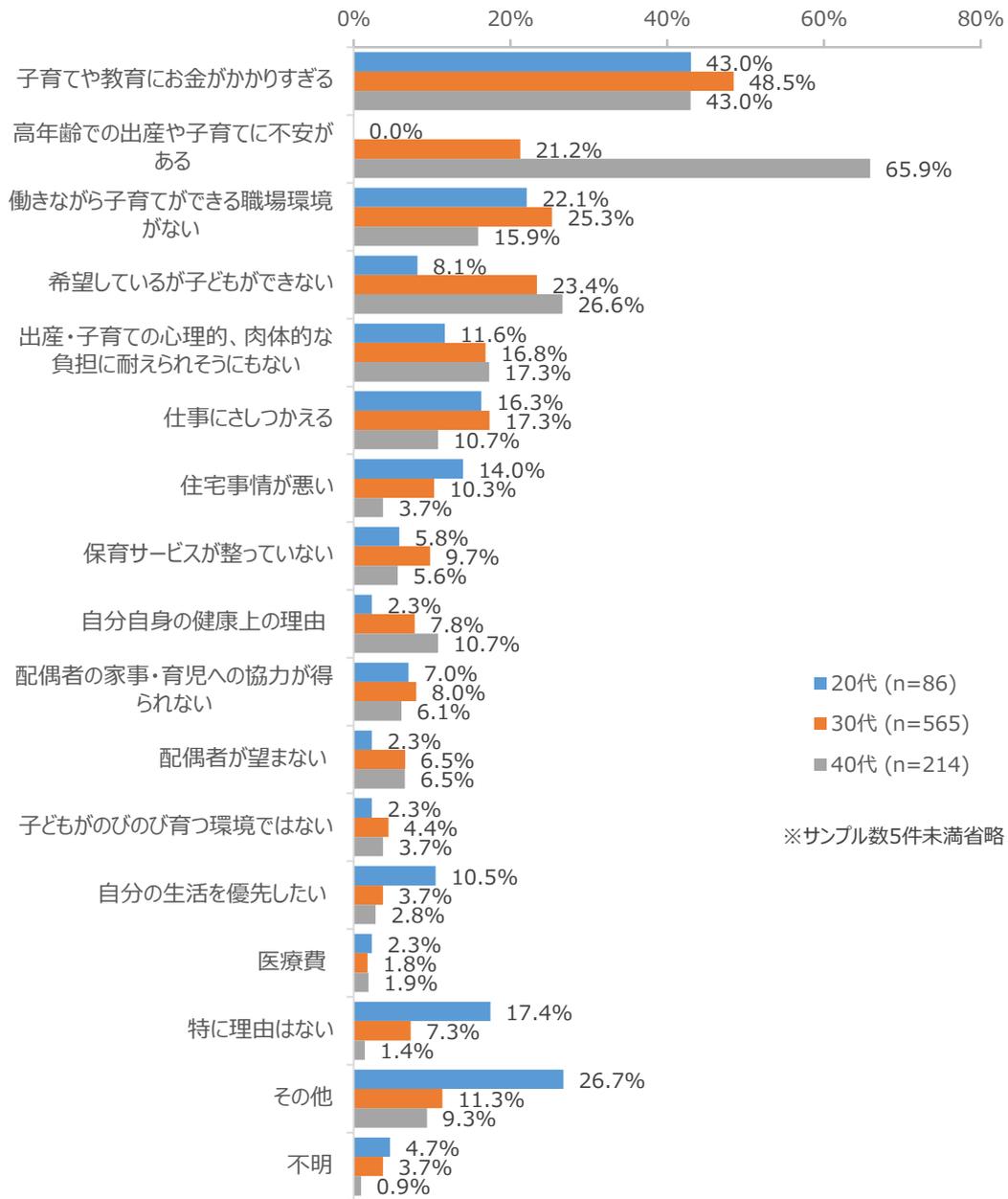
その他（つづき）	N
今年の末に新居を建てるので、第2子を今産んだら、経済的に余裕がなくなるので、落ち着いたら考えたい	1
仕事が短時間のため余裕がなく、次の子を育てていける状態ではない	1
仕事のこと、体力的なこと、今すぐは考えられない	1
子どもが病気のため、2人目は育てられない	1
子どもは欲しいが、性欲がない	1
子作りする余裕がない	1
自然の成り行きで1人多くなった	1
主人の持病	1
出産した月によって保育園に預けられない可能性があるため、予定日調整。職場を1年以上休めない。本当は2歳差が良かったが、保育園に預けられないと働けない為	1
出産に際しての不安がある	1
女の子2人で良かったが、4人になったから	1
上の子とは違う性別の子供が欲しい。今はその準備期間	1
上の子どもがある程度大きくなったら、次の子が欲しい	1
上の子供たちとの関係性が落ち着いた頃に	1
職場のタイミング	1
親の援助が見込めない	1
政治不信、地球温暖化	1
祖父母が遠方で支援してもらいたいが難しい	1
卒乳できていなく、生理が来ないため	1
第1子が年少になったら	1
第1子が不妊治療で授かったので	1
第1子の子育て中のため	1
第1子出産が、すでに高齢出産だったため	1
第2子が双子だったため、予定より増えた	1
第2子は病気で死亡したため	1
帝王切開で2人産んだので、体の負担が大きい為	1
配偶者がいない	1
配偶者が求職中のため、収入がないから	1
非正規雇用なので、出産の場合退職となり、再就職に不安が残る。老後の貯蓄もままならない	1
病院の方より、帝王切開なので、4人以上は無理といわれた	1
不妊治療のお金と時間がかかる	1
不妊治療の助成金が2人目以降ないに等しいため	1
夫の仕事が忙し過ぎ。夫婦の時間が取れない	1
夫の親と同居しているが、介護が始まっている。実はもう1人欲しかった	1
夫の年齢（高年齢）	1
忙しい	1
来年1月出産予定	1
来年第二子出産予定。年齢的にこれから	1
無回答	7
計	110

		実際の子どもの数が希望どおりにない理由																	
		経済的理由				年齢・身体的理由			育児負担	配偶者に関する理由		その他							
実際子ども数が希望子ども数を下回る組み合わせ	実際子ども数が希望を下回る夫婦の内訳(%)	サンプル数	子育てや教育にお金がかかりすぎる	仕事にさしつかえる	住宅事情が悪い	医療費	高齢での出産や子育てに不安がある	希望しているが子どもができない	自分自身の健康上の理由	出産・子育ての心理的、肉体的な負担に耐えられそうにない	配偶者の家事・育児への協力が得られない	配偶者が望まない	働きながら子育てができる職場環境がない	保育サービスが整っていない	特に理由はない	自分の生活を優先したい	子どもがのびのび育つ環境ではない	その他	不明
希望2人以上実際1人	59.8	523	34.6	12.2	7.3	1.7	26.8	30.8	9.0	11.1	7.5	5.5	18.0	7.6	7.6	2.9	3.3	12.0	3.3
希望3人以上実際2人	34.3	300	62.7	21.7	10.3	1.7	35.3	11.7	6.7	26.0	7.0	7.3	29.3	10.0	6.3	6.0	5.3	7.7	2.3
希望4人以上実際3人以上	3.0	26	80.8	19.2	11.5	3.8	53.8	7.7	7.7	19.2	15.4	7.7	34.6	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0
不明	3.0	26	65.4	15.4	23.1	3.8	11.5	7.7	15.4	19.2	3.8	0.0	30.8	7.7	3.8	11.5	7.7	11.5	11.5
総数	100.0	875	46.6	15.5	8.9	1.8	30.1	22.4	8.0	16.6	7.4	6.1	22.6	8.2	6.9	4.1	4.0	12.6	3.1

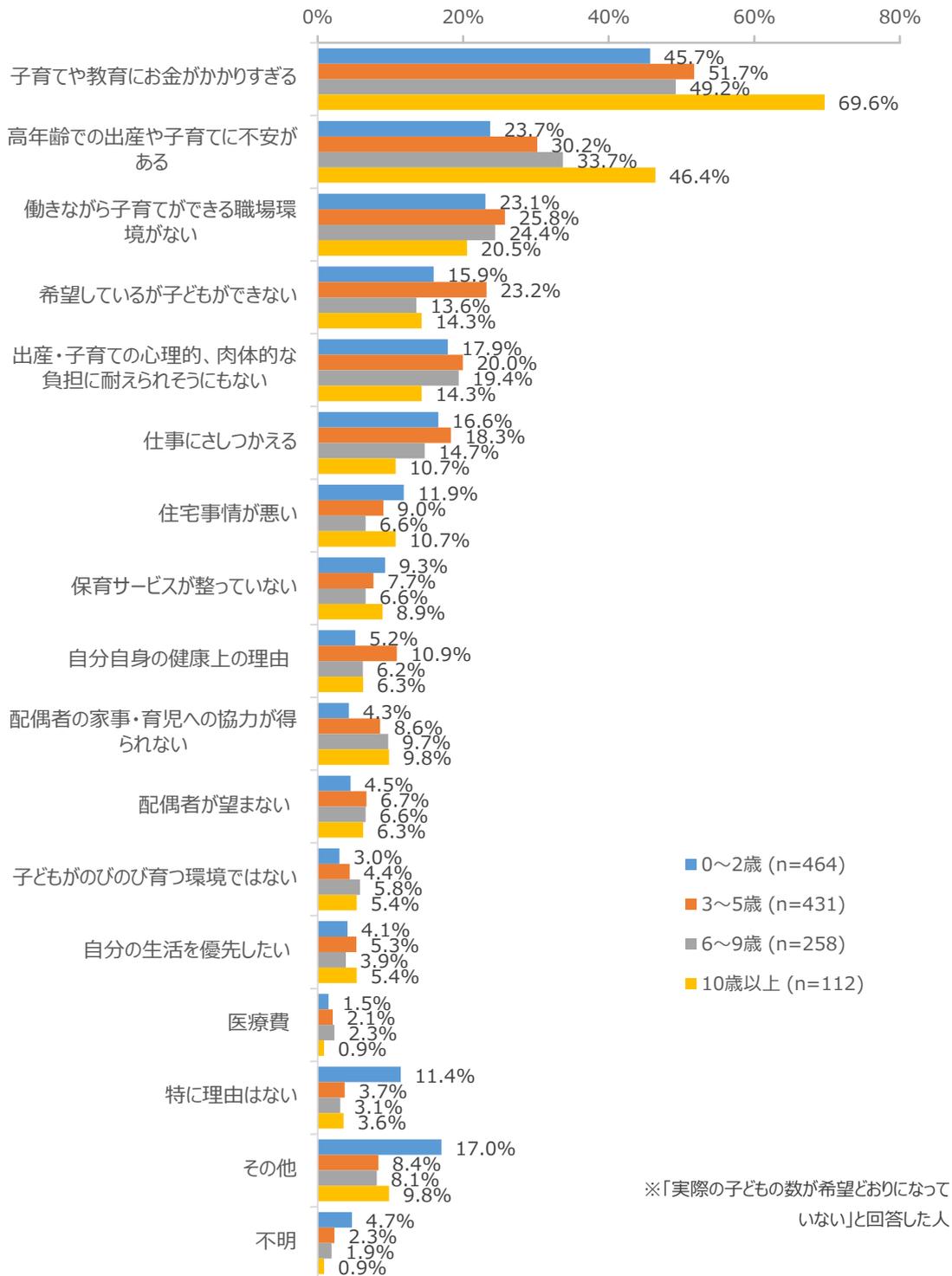
問3：父の年齢 × 問29-3：希望する子どもの数になっていない理由



問3：母の年齢 × 問29-3：希望する子どもの数になっていない理由



問5-2：子どもの年齢 × 問29-3：希望する子どもの数になっていない理由



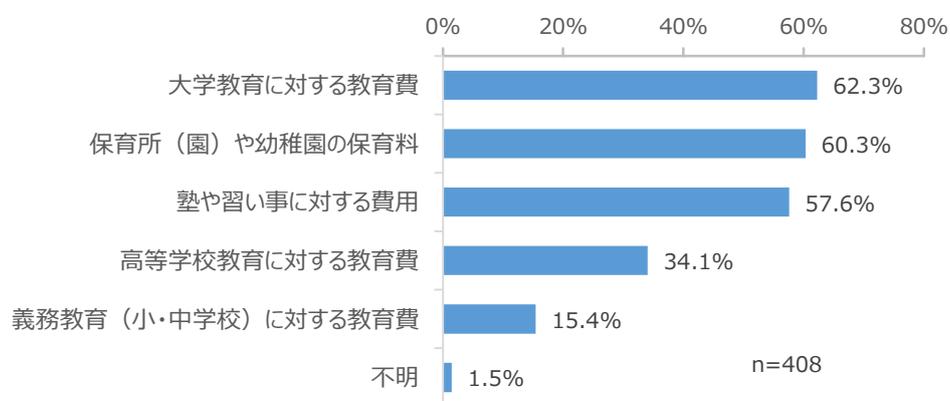
父母の年齢別及び子どもの年齢別で整理すると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」、「高年齢での出産や子育てに不安がある」、「希望しているが子どもができない」、「出産・子育ての心理的、肉体的負担に耐えられそうもない」、「働きながら子育てできる環境がない」といった項目がいずれも上位を占めており、これらの状況について検討していく必要があると思われる。

問 29-4 : 子育てや教育にお金がかかりすぎる具体的な内容 (MA)

子育てや教育にお金がかかりすぎると回答した人にその具体的な内容について3つまで選んでもらったところ、「大学教育に対する教育費」を挙げた人が62.3%で最も多い。次いで「保育所（園）や幼稚園の保育料」（60.3%）、「塾や習い事に対する費用」（57.6%）といった回答が続いている。

子どもの年齢別では、子どもの年齢が「0～2歳」の世帯の65.6%は「保育所（園）や幼稚園の保育料」を挙げており、当該事項の負担感は大い。

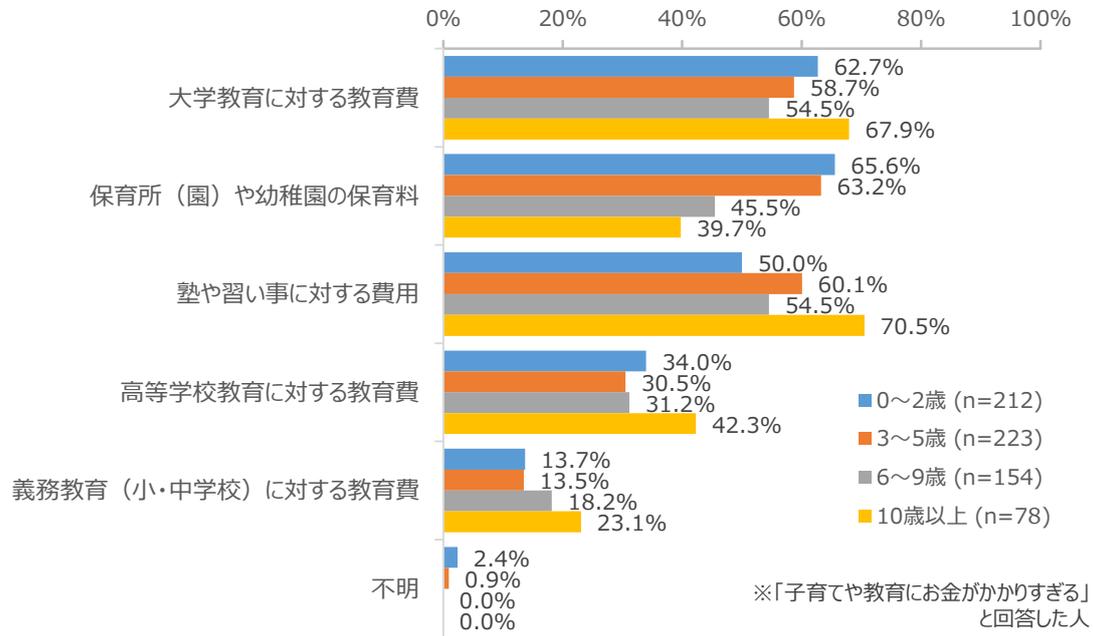
問29-4：子育てや教育にお金がかかりすぎる具体的な内容 (MA)



※「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した人

	N	%
大学教育に対する教育費	254	62.3%
保育所（園）や幼稚園の保育料	246	60.3%
塾や習い事に対する費用	235	57.6%
高等学校教育に対する教育費	139	34.1%
義務教育（小・中学校）に対する教育費	63	15.4%
不明	6	1.5%
サンプル数	408	100.0%

問5-2：子どもの年齢 × 問29-4：子育てや教育にお金がかかりすぎる具体的な内容



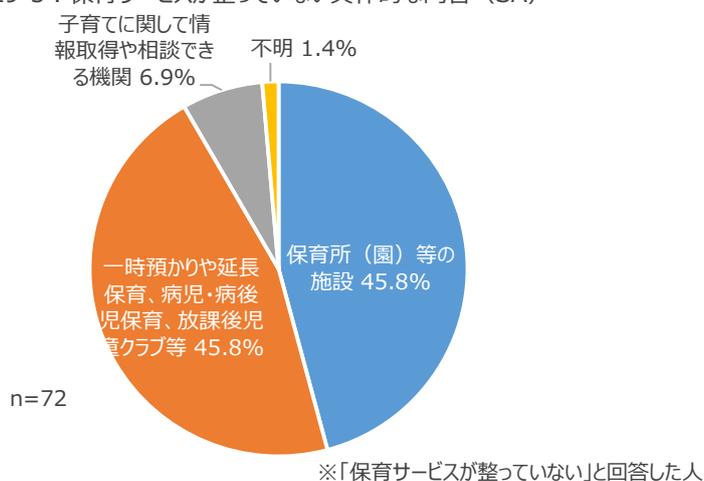
子どものライフステージごとに子育てや教育にお金がかかりすぎる具体的な内容が変化しているため、子育て支援を検討する際は、この点を考慮することが重要であろう。

問 29-5 : 保育サービスが整っていない具体的な内容 (SA)

保育サービスが整っていないと回答した人に、その具体的な内容について尋ねたところ、「保育所（園）等の施設」及び「一時預かりや延長保育、病児・病後児保育、放課後児童クラブ等」がそれぞれ45.8%で最も高く、この2項目で91.7%と9割を超えている。

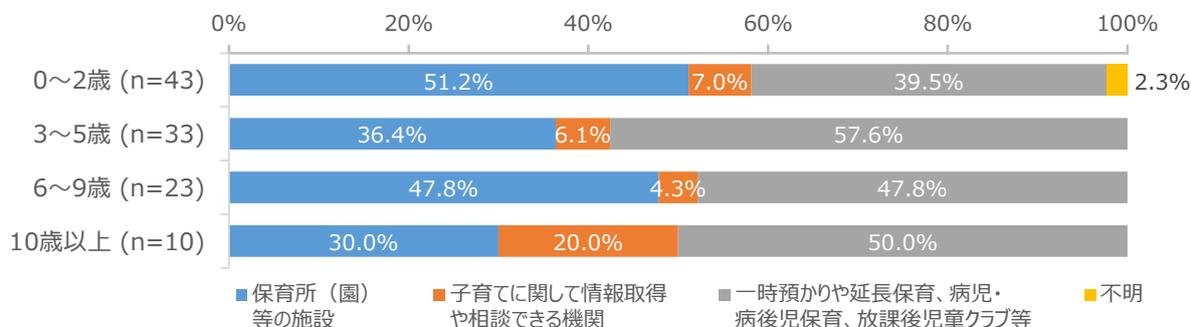
子どもの年齢別では、「保育所（園）等の施設」が「0～2歳」（51.2%）、「一時預かりや延長保育、病児・病後児保育、放課後児童クラブ等」は「3～5歳」（57.6%）、「子育てに関して情報取得や相談できる機関」は、「10歳以上」（20.0%）でそれぞれ回答割合が高い。

問29-5：保育サービスが整っていない具体的な内容 (SA)



	N	%
保育所（園）等の施設	33	45.8%
一時預かりや延長保育、病児・病後児保育、放課後児童クラブ等	33	45.8%
子育てに関して情報取得や相談できる機関	5	6.9%
不明	1	1.4%
サンプル数	72	100.0%

問5-2：子どもの年齢 × 問29-5：保育サービスが整っていない具体的な内容



子どもの年齢により、保育サービスのニーズも変化しているので、こうしたニーズに適した子育て支援を吟味していくことが求められる。

調査結果の総括

1. はじめに

我が国の人口は、平成 17 年に減少局面に入り、特に地方での人口減少は、労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、地方の経済規模を縮小させる。

山梨県において子どもの数が減少し、昭和 40 年は 12,721 人であったが、平成 16 年は 7,527 人、平成 26 年は 6,063 人まで減少している。

このような状況において、山梨県においても希望する人が、安心して子どもを産み育てることのできる社会の実現に向けて、今後山梨県で取り組む子育て支援施策の基礎資料とするため、今回山梨県内の子育て家庭を対象とした「山梨県子育て環境に関する県民アンケート調査」（以下、「本調査」という。）を実施した。その結果を踏まえ、子育て環境の現状、課題、今後の施策の方向等について考察する。

2. 「都市と地方における子育て環境に関する調査」との比較

本調査の設計において、「都市と地方における子育て環境に関する調査」（平成 24 年 3 月 内閣府。以下、「内閣府調査」という。）を参照した。当該調査では、子どもを産み育てやすくしている要因として、「（１）親族・地域の絆」、「（２）子ども・子育てを大切にしようとする価値観・意識」、「（３）子育て費の負担感」、「（４）地域の経済・雇用」の 4 点が挙げられている。内閣府調査の結果との比較のため、本調査の結果をこれら 4 つの視点で整理してみる。

（１）親族・地域の絆

- 子どもを産み育てやすくしている要因の一つ目として「親族・地域の絆」を取り上げる。本調査では、妻や夫の両親（子どもから見ると祖父母）からの子育て支援の状況について聞いたところ、「よく支援をしてもらっている」と「とてもよく支援をもらっている」を合わせた“支援あり”の回答者割合が 75.3%と 7 割以上が妻や夫の両親から、様々な子育て支援をもらっている。“支援あり”と回答した人の割合を圏域別で見ると、峡南圏域が 84.5%で最も高く、次いで富士・東部圏域の 79.7%、峡北圏域の 75.0%、峡東圏域の 73.4%、峡中圏域の 72.6%である。また、親からの支援と子どもの数との関係では“支援あり”と回答した夫婦の実際の子どもの数は、1.75 人である。一方、「あまり支援をもらっていない」と「まったく支援をもらっていない」を合わせた“支援なし”の夫婦子どもの数は、1.70 人となっており、“支援あり”の方が実際の子どもの数は多い結果になっている【問 17】。具体的な支援内容としては、「子どもの相手・預かり」、「物資（農産物など）の支援」、「食事の支度」、「子どもの送り迎え」などが挙げられている【問 17-1】。
- 子育ての相談や子どもの世話をしてくれる人として、配偶者、親、友人、親族などと回答している人が多く、近親者の果たす役割は大きいと考えられる【問 25】。
- 内閣府調査においても、親族・地域の子育て支援は、子育て支援施設・サービスと補完的な関係にあり、願わくは両者があることが望ましいと結論付けている。保育所に子どもを預けている人でも、子どもが

熱を出して保育所を休むときや、残業等のために保育時間に迎えに行くことができない場合、親の代わりに祖父母等が子どもを送迎し、子どもの相手をしてくれれば、親の負担が減ることになるからである。本調査の結果においても同様のことが言えそうである。

(2) 子ども・子育てを大切にしようとする価値観・意識

- 子ども・子育てを大切にしようとする価値観・意識は、強いものであった。「子育ては大変だが、子どもはかけがえのない大切な存在である」という意見に対し、自分の考えが「当てはまる」と「やや当てはまる」を合わせた“当てはまる”と答えた割合は、98.3%と非常に高かった。そして、このような考えを持っている人は、欲しい子どもの数及び実際の子どもの数共に多くなっている【問 15】。内閣府調査でも同様の傾向が見られる。子育てには、肉体的・精神的負担を伴うという側面があるものの、「子どもはかけがえのないもの」という想いの強さが子どもを持つ動機の一つと考えられる。
- また、「結婚したら子どもを持つのは自然な流れである」という意見に対して、自分の考えが「当てはまる」と「やや当てはまる」を合わせた“当てはまる”と答えた割合は、54.0%と過半数を超えた。また、「どちらともいえない」が 34.1%である。そして、“当てはまる”度合いが高い人ほど、欲しい子どもの数及び実際の子どもの数が多くなっていることから、当該価値観も子どもの数に影響を与えていると考えられる【問 15】。また、子どもを持つか否かについては選択の自由があるため、例えば「どちらともいえない」と回答している人が3割程度など、当事者の考え方により結果が異なると思われる。内閣府調査でも同じ考察がなされている。

(3) 子育ての負担感

- 子育て費の負担感では、「保育料」が 47.8%と最も高く、5割近くを占めている。次いで、「学校外教育費（塾、習い事など）」、「生活用品費」、「子どものための預貯金・保険」となっている。圏域別で見ると、どの圏域においても「保育料」と回答している人が最も多い。地域ごとに差異がある項目は、「学校外教育費（塾、習い事など）」で、峡中圏域、富士・東部圏域に比較的多い。峡南圏域では「衣服・服飾・雑貨費」、峡東圏域では、「食費」が回答の上位を占めている【問 22】。
- 実際の子どもの数が希望どおりになっていない人にその理由について当てはまるものを選んでもらったところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」を挙げる人が 46.6%で最も多かった。このことから、子育てにかかる費用負担が子ども数に影響を及ぼしている状況がうかがえる【問 29-3】。

(4) 地域の経済・雇用

- 内閣府調査によると、地域の将来の経済的展望に不安を感じていない人の方が感じている人と比較して、多くの子どもを持ちたいと思っているという結果が出ている。本調査において、居住地域の将来の経済的展望と実際の子どもの数が希望どおりになっているかどうかを確認してみると、不安を感じる人よりも不安を感じない人の方が実際の子どもの数が希望どおりになっている傾向が見られる【問 24】。

- 父の就労状況と子どもの数との関係を見ると、非正規職員に比べ、正規職員の方が「欲しい子どもの数」は多い。そして、圏域別では、峡中圏域、峡北圏域、富士・東部圏域は非正規職員に比べ、正規職員の方が「欲しい子どもの数」及び「実際の子どもの数」共に多い【問 8(1)】。
- 父の年収と子どもの数との関係を見ると、年収が高い人の方が「実際の子どもの数」が多い傾向にある【問 7】。
- 子育てをしていて負担・不安に思うことを選んでもらったところ、「子どもが病気の時」が 54.7%、「将来予想される子どもにかかる経済的負担」が 53.4%、「将来の経済・社会状況（子どもを取り巻く環境）」が 51.9%とこの 3 項目を選択している人は 5 割を超え、上位を占めている【問 23】。
- 以上まとめると、地域経済について不安を抱く人は多く、そのことが実際の子どもの数に影響を及ぼす要因の一つであることが類推される。さらに、父の年収が高いと実際の子どもの数が多い傾向が見られていることを鑑みると、内閣府調査でも述べられているとおり、希望する数だけ子どもを産み育てるには、その家庭にそれを可能にするだけの安定した経済的基盤が必要であり、実際に持つ子どもの数は、経済及び雇用の問題に大きく左右されると推定される。

3. アンケート結果の分析

本調査は、山梨県で取り組む子育て支援施策の基礎資料とすることを目的としているため、次の4つの分類を軸に質問項目を設定した。以下、この分類ごとにアンケート結果の分析を行う。

(1) 育児休業取得期間とその理由及び保育料の負担軽減について

- 育児休業を取得した人と現在取得中の人を合わせた“育児休業取得者”は 48.8%、取得していない人は 49.1%と拮抗している。子どもの年齢別では、「0～2 歳」の子どもがいる人の“育児休業取得者”の割合は 67.1%となっている。一方、3 歳以上の子どもがいる人は、育児休業を取得していない人が 5 割超となっている【問 11】。
- 育児休業を取得した人に実際の取得期間を聞いたところ「7～12 カ月」と答えた人が最も多く 52.0%、次いで「13～18 カ月」の 17.0%、「6 カ月以内」の 11.0%となっている。一方、育児休業の希望の取得期間（本当はこれだけ休みたかったと思う期間）は、回答者が多い順に「7～12 カ月」（31.5%）、「13～18 カ月」（23.6%）、「31～36 カ月」（18.5%）となっている【問 11-2】。
- 育児休業の取得期間が実際と希望では異なる理由を見ると、希望より短い人の理由では、子どもの年齢が「0～2 歳」の場合は、「職場から要請されたため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が共に 35.1%で最も高く、次いで「希望する保育所（園）に入るため」の 29.8%となっている。「3～5 歳」の場合は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 30.0%で最も高く、次いで「職場から要請されたため」の 29.3%、「希望する保育所（園）に入るため」の 24.0%などとなっている【問 11-3(1)】。
- 保育料の負担が軽減される場合の育児休業取得期間や就労希望について、母の年齢別で見ると、「新たに就労する」が 20 代は 41.1%、30 代は 38.4%、40 代は 31.1%などとなっており、50 代を除き当該項目の回答割合が最も高い。また、「育児休業を短縮する」と回答した人も 50 代を除き各年代共に 4～8%程度いる【問 12】。
- 保育料の負担が軽減され新たに就労する場合、子どもが何歳の時に就労しようとするか尋ねたところ、最も回答割合が高かったのは「子どもが 1 歳～2 歳未満」で 41.3%、次いで「子どもが 3 歳以上」の 24.7%、「子どもが 2 歳～3 歳未満」の 20.2%と続いている【問 12-1】。
- 保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む（第 2 子、3 子を産む）動機付けになると考える人は、52.9%と過半数を超えている。父母の年齢別では、20～30 代は、動機付けになると考える人が、動機付けにならないと考える人よりも多い。特に、20 代の父親は 64.7%、母親は 72.3%が動機付けになるとそれぞれ回答している【問 12-3】。
- 子育て費用の中で負担に感じている出費は、「保育料」と回答している人が 47.8%で最も多い【問 22】。そして、実際の子どもの数が希望通りでない理由として子育てや教育にお金がかかりすぎると回答した人のうち、子どもの年齢が「0～2 歳」の世帯の 65.6%は「保育所（園）や幼稚園の保育料」を挙げており、当該事項の負担感は大い【問 29-4】。

(2) 子育て情報の入手先と満足度

- 子育て支援に関する情報を普段どこから入手するか聞いたところ、最も多い回答は「市町村が発行する広報やパンフレット」で 72.9 %、次いで「友人、知人、近所の人、子育てサークルの仲間」の 56.8%、「小学校、保育所（園）、幼稚園」の 51.6%となっている。インターネット等が普及している現代においても、依然として多くの人が広報やパンフレット等の紙媒体や友人、知人等人との接点、さらに、小学校、保育所（園）等の教育施設等が情報取得に重要な機能を果たしている様子が見える【問 14-1】。
- 普段入手している子育て支援に関する情報に対する満足度は、「どちらともいえない」が 48.4%、「おおむね満足している」が 34.0%となっている【問 14-2(1)】。また、不満である人の個別意見では「情報が少ない」、「県内の情報を得ても場所が遠く利用できない」、「どこで入手していいかわからない」、「分かりにくい」、「欲しい情報がまとまって入手できない」といった声が寄せられている【問 14-2(2)】。
- 子育てに関する情報ではどのようなものがほしいと考えているか尋ねた問いでは、回答割合が高い順から「行政や民間の子育て支援策」（61.2%）、「子どもの病気」（59.3%）、「遊び（レジャー）」（56.6%）となっており、それぞれ過半数を超えている。圏域別では、回答割合が最も高い項目に若干の差異が見られ、峡中圏域は「行政や民間の子育て支援策」、峡南圏域、峡北圏域、富士・東部圏域は「子どもの病気」、峡東圏域では「遊び（レジャー）」となっている【問 14】。

(3) 希望する保育所（園）等への入所について

- 「保育所（園）等」を利用している（利用していた）人に、当該施設が希望どおりかを尋ねたところ、約 9 割の人が希望どおりであると回答している。しかし、父母の就労状況別に見ると、母親のうち「家内労働（内職・SOHO など）」の 23.1%、「自営・農林漁業（家事従事者を含む）」の 15.6%が希望どおりでないと回答しており、就労状況によって結果が異なる【問 19】。
- 利用している（利用していた）保育所等が希望どおりでないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「自宅の近くでなかった」と回答した人が最も多く 29.7%、以下「保育内容が希望していたものと違っていた」（25.7%）、「通勤経路沿いでなかった」（8.1%）となっている。また、「その他」は 33.8%である【問 19-1】。
- 希望していた施設（実際に通っている場合も含む）の所在地を市区町村別等で見ると、「甲府市」が 17.7%と 2 割弱を占め、以下「笛吹市」（8.4%）、「南アルプス市」（7.6%）、「甲斐市」（6.4%）となっている【問 19-2(2)】。
- 利用している保育所（園）等の実際と希望の利用開始時間では、7 時台の希望者が実際の利用者よりも多い。「7 時台」の利用を希望している父の就労状況を見ると、「会社員（正社員）」が 74.4%、「公務員、公社などの正規職員」が 12.2%である。同様に「7 時台」の利用を希望している母の就労状況を見ると、「会社員（正社員）」が 37.4%、「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」が 25.3%、「公務員、公社などの正規職員」が 21.4%となっている【問 19-3(1)】。

- 利用している保育所（園）等の実際と希望の利用終了時間では、主に 17 時台から 19 時台で希望者が実際の利用者よりも多い。父の就労状況別では、「会社員（正社員）」のおおむね 6 割から 7 割が当該時間帯の利用を希望している。一方、母の就労状況別では、17 時台が「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」の 49.4%、18 時台が「会社員（正社員）」及び「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」が共に 34.3%、19 時台が「会社員（正社員）」の 41.7%などがそれぞれ最も回答割合が高い。【問 19-3(2)】。

(4) 子育て支援サービスの満足度やその理由について

- 子育て支援サービスについての利用頻度を見ると、どのサービスにおいても「利用したことがない」と回答している人が多い傾向にあり、約 3 割から多いもので 7 割以上を占めている。また、「毎日」から「これまでに数回程度」までの回答割合を合計した“利用したことがあるサービス”では、「延長保育」（保育所（園）・認定こども園）が 42.0%で最も高く、次いで「地域子育て支援拠点」（その他）の 34.0%、「地域のイベント」（小学校）の 30.3%、「保護者同士の交流の機会」（幼稚園・認定こども園）の 27.6%となっている。一方、「知らない」と回答しているサービスは、回答割合が高い順から「ショートステイ」（その他）（18.9%）、「その他 NPO 等が実施している子育て支援サービス」（その他）（15.7%）、「地域子育て支援拠点」（その他）（11.0%）である【問 20(1)】。
- 子育て支援サービスの満足度を見ると、「満足した」と「おおむね満足した」を合わせた“満足”が 6 割未満のサービスは無い。“満足”の回答割合が高いサービスは、「ショートステイ」（その他）の 100%、「夜間保育」（保育所（園）・認定こども園）の 92.3%、「預かり保育」（幼稚園・認定こども園）の 88.9%となっている。一方、「あまり満足しなかった」と「満足しなかった」を合わせた“不満足”の回答割合が高いサービスは、「放課後児童クラブ」（小学校）の 12.0%、「放課後子ども教室」（小学校）の 8.2%、「夜間保育」（保育所（園）・認定こども園）の 7.7%となっているが、いずれも低い値である【問 20(2)】。
- 子育て支援サービスの利用度が希望する頻度でない理由については、「地域のイベント」（小学校）、「地域子育て支援拠点」（その他）を除いたサービスで「利用する必要がない」を選んだ人の割合が最も高く、1 割から 6 割程度を占めている。また、「内容をよく知らない」を選んでいる人が多いサービスは、「クラブ活動（文化・スポーツ）」（小学校）（31.6%）、「ショートステイ」（その他）（30.6%）、「その他 NPO 等が実施している子育て支援サービス」（その他）（30.3%）などである【問 20(3)】。
- 山梨県及び山梨県内の市町村での子育て支援事業に対する不満や要望では、「病児・病後児保育をしてほしい」を選んだ人が最も多く 19.8%、次いで「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」が 17.2%、「保育所（園）へ途中入所しにくい」が 16.5%となっている。圏域別で回答割合が最も高い項目を見ると、峡中圏域では「保育所（園）へ途中入所しにくい」が 21.6%、峡東圏域及び峡南圏域では「病児・病後児保育をしてほしい」がそれぞれ 18.4%及び 25.9%、富士・東部圏域では「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」が 22.6%である。また、峡北圏域では、「病児・病後児保育

をしてほしい」、「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」、「保育所（園）へ途中入所しにくい」が共に 19.6%である【問 21】。

- 地域において子育て親子の交流や子育て相談、情報の提供等を行う、地域子育て支援拠点について希望する機能を聞いたところ、回答者が多い順から「一時預かり事業」の 30.6%、「放課後児童クラブ」の 30.3%、「地域の伝統文化や習慣・行事の体験」の 25.5%、「子育てサークルの育成」の 15.0%となっている【問 21-1】。
- 保育サービスが整っていないと回答した人に、その具体的な内容について尋ねたところ、「保育所（園）等の施設」及び「一時預かりや延長保育、病児・病後児保育、放課後児童クラブ等」がそれぞれ 45.8%で最も高く、この 2 項目で 91.7%と 9 割を超えている【問 29-5】。

4. 子育て環境の現状・課題等について

「安心して子どもを産み育てることのできる社会」を実現するためには、どのような課題があるのか。まずは、「子どもの出生」という視点を軸に検討してみる。なぜなら、子どもの出生がなければ、子育てについて議論の遡上に載せられないからである。

安心して子どもを産むためには、子どもを産みたい人が産み育てることができる環境を整えることが重要である。本調査において、実際の子どもの数が希望の子どもの数を下回る理由として回答が多い上位5項目を現状・課題として捉える。当該項目の（想定される）要因としては、「保育料・教育費」、「晩婚化・晩産化」、「不妊」、「孤立感（相談相手がいない、相談することに抵抗がある）」、「身体的・精神的疲れ」、「就労環境」、「雇用先の確保」、「延長保育、病児保育など」が考えられる。

現状・課題	(想定される)要因
○ 子育てや教育にお金がかかりすぎる	○ 保育料・教育費
○ 高年齢での出産や子育てに不安がある	○ 晩婚化・晩産化
○ 希望しているが子どもができない	○ 不妊
○ 出産・子育ての心理的、肉体的負担に耐えられそうもない	○ 孤立感（相談相手がいない、相談することに抵抗がある） ○ 身体的、精神的な疲れ
○ 働きながら子育てができる環境がない	○ 就労環境 ○ 雇用先の確保 ○ 保育料 ○ 延長保育、病児保育など

5. 子育て支援に係る今後の施策の方向性について

以上、山梨県内の子育て環境の実態を調べ、出産・子育ての環境の現状や背景、課題等について山梨県民の意識を含めて分析を図った。全国と比べて、山梨県の保育サービスは整っていると言える。その上で、本調査結果から、山梨県の子育て支援の向上を目的とする施策の方向性について検討してみたい。

(1) 子育てや教育に係る経済的負担の軽減について

第一に、子育てや教育にかかる経済的負担を可能な限り軽減していくことである。子育て費用の中で負担に感じている出費として、「保育料」を挙げる人が5割近くと最も多い。さらに、実際の子どもの数が希望どおりになっていない理由が子育てや教育にお金がかかりすぎると考えている人のうち、「0～2歳」の子どもがいる世帯では、特に「保育所（園）や幼稚園の保育料」を挙げた人が65.6%に上る。

仮に保育料が軽減される場合、新規に就労したいと考えている 20 代の母親は、4 割を超えており、保育所（園）等が利用しやすくなると働く母親が増えることが見込まれる。さらに、保育料の負担軽減が新たに子どもを産む動機付けになると考えている人は、父母の年齢が 30 代までの場合、5 割以上となるなど、希望どおりの子どもの数になる可能性がある。

（２）子育て負担・不安の軽減について

子育て負担や不安の軽減には、子育てに関する情報の提供は大切な手段の一つである。子育て支援に関する情報の普段の入手先は、「市町村が発行する広報やパンフレット」などの紙媒体、「友人、知人、近所の人、子育てサークル仲間」などの人との接点、「小学校、保育所（園）、幼稚園」等の教育施設などが挙げられている。情報発信する場合は、まずこうした発信先の環境を考慮していくことが重要である。当該情報について個別意見では「情報が少ない」、「どこで入手していいかわからない」、「分かりにくい」、「欲しい情報がまとまって入手できない」といったものもあり、これらの観点から情報提供を見直す一考の余地がある。欲しい情報は、まず身近なところから得るとしても、広域的、体系的な情報を提供できるようにすることも必要である。

（３）保育環境の整備について

保育環境の整備については、保育所等の希望開始時間や希望終了時間を実現できていない人がいる。また、「病児・病後児保育をしてほしい」、「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」、「保育所（園）へ途中入所ににくい」との声が上がっている。こうした点について、改善が可能かどうかを模索していくことが考えられる。

6. 子育て支援に関する現状・課題・想定される施策について

これまで述べた事項を踏まえ、主に保育に関する「子育て支援」の側面から考察するため、本調査の質問項目の分類に沿って、「現状・課題」及び「想定される施策」を整理すると次ページ別表のとおりである。

終わりに、本調査の結果がこの先の子育て支援施策の考案に寄与することになれば幸いである。

参考及び引用文献

- 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）,2012年3月,「都市と地方における子育て環境に関する調査報告書」
- 厚生労働省,2015,「平成27年版厚生労働白書」
- 厚生労働省,「都道府県別合計特殊出生率 人口動態統計」

現状・課題	想定される施策
<p>1. 育児休業取得期間とその理由及び保育料の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 育児休業取得者（454人）のうち80.0%（363/454人）は、子どもが1歳6か月までに職場復帰している【問11-2】。また、57.7%（262/454人）が育児休業取得期間を希望より短縮しているが、主な理由は、「職場から要請されたため」（35.5%、93/262人）、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」（30.9%、81/262人）、「希望する保育所（園）に入るため」（25.6%、67/262人）となっている【問11-3(1)】。 ➤ 子育て費用の中で負担に感じている出費は、「保育料」と考えている人が最も多く47.8%（776/1,623人）【問22】。 ➤ 実際の子ども数が希望どおりにない理由が子育てや教育にお金がかかりすぎると考えている人（408人）のうち、「0～2歳」児のいる世帯では特に「保育所（園）や幼稚園の保育料」を挙げた人が65.6%（139/212人）【問29-4】。 ➤ 子育て支援事業に対する不満及び要望として、「保育所（園）へ途中入所しにくい」と考える人は16.5%（268/1,623人）【問21】。 ➤ 保育料の負担が軽減される場合、子どもの母の年齢が20代では41.1%（58/141人）、30代では38.4%（398/1,037人）が新規の就労を希望するなど、母の年齢層が低いほどその傾向は強い【問12】。また、「子どもが1歳～2歳未満」の時に就労すると考えている人は41.3%（246/595人）【問12-1】。 ➤ 保育料が負担軽減されると新たに子どもを産む動機付けになると考えている人は、52.9%（859/1,623人）と過半数を超え、20代の母親72.3%（102/141人）、30代の母親56.0%（581/1,037人）と母親の年齢が低いほどその傾向が強い。【問12-3】。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1歳児途中入所 ➤ 多子世帯の保育料の負担軽減
<p>2. 子育て情報の入手先と満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 子育てに関する情報の入手先は、「市町村が発行する広報やパンフレット」（72.9%、1,183/1,623人）等の紙媒体、「友人、知人、近所の人、子育てサークルの仲間」（56.8%、922/1,623人）等の人との接点、「小学校、保育所（園）、幼稚園」（51.6%、838/1,623人）等の教育施設など、身近な所から入手している傾向がある一方、個別意見では広域範囲にわたる体系的な情報を望む声が寄せられている【問14-1】。 ➤ ほしい情報としては、「行政や民間の子育て支援策」（61.2%、993/1,623人）、「子どもの病気」（59.3%、962/1,623人）、「遊び（レジャー）」（56.6%、919/1,623人）、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園の情報」（43.5%、706/1,623人）などが上位に挙げられている【問14】。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子育てネットの改修 ➤ 子育てハンドブック改訂
<p>3. 希望する保育所（園）等への入所</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用している保育所等が希望どおりの施設でない理由では、「自宅の近くでなかった」（29.7%、22/74人）、「保育内容が希望していたものと違っていた」（25.7%、19/74人）などが挙げられる【問19-1】。 ➤ 保育所（園）等の希望の利用開始時間では「7時台」（18.5%、182/985人）、希望の利用終了時間では、「17時台」（23.9%、235/985人）、「18時台」（24.1%、237/985人）、「19時台」（9.7%、96/985人）、「20時台」（1.5%、15/985人）の回答者のうち、実際の利用時間は希望どおりにない人がある【問19-3(1)、問19-3(2)】。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 広域入所に代わる居住地に近い施設での預かりのための延長保育
<p>4. 子育て支援サービスの満足度やその理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 子育て支援サービスの満足している人（「満足」「おおむね満足」を合わせたもの）の割合が6割未満のサービス事業は無い【問20(2)】。 ➤ 子育て支援事業に対する不満や要望では、「病児・病後児保育をしてほしい」（19.8%、321/1,623人）、「送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい」（17.2%、279/1,623人）、「保育所（園）へ途中入所しにくい」（16.5%、268/1,623人）など【問21】。 ➤ 地域子育て支援拠点に希望する機能は、「一時預かり事業」（30.6%、497/1,623人）、「放課後児童クラブ」（30.3%、492/1,623人）、「地域の伝統文化や習慣・行事体験」（25.5%、414/1,623人）などの回答が多い【問21-1】。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 預かり保育の充実 ➤ 「放課後児童クラブ」、「放課後子ども教室」の充実 ➤ 病児・病後児保育事業の充実

山梨県子育て環境に関する県民アンケート調査

<対象となられた皆さまへ>

このたびは、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

この調査は、山梨県において安心して子どもを産み育てることのできる社会の実現に向けて、子育て家庭の意識や実態を調べるために、山梨県が行う標本調査です。山梨県内にお住まいの方々の中から無作為に選ばれた方を調査対象としております。これからの山梨県の施策を考える上で、大切な資料となるものです。個人的なことに立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることはありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

平成27年8月

<記入上のお願ひ>

- 1 この調査票は、小学生以下の子どもをもつご家庭に、保育を中心とした子育て支援に関する内容についてお答えいただくためのものです。
- 2 平成27年8月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 3 この調査票は、お子さんの保護者の方がお答えください。
※ 封筒のあて名は、世帯主又は保護者となっております。あて名に限らず、お子さんの保護者をご記入ください。
- 4 回答の仕方は、当てはまる番号に○をつけるものと、必要な事項を書き込むものがあります。
※ 「その他」をお選びいただいた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 回答後の調査票は、3つ折りにし返信用の封筒に入れ、切手を貼らず、
平成27年9月4日(金)までに投函してください。
- 6 調査票の内容や、記入方法などについてご不明な点やご質問がありましたら、お手数ですが、次までご連絡いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

山梨県 福祉保健部 子育て支援課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内 1-6-1

電話 055-223-1456 FAX 055-223-1475

回答に当たってお読みください

調査についてのご説明

◇山梨県子育て環境に関する県民アンケート調査とは？

この調査は、山梨県において安心して子どもを産み育てることのできる社会の実現に向けて、子育て家庭の意識や実態を調べるために、山梨県が行う標本調査です。

◇調査の目的

自治体は、さまざまな施策を実施するに当たって、住民のおかれた状況や課題を把握する必要があります。この調査は、山梨県内にお住まいの子育て家庭を対象として意識や実態を的確に把握し、分析を行うことにより、今後、県で取り組む子育て支援施策の基礎資料とすることを目的としています。

◇調査の対象

山梨県内にお住まいの子育て家庭の中から無作為に選ばれた方を調査対象としております。

◇プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答は、すべて統計を作成する目的だけに用いられます。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることはありません。

◇その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、次の連絡先までお願いいたします。

山梨県 福祉保健部 子育て支援課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内 1-6-1

電話 055-223-1456 FAX 055-223-1475

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は次のとおりです。

- ・幼稚園 …… 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所（園） …… 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園 …… 幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て …… 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育 …… 家庭での教育を含めた広い意味と幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域や家庭状況について

問1 お住まいの市町村をご記入ください。

	市・町・村
--	-------

問2 現在の市町村での居住年数について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～6年未満	4. 6年以上
---------	------------	------------	---------

問3 お子さんのお父さまとお母さまの年齢について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

父	1. 19歳以下	2. 20～24歳	3. 25～29歳	4. 30～34歳
	5. 35～39歳	6. 40～44歳	7. 45～49歳	8. 50～54歳
	9. 55～59歳	10. 60歳以上		
母	1. 19歳以下	2. 20～24歳	3. 25～29歳	4. 30～34歳
	5. 35～39歳	6. 40～44歳	7. 45～49歳	8. 50～54歳
	9. 55～59歳	10. 60歳以上		

問4 結婚してからの年数について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

※再婚されている方は現在の結婚年数をお選びください。

1. 3年未満	2. 3～5年未満	3. 5～7年未満	4. 7～10年未満
5. 10年以上			

問5 お子さんの人数とそれぞれの年齢について、当てはまるものを次の中から選んでください。

人数 (○は1つ)				
1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	
5. 5人	6. 6人以上			
年齢 (お子さん全員の年齢に○をつけてください。双子の場合は◎、三つ子の場合は◎にしてください)				
1. 0歳	2. 1歳	3. 2歳	4. 3歳	5. 4歳
6. 5歳	7. 6歳	8. 7歳	9. 8歳	10. 9歳
11. 10歳	12. 11歳	13. 12歳	14. 13歳以上	

問6 現在のお住まいは次のどれですか。当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

1. 持ち家 (一軒家) (三世帯同居含む)	2. 持ち家 (マンションなどの集合住宅)
3. 民間の賃貸住宅	4. 公団・公社・公営の賃貸住宅
5. 社宅・公務員住宅	6. 親の家の間借り
7. その他 ()	

問7 失礼ですが、お子さんのお父さまとお母さまの年収(税込)について、それぞれ当てはまるものを次の中から選んでください。
(○はそれぞれ1つ)

父	1. 収入なし	2. 100万円未満	3. 100～200万円未満
	4. 200～300万円未満	5. 300～400万円未満	6. 400～500万円未満
	7. 500～600万円未満	8. 600～700万円未満	9. 700～800万円未満
	10. 800～1000万円未満	11. 1000万円以上	12. わからない
母	1. 収入なし	2. 100万円未満	3. 100～200万円未満
	4. 200～300万円未満	5. 300～400万円未満	6. 400～500万円未満
	7. 500～600万円未満	8. 600～700万円未満	9. 700～800万円未満
	10. 800～1000万円未満	11. 1000万円以上	12. わからない

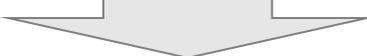
問8 お子さんのお父さまとお母さまの就労状況と職種について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)
※育児(産前産後)・介護休暇中の方は、休暇前の状態をご記入ください

	お仕事について	職種について
父	1. 自営・農林漁業(家族従事者を含む)	1. 経営管理職 (会社・官公庁の課長級以上、経営者、団体役員)
	2. 自営・商工サービス業 (自由業、家族従事者を含む)	2. 専門技術職 (医師、教師、税理士、看護師など専門知識を有する仕事)
	3. 会社員(正社員)	3. 事務職(会社等の事務担当職で1、2に当てはまらない者)
	4. 公務員、公社などの正規職員	4. 販売職・サービス職(営業担当者・販売員など)
	5. パートタイマー・派遣等の非正規雇用者	5. 運転・通信職・保安職 (運転手、マスコミ、警備員、消防士など)
	6. 家内労働(内職・SOHOなど)	6. 工場、建設等の現場労働 (工事労働者、建設作業員など)
	7. その他の仕事()	7. 農林漁業作業
	8. 失業中(休職中/求職中)	8. その他()
	9. 学生	
	10. 無職(専業主夫を含む)	

	お仕事について	職種について
母	1. 自営・農林漁業（家族従事者を含む） 2. 自営・商工サービス業 （自由業、家族従事者を含む） 3. 会社員（正社員） 4. 公務員、公社などの正規職員 5. パートタイマー・派遣等の非正規雇用者 6. 家内労働（内職・SOHO など） 7. その他の仕事（ ） 8. 失業中（休職中/求職中） 9. 学生 10. 無職（専業主婦を含む）	1. 経営管理職 （会社・官公庁の課長級以上、経営者、団体役員） 2. 専門技術職 （医師、教師、税理士、看護師など専門知識を有する仕事） 3. 事務職（会社等の事務担当職で 1、2 に当てはまらない者） 4. 販売職・サービス職（営業担当者・販売員など） 5. 運転・通信職・保安職 （運転手、マスコミ、警備員、消防士など） 6. 工場、建設等の現場労働（工事労働者、建設作業員など） 7. 農林漁業作業 8. その他（ ）

「職種をお答えください」

問9 現在、お子さんのお母さまは就労していますか。（○は1つ）

1. している	2. 就労しているが、現在産前産後・育児・介護休暇中	3. していない
<div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div>		
<次の設問へお進みください> 		

問10 お子さんのお母さまが就労している理由について、当てはまるものを次の中から選んでください。（○はいくつでも）

1. 生計を維持するため 3. 将来に備えて貯蓄するため 5. 働くのは当然だから 7. 仕事を通じて達成感を得たいから 9. いろいろな人や社会とのつながりを持ちたいから 11. 家庭だけではいたくないから 13. その他（ ）	2. 家計を補助するため 4. 自分の自由になるお金を得るため 6. 自分の能力や可能性を試したいから 8. 社会のために貢献したいから 10. 時間を有効に使いたいから 12. 家業だから
--	--

問 11 これまでに育児休業を取得したことがありますか。(○は1つ)

1. 取得した <small>〈次の設問へお進みください〉</small>	2. 現在取得中	3. 取得していない	問 12 へ
--	----------	------------	--------

ここからは、**育児休業を取得した方のみお答えください。**

問 11-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入所(園)に合わせましたか。(○は1つ)

1. 年度初めの保育所(園)入所(園)に合わせて職場復帰した(する予定)	2. それ以外
--------------------------------------	---------

問 11-2 育児休業の取得期間(実際と希望)をご記入ください。

(回答例: 1年であれば12か月、1年6か月であれば18か月とご記入ください)

<u>実際の育児休業取得期間</u> か月	<u>希望の育児休業取得期間</u> (本当はこれだけ休みたかった) か月
------------------------------	--

育児休業を取得期間が実際と希望で異なる方のみお答えください。

問 11-3 異なる理由について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○はいくつでも)

<p>A 実際が希望より短い方はこちら</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希望する保育所(園)に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. 子どもの面倒をみてくれる人がいたため 6. 長期間仕事から離れたくなかったため 7. 職場から要請されたため 8. その他 () 	<p>B 実際が希望より長い方はこちら</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希望する保育所(園)に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. 子どもをもう少し自分でみていたかったため 7. その他 ()
---	---

すべての方にうかがいます。

問 12 今後、出産する場合についてお考え下さい。

保育料の負担が軽減される場合、育児休業取得期間を短くしたり、新たに就労を希望しますか。(○は1つ)

1. 新たに就労する	2. 育児休業期間を短縮する	3. 期間短縮しない	4. 就労しない
問 12-1 へ	問 12-2 へ	問 12-3 へ	

問 12-1 保育料の負担が軽減され、新たに就労する場合、お子さんが何歳の時に就労しようと思いますか。(○は1つ)

1. 子どもが3か月未満	2. 子どもが3か月～6か月未満
3. 子どもが6か月～9か月未満	4. 子どもが9か月～12か月未満
5. 子どもが1歳～2歳未満	6. 子どもが2歳～3歳未満
7. 子どもが3歳以上	

「育児休業取得期間を短縮する」と選んだ方にうかがいます。

問 12-2 保育料の負担が軽減され、育児休業取得期間を短縮する場合、短縮しようと思う期間はどれくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. (育児休業期間を) 2～3カ月短縮する | 2. (育児休業期間を) 4～5カ月短縮する |
| 3. (育児休業期間を) 6～8カ月短縮する | 4. (育児休業期間を) 9～11カ月短縮する |
| 5. (育児休業期間を) 1年以上短縮する | |

すべての方にうかがいます。

問 12-3 保育料の負担が軽減される場合、新たに子どもを産む(第2子、3子を産む)動機付けになりますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

現在、就労していないお母さまにうかがいます。

問 13 就労していない理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 子育てに専念したい | 2. 子どもの預け先がない |
| 3. 希望する保育所(園)に入所できない | 4. 保育料が高い |
| 5. 雇用先がない(条件に合わない場合を含む) | 6. しばらく仕事から離れ、自信がない |
| 7. 仕事と家事・育児の両立が負担 | 8. 家族が働くことを望まない |
| 9. 経済的に働く必要がない | 10. その他() |

すべての方にうかがいます。

問 14 どんな子育てに関する情報がほしいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 子どもの成長 | 2. 保育所(園)、幼稚園、認定こども園の情報 |
| 3. 子どもの病気 | 4. 子育てノウハウ |
| 5. 行政や民間の子育て支援策 | 6. 育児体験談(投稿) |
| 7. 遊び(レジャー) | 8. その他() |

問 14-1 子育て支援に関する情報は、普段どちらから入手しますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 市町村が発行する広報やパンフレット |
| 2. 県が発行する広報やパンフレット(子育てハンドブックなど) |
| 3. 市町村のホームページ |
| 4. 県のホームページ(子育て支援サイト「やまなし子育てネット」) |
| 5. 県や市町村のホームページ以外のインターネットサイト |
| 6. 小学校、保育所(園)、幼稚園 |
| 7. 友人、知人、近所の人、子育てサークルの仲間 |
| 8. 親や祖父母の知恵、経験 |
| 9. 市販の育児書、子育て雑誌など |
| 10. 情報を入手していない |
| 11. 子育てに関する情報があることを知らない |
| 12. その他() |

問 14-2 子育て支援に関する情報に対する満足度、及びその理由について、当てはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	満足度	満足もしくは不満の理由
入手している情報について	1. 満足している 2. おおむね満足している 3. どちらともいえない 4. 少し不満である 5. 不満である <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	1. 見やすさ 2. 内容 3. その他 ()

問 15 次のすべての意見について、どのように思いますか。当てはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

		当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	夫は外で働き、妻は家庭を守った方が良い	1	2	3	4	5
2	母親が外で働く小学校に通う前の子どもはつらい思いをしやすい	1	2	3	4	5
3	仕事を持つ妻は家事・育児に多少手が回らないのは仕方ない	1	2	3	4	5
4	妻も仕事を持ち、夫も家事や育児を分担すべきだ	1	2	3	4	5
5	結婚したら子どもを持つのは自然な流れである	1	2	3	4	5
6	一人っ子よりきょうだいがいる方が望ましい	1	2	3	4	5
7	子どもは跡取りである男の子を一人は産んだ方が良い	1	2	3	4	5
8	子育ては大変だが、子どもはかけがえのない大切な存在である	1	2	3	4	5

問 16 家での子どもの世話について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

1. もっぱら母親が行う	2. 主に母親が行うが、父親も手伝う
3. 母親も父親も同じように行う	4. 主に父親が行うが、母親も手伝う
5. もっぱら父親が行う	6. わからない

問 16-1 家事の分担について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

1. もっぱら母親が行う	2. 主に母親が行うが、父親も手伝う
3. 母親も父親も同じように行う	4. 主に父親が行うが、母親も手伝う
5. もっぱら父親が行う	6. わからない

問 17 妻・夫の両親からの子育て支援の状況と具体的内容について、当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

1. とてもよく支援してもらっている	2. よく支援してもらっている
3. どちらともいえない	4. あまり支援してもらっていない
5. まったく支援してもらっていない (他界の場合を含む)	

問 17-1 祖父母からの子育て支援の具体的内容について、当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-------------|-----------------|
| 1. 子どもの相手・預かり | 2. 子どもの送り迎え | 3. 食事の支援 |
| 4. 家事の支援 | 5. 金銭的な支援 | 6. 物資（農産物など）の支援 |
| 7. ほとんどない | | |

問 18 現在利用されている、または利用したことがある施設等について、当てはまるものを次の中から選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 保育所(園) | 2. 認定こども園（2・3号認定） |
| 3. 認定こども園（1号認定） | 4. 幼稚園（預かり保育を含む） |
| 5. 小規模保育 | 6. 家庭的保育 |
| 7. 事業所内保育 | 8. 居宅訪問型保育 |
| 9. その他の認可外保育 | 10. ファミリー・サポート・センター |
| 11. その他（ | ） |
| 12. 特にない | |

<用語の説明>

- ・認定こども園 幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設。
- ・認定こども園（2号認定） お子さんが満3歳以上で、「保育の必要がある」に該当し、保育を希望される場合。
- ・認定こども園（3号認定） お子さんが満3歳未満で、「保育の必要がある」に該当し、保育を希望される場合。
- ・認定こども園（1号認定） お子さんが満3歳以上で、教育を希望される場合。
- ・小規模保育 少人数（定員6～12人）を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと、きめ細かな保育を行う。
- ・家庭的保育 家庭的な雰囲気のもとで、少人数（定員5人以下）を対象にきめ細かな保育を行う。
- ・事業所内保育 会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育する。
- ・居宅訪問型保育 障害・疾患などで個別のケアが必要な場合や、施設がなくなった地域で保育を維持する必要がある場合などに、保育者の自宅で1対1で保育を行う。
- ・ファミリー・サポート・センター 児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。

問 18 で「 1. 保育所（園）」、「 2. 認定こども園（ 2・3 号認定）」を選んだ方にうかがいます。

問 19 利用している（利用していた）保育所（園）等は、希望どおりの施設でしたか。（○は1つ）

1. はい	問 19-2 へ	2. いいえ（保育所（園）等の受け入れる枠がなかった場合を含む）	問 19-1 へ
-------	----------	----------------------------------	----------

問 19-1 問 19 で「 2. いいえ」を選んだ理由は何ですか。（○は1つ）

1. 自宅の近くでなかった	2. 通勤経路沿いでなかった
3. 子どものお迎えが可能な祖父母等の自宅の近くでなかった	4. 父母の職場の近くでなかった
5. 保育内容が希望していたものと違っていた	
6. その他（	）

問 19-2 希望していた保育所（園）の所在地をご記入ください。 ※ 実際に通っている場合も含みます。

県（都）
市

問 19-3 利用している保育所（園）等の「実際の利用時間」と「希望する利用時間」について、ご記入ください。

実際の利用時間	(朝)	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	分	～	(夕)	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	分
希望する利用時間	(朝)	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	分	～	(夕)	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	分

保育所（園）・認定子ども園		
4. 一時預かり	<p><利用頻度（〇は1つ）></p> <p>1. 毎日 2. 週に3回程度</p> <p>3. 週に1回程度 4. 月に1回程度</p> <p>5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度</p> <p>7. 利用したことはない 8. 知らない</p>	<p><満足度（〇は1つ）></p> <p>1. 満足した 2. おおむね満足した</p> <p>3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった</p> <p>5. 満足しなかった</p>
	<p><利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）></p> <p>1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない</p> <p>3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安</p> <p>7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない</p> <p>10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない</p> <p>12. 希望通りに利用できている 13. その他 14. 他人に預けることが不安</p>	
幼稚園・認定こども園		
5. 預かり保育	<p><利用頻度（〇は1つ）></p> <p>1. 毎日 2. 週に3回程度</p> <p>3. 週に1回程度 4. 月に1回程度</p> <p>5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度</p> <p>7. 利用したことはない 8. 知らない</p>	<p><満足度（〇は1つ）></p> <p>1. 満足した 2. おおむね満足した</p> <p>3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった</p> <p>5. 満足しなかった</p>
	<p><利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）></p> <p>1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない</p> <p>3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安</p> <p>7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない</p> <p>10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない</p> <p>12. 希望通りに利用できている 13. その他</p>	
6. 幼児期の教育相談	<p><利用頻度（〇は1つ）></p> <p>1. 毎日 2. 週に3回程度</p> <p>3. 週に1回程度 4. 月に1回程度</p> <p>5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度</p> <p>7. 利用したことはない 8. 知らない</p>	<p><満足度（〇は1つ）></p> <p>1. 満足した 2. おおむね満足した</p> <p>3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった</p> <p>5. 満足しなかった</p>
	<p><利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）></p> <p>1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない</p> <p>3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安</p> <p>7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない</p> <p>10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない</p> <p>12. 希望通りに利用できている 13. その他</p>	
7. 保護者同士の交流の機会	<p><利用頻度（〇は1つ）></p> <p>1. 毎日 2. 週に3回程度</p> <p>3. 週に1回程度 4. 月に1回程度</p> <p>5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度</p> <p>7. 利用したことはない 8. 知らない</p>	<p><満足度（〇は1つ）></p> <p>1. 満足した 2. おおむね満足した</p> <p>3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった</p> <p>5. 満足しなかった</p>
	<p><利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）></p> <p>1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない</p> <p>3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安</p> <p>7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない</p> <p>10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない</p> <p>12. 希望通りに利用できている 13. その他</p>	

幼稚園・認定こども園（つづき）		
8. 園庭、園舎の開放	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域こない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
9. クラブ活動 （文化・スポーツ）	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域こない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
小学校		
10. 放課後子ども教室 ※注 対象児童：全ての児童 利用場所：小学校の余裕 教室等	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域こない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
11. 放課後児童クラブ ※注 対象児童：保護者が労働 等で昼間家庭 にいない児童 利用場所：児童館や小学 校の余裕教室 等	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域こない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	

小学校（つづき）		
12. 地域のイベント	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業が地域にない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
13. 校庭の開放	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業が地域にない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
14. クラブ活動 （文化・スポーツ）	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業が地域にない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
その他		
15. 地域子育て 支援拠点	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業が地域にない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	

- 地域子育て支援拠点
公共施設や保育所（園）、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を行うもの。

その他（つづき）		
16. ファミリー・サポート・センター	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
17. その他NPO等が実施している子育て支援サービス	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	
18. ショートステイ	<利用頻度（〇は1つ）> 1. 毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度 4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. これまでに数回程度 7. 利用したことはない 8. 知らない	<満足度（〇は1つ）> 1. 満足した 2. おおむね満足した 3. どちらともいえない 4. あまり満足しなかった 5. 満足しなかった
	<利用度が希望する頻度でない理由（〇はいくつでも）> 1. 家の近くにいないなど利用しやすい場所がない 2. 希望する日や時間が合わない 3. 利用料がかかる 4. 利用料が高い 5. 内容をよく知らない 6. サービス内容（質）が不安 7. サービス内容（質）が不満 8. できるだけ親が対応する 9. 利用する必要がない 10. 利用したい事業だが地域でない 11. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 12. 希望通りに利用できている 13. その他	

■ ファミリー・サポート・センター

児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うもの。

問 21 山梨県、山梨県内の市町村での子育て支援事業に対する不満や要望について、当てはまるものを選んでください。
(○はいくつでも)

1. 延長保育・預かり保育がない	2. 延長保育・預かり保育が利用しにくい
3. 保育所(園)へ途中入所しにくい	4. 送り迎えの時間などに融通を利かせてほしい
5. 受け入れ児童枠が少ない	6. 病児・病後児保育をしてほしい
7. サービスの質を上げてほしい(具体的な子育て支援サービス名:)	
8. 利用料が高い(具体的な子育て支援サービス名:)	
9. 情報が入ってこない	
10. サービス内容がわからない(具体的な子育て支援サービス名:)	
11. 家の近くで利用できない(具体的な子育て支援サービス名:)	
12. その他()	
13. 特にない	

<事業説明>

県や市町村においては、保護者の産休・育児休業取得期間が終了後の保育所等への入所を進めるため、1～2歳児の保育において余裕をもって保育士を配置する事業や地域子育て支援拠点、放課後児童クラブなどの事業に取り組んでいます。

・地域子育て支援拠点事業

地域の身近なところで、気軽に親子の交流や子育て相談ができる。

・妊婦健康診査

妊婦に対する①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導や妊娠期間中に必要に応じて医学的検査を行う。

・乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報は提供や養育環境等の把握を行う。

・養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して訪問し、養育に関する指導・助言等を行う。

・子育て短期支援事業

保護者の病気等の理由により家庭において養育できなくなった児童を、児童養護施設等で預かる。

・ファミリー・サポート・センター事業

児童の預かり等の援助を希望する保護者と援助をすることを希望する者との連絡・調整を行う。

・一時預かり事業

主として昼間に保育所などで一時的に子どもを預かる。

・延長保育事業

保育所等で通常の利用日や利用時間以外に保育を受ける。

・病児保育事業

病児を病院・保育所等で看護師等が一時的に保育等する。

・放課後児童クラブ

保護者が労働等で昼間家庭にいない小学校に通っている児童に対して、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館を利用して生活の場を確保する。

問 21-1 地域において子育て親子の交流や子育て相談、情報の提供等を行う、地域子育て支援拠点について、希望する機能として当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 一時預かり事業	2. 放課後児童クラブ
3. 未就学児をもつ家庭への訪問活動	4. 高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携
5. 地域の伝統文化や習慣・行事の体験	6. 子育てサークルの育成
7. 子育て支援拠点を利用したくても利用できない家庭に対する訪問支援等	

<地域子育て支援拠点において行う基本的な内容>

- ・子育て親子の交流の場の提供
- ・子育て等に関する相談、援助
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

問 22 子育て費用の中で負担に感じている出費はなんですか。上位3つを次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 食費	2. 生活用品費	3. 医療費	4. 保育料
5. 学校教育費	6. 学校外教育費(塾、習い事など)	7. 学校外活動費	
8. 衣服・服飾・雑貨費	9. お祝い行事関係費	10. 子どものための預貯金・保険	
11. レジャー・旅行費	12. その他 ()		

問 23 子育てをしていて、負担・不安に思うことについて、次の中から当てはまるものを上位5つ選んでください。(○は5つまで)

1. 子どもの預け先	2. 子育てによる身体の疲れが大きい
3. 子育てによる精神的疲れが大きい	4. 子育ての出費がかさむ
5. 自分の自由な時間が持てない	6. 夫婦で楽しむ時間がない
7. 仕事が十分にできない	8. 子育てが大変なことを周囲(職場を含む)が理解してくれない
9. 子どもが病気のとき	10. 将来予想される子どもにかかる経済的負担
11. 将来の経済・社会状況(子どもを取り巻く環境)	
12. その他 ()	
13. 負担に思うことは特になし	

問 24 お住まいの地域の将来の経済的展望について、どのように思っていますか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

1. 大変不安に感じる	2. 多少不安に感じる
3. どちらでもない	4. あまり不安に感じない
5. まったく不安に感じない	6. わからない

問 25 子育ての相談は誰にしていますか。当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 妻・夫	2. 親	3. 親族	4. 友人
5. 近所の人	6. 医師・看護師	7. 職場の人	8. 保育園、幼稚園の先生
9. 市町村保健師	10. 地域子育て支援拠点等の公的施設の人	11. 相談できる相手がいらない	
12. どこへ相談してもわからない	13. 相談することに抵抗がある		
14. その他 ()			

問 26 子どもの世話をしてくれる人について、当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 妻・夫	2. 親	3. 親族	4. 友人
5. 近所の人	6. 職場の人	7. 地域子育て支援拠点等の公的施設の人	
8. 頼める相手がない	9. どこへ頼めばいいかわからない		
10. 頼むことに抵抗がある	11. その他 ()		

問 27 第1子出産のきっかけについて、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

1. 自然な成り行き	2. 自分の年齢的な理由	3. 経済的な理由
4. 仕事上の理由	5. その他 ()	

問 28 第2子以降の出産のきっかけについて、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

1. 自然な成り行き	2. 自分の年齢的な理由	3. 上の子の年齢との関係
4. 経済的な理由	5. 仕事上の理由	6. 上の子がきょうだいを望んだから
7. その他 ()		

問 29 希望する子どもの数について、当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. わからない |

問 29-1 実際の子どもの数は、希望どおりになっていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-------------------------------|
| 1. なっている | 2. なっていない | 問 29-2,3 へ | 3. 希望の数があるわけではない(成り行きにまかせている) |
|----------|-----------|------------|-------------------------------|

問 29-2 問 29-1 で「2. なっていない」を選んだ方にうかがいます。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 希望通りではないので、これから産む予定 |
| 2. 希望通りではないが、現状のままでよい |
| 3. その他 () |

問 29-3 問 29-1 で「2. なっていない」を選んだ方にうかがいます。希望する子どもの数になっていない理由について、次の中から当てはまるものを選んでください。(○は5つまで)

- | |
|---|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる |
| 2. 保育サービスが整っていない |
| 3. 働きながら子育てができる職場環境がない(育児休業を取りにくい、出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実など) |
| 4. 仕事にさしつかえる(業務多忙、通勤などの不安) |
| 5. 自分の生活(キャリアアップ、プライベートなど)を優先したい |
| 6. 住宅事情が悪い(家が狭いなど) |
| 7. 子どもがのびのび育つ環境ではない |
| 8. 高年齢での出産や子育てに不安がある |
| 9. 出産・子育ての心理的、肉体的な負担に耐えられそうにもない |
| 10. 自分自身の健康上の理由 |
| 11. 配偶者の家事・育児への協力が得られない |
| 12. 医療費 |
| 13. 配偶者が望まない |
| 14. 希望しているが子どもができない(第2子、第3子等の不妊) |
| 15. 特に理由はない |
| 16. その他 () |

問 29-4 問 29-3 で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎる」を選んだ方にうかがいます。具体的な内容について当てはまるものを次の中から選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 保育所(園)や幼稚園の保育料 | 2. 義務教育(小・中学校)に対する教育費 |
| 3. 高等学校教育に対する教育費 | 4. 大学教育に対する教育費 |
| 5. 塾や習い事に対する費用 | |

問 29-5 問 29-3 で「2. 保育サービスが整っていない」を選んだ方にうかがいます。具体的な内容について当てはまるものを次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 保育所(園)等の施設 | 2. 子育てに関して情報取得や相談できる機関 |
| 3. 一時預かりや延長保育、病児・病後児保育、放課後児童クラブ等 | |

